



HULFTユースケース集

2024/4/1

HULFT

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
1	保険業	データ分析・利用	全社員が利用できるデータ利活用プラットフォームを整備 勘に頼らないデータに基づく商品開発、お客様満足度向上を実現	データ利活用
2	保険業	保険業務管理	プロトコル混在の管理負荷・潜在リスクから脱却 ファイル転送の標準化によるセキュリティ向上、運用工数削減を実現	データ連携基盤
3	ITサービス	診療報酬明細書 (レセプト) 管理	媒体交換業務を伝送化 媒体紛失による情報漏洩リスクを排除し、業務自動化を実現	DX（業務自動化）
4	保険業	コールセンター業務	メインフレーム上のマスタをSalesforceへ連携 オンプレ資産を有効活用しながらホストモダナイズ化を実現	クラウド連携
5	製造業	マスタ統合	海外グループ数十社を含む横断的なMDMを再構築 マスタを横串しガバナンス強化とデータドリブンなグローバル一体経営を支援	グループ統合
6	製造業	SAP(基幹業務)	SAPマイグレーションを契機に脱SAPアドオンを実現 標準モジュールとI/Fの標準化をセットに運用保守工数を大幅削減	データ連携基盤
7	製造業	製造実行計画・管理	製造工程間で発生する様々なフォーマットのデータをMESに一元集約 製造工程単位のトレーサビリティを実現し、製造品質改善を実現	DX（工場）
8	製造業	製造工場・ リスクマネジメント	工場内のアナログ設備をIoT化、予兆監視を実現 生産設備のトラブルを未然に防止し、稼働率向上に寄与	DX（工場）
9	製造業	ECM・部品表管理	エンジニアリングチェーン(ECM)上の分断化したデータを一元集約 ECM上のデータを活用し新規ビジネス創出に貢献	DX（工場）
10	社会インフラ	電力顧客料金管理 (CIS)	電力自由化に伴い、新電力のCIS基盤をクラウド上に構築 既存CISの改修を最小化し、競争力ある新電力メニューをタイムリーに提供	データ連携基盤

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
11	公共	移動体サービスにおけるデータ利活用	オンプレのデータ資産をクラウドDWHへリフト 高度なITスキル不要で誰もが利用可能なデータ可視化・分析基盤を構築	データ利活用
12	製造業	グローバル生産性向上とガバナンス強化	日本・北米・欧州・アジアの4リージョンを跨ぐデータ連携基盤 グローバル標準を策定し安定したI/F開発・運用、ガバナンス強化を実現	データ連携基盤
13	製造業	データ分析・利用	Box・SharePoint・Snowflakeの散財するデータを横断活用 データ連携の手法を標準化し開発工数・運用工数50%減を実現	データ利活用
14	製造業	受発注業務	受注担当者のExcelバケツリレーを完全自動化 煩雑な入力と手作業によるミスを無くし、働き方改革に貢献	DX（働き方改革）
15	商社	受発注業務(メールEDI)	メールEDIにおけるスクラッチ開発を刷新 安定した受注業務により受注漏れ防止とリードタイム削減に寄与	DX（業務自動化）
16	製造業	品質管理	ログファイルや検査用紙など分散していた検査情報をデジタル化 問題発生時の原因究明時間の短縮と抜本的な品質改善に寄与	DX（工場）
17	製造業	データ連携	異なるサービス間(Box⇄SharePoint)連携によるデータ活用の強化 統一された連携手法でコラボレーションを加速しデータ利用範囲の拡大に成功	クラウド連携
18	製造業	決算	決算データ(子会社、孫会社含む)の目検チェックから脱却 決算業務の属人化を解消し正確な業務遂行と業務負荷を大幅に低減	DX（働き方改革）
19	製造業	生産販売管理・原価情報管理	製品マスタデータのExcelや紙への転記業務プロセスを刷新 システムto システムを直接連携させ、省力化とコスト最適化を実現	DX（働き方改革）
20	金融業	地銀共同センター	地銀共同センターにおける海外製EAI製品からリプレイス 開発生産性の向上と保守費用の最適化を実現	組み込み標準化

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
21	製造業	住宅設備施工情報管理	担当者同士の電話・FAXリレーをSalesforceに一元化 デジタル化により施工品質の改善、書類管理工数50%削減	DX（業務自動化）
22	自治体	地方公共団体の管理業務自動化	地方自治体向け業務パッケージのカスタマイズを低コストで実現 固有の業務要望をパッケージで吸収し、自治体・ベンダ双方でメリット享受	組み込み標準化
23	ITサービス	CRM/名刺管理	GoogleスプレッドシートとSalesforceを自動連携 営業集計などの手作業を省力化し働き方改革に寄与	DX（業務自動化）
24	小売業	顧客管理・販売管理・在庫管理	KintoneやECパッケージ、販売管理などの多種多様なデータ連携を実現 リアルタイム連携による販売機会損失削減を完全内製で実現	Ecommerce
25	製造業	企業統合・基幹システム	複数のプロトコルを一元管理可能なデータHUBを整備 標準化されたI/F管理・運用で開発スピード・運用品質の向上を達成	データ連携基盤
26	保険業	保険業務管理	頻発するWindowsパスワードロック解除を自動化 ITデスク担当者の負荷低減とユーザの満足度向上、セキュリティ強化を実現	DX（業務自動化）
27	自治体	人事異動・職員マスタ管理	人事異動の際に発生する職員マスタ反映業務を自動化 AD非対応システムも含め、手作業のミスを排除しながら業務効率化を実現	DX（働き方改革）
28	商社	営業実績集計・可視化	営業実績報告の集計分析を自動化 案件状況と実績のタイムリーな把握でデータドリブンな経営判断を支援	DX（働き方改革）
29	小売業	海外現地法人・基幹系データ一元管理	不安定な通信方式(FTP)が引き起こす機会損失を最小化 世界32カ国、約1000店舗へ一斉マスタ配信。安定した店舗運営を支える	データ連携基盤
30	保険業	基幹業務	ファイル転送に用いていたMQをHULFTへ刷新 全体一括管理によるガバナンス強化と大幅な保守費用の削減に成功	データ連携基盤

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
31	金融業	債権管理	金融商品毎の債権管理フォーマットを一元化 別開発から共通開発により、開発・運用工数の60%減を達成	データ連携基盤
32	製造業	完成品検査・品質分析	プリント基板の製造委託先の検査ログをグローバルで連携 ログデータ抽出・連携・加工の自動化を行い、不良品率の低減を実現	DX（工場）
33	ITサービス	法務・コンプライアンス業務	電子帳簿保管法対策(ワークフローシステム & 電子契約システム連携) 手作業での突き合わせ作業を自動化し年間約70%の管理工数削減に成功	DX（業務自動化）
34	製造業	スマートファクトリー	生産データを集約し、BIツールを導入することで、工程管理を見える化 瞬時に生産予測、遅延の検知が可能となり安定した生産性を実現	DX（工場）
35	流通業	EDI	ベンダー依存のスクラッチ開発から脱却 内製化による高速開発(3ヶ月→1ヶ月)とコスト最適化(70%削減)を実現	データ連携基盤
36	製造業	SAP(基幹業務)	SAPデータ連携ツールの全社統一化 ツールの統一によりデータ連携の可視化と管理工数の低減を実現	グループ統合
37	金融業	情報系システム開発	システム構築のベンダー依存に終止符 ベンダー依存からの脱却によるシステムの見える化と属人化の回避	データ連携基盤
38	金融業	営業支援	行内に散在するお客様データを営業支援ツール（Salesforce）に自動連携 お客様情報の一元化・活用によるお客様満足度向上へ寄与	DX（働き方改革）
39	製造業	受注業務	複数システム環境を、「使いやすい」に変えて、受注業務を自動化 受注業務の自動化により、年間600時間の工数削減と品質向上	DX（業務自動化）
40	製造業	生産管理	全社の工場稼働状況、生産実績を見える化 生産に与える影響を即座に察知し安定した生産体制の維持改善に貢献	DX（工場）

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
41	病院	月次報告業務	医療機関における帳票作成、法人レポート作成支援 レポート作成と可視化を自動化し年間数百時間の手作業を削減	DX（働き方改革）
42	製造業	請求業務	基幹システムと「BtoBプラットフォーム 請求書」とのシームレスな連携 請求書のペーパーレスの実現による大幅な請求業務工数削減	DX（働き方改革）
43	製造業	生産実績(グローバル集約)	グローバル拠点のデータ連携基盤の構築 拠点ごとに異なるレイアウトを自動統一することで生産実績の有効活用	データ利活用
44	製造業	ダッシュボード構築	お客様に納品した消耗品の交換時期を一元的に可視化(ダッシュボード化) 潜在的な見込み客を可視化し一歩先ゆくお客様提案を実践	DX（働き方改革）
45	自治体	総合窓口業務	住民窓口受付業務での複数システム連携 多重入力の排除や自動連携により職員のデータ転記業務75%の削減	DX（業務自動化）
46	金融業	ローン審査業務	複数の信用保証会社のクレジットヒストリーを一元化 ローン審査業務の完全オンライン化によるペーパーレスと非対面化を実現	DX（働き方改革）
47	リサーチ	QPR処理	リサーチモニターから届く1日10万件のデータを完全自動処理へ 個人スキル依存していた調査データ加工をシステム化、顧客への納品スピードアップ	DX（業務自動化）
48	卸売業	SFA/CRM	見積もり作成から承認にかけての業務プロセスを刷新 クラウド化により書類作成、承認工数50%削減し見積もり提示までのスピードアップ	クラウド連携
49	製造・販売	調達・購買	メールによるサプライヤーへの調達依頼をクラウド化 納期回答までの煩雑なやり取りを無くしリードタイムの短縮に成功	DX（働き方改革）
50	製造業	スマートファクトリ	勤怠管理や保安全管理など分散化したデータを自動統合 報告のための手作業データ加工を撤廃し、分析や改善業務へリソースシフト	データ利活用

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
51	製造業	メインフレーム廃止に伴うデータ連携基盤の刷新	メインフレームによるファイル連携のみの運用からの脱却 連携ハブをレガシーから分離し柔軟性のあるデータ連携基盤にシフト	データ連携基盤
52	印刷業	ISDN廃止に伴う取引先とのデータ交換方法の変更	ISDNサービス(2024年終了)からスピーディーな切替が可能なサービス 取引先ごとに異なる運用形態に対応しコスト削減とセキュリティの向上を実現	INS代替
53	金融業	オンプレ環境下でのDDP環境の実現	散在するデータをDWHに集約し見えるか オンプレ環境のデータ活用基盤で、行員によるデータ活用を実現	データ利活用
54	製造業	クラウドストレージ活用	API作成をせずにクラウドストレージへの接続を実現 HULFTでの運用を変えずにデータの集約先をAmazon S3に変更	データ連携基盤
55	製造業	決算業の自動化	子会社、孫会社を含む決算データの人手による作業からの脱却 決算業務の属人化を排除しミスや業務負荷を大幅に低減	DX（働き方改革）
56	製造業	人事・給与・会計業務の自動化	属人化したデータの受渡しから外字変換までを自動化 勤怠システムから給与・会計システムまでの業務間の自動化を実現	データ連携基盤
57	医療	医療データの自動集計と報告書作成	病院の診療状況の報告書作成を自動化し見える化を実現 データの集計や報告書作成に2時間要していたのを3分に短縮	DX（働き方改革）
58	製造業	設備データを安全に自動化して収集	生産ラインの設備保全のDX支援 安全面を配慮した自動化により設備データの分析領域を拡大	DX（工場）
59	サービス業	問合せ業務を自動化	人を介した営業からの問合せ業務を自動化 新規取引の稟議可否を4ステップ(20～90分)から2ステップ(1分)に短縮	DX（業務自動化）
60	不動産業	業務システムとの連携システム	さまざまなシステム間連携ツールの不具合でリカバリー作業が発生 連携ツールを一本化しデータの精度向上と作業の短縮化を実現	DX（業務自動化）

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
61	金融業	特権ID管理	特権ID管理の申請・発行・チェックを自動化 ID管理と関連システムとを連携しID発行から本番アクセスまでを迅速化	DX（業務自動化）
62	ITサービス	在宅コールセンター	Amazon ConnectとSalesforceを連携し在宅コールセンターを実現 コールセンター業務に必要な情報をDataSpiderと連携して使えるデータに	DX（働き方改革）
63	保険	コールセンター業務	大容量のドライブレコーダの映像データをBOX連携で授受 映像データの保存だけでなく保険代理店への振り分け業務まで自動化	DX（働き方改革）
64	流通	販売・会計	グループ各社に点在する個別システムの集約化 将来のシステム環境の変化にも対応できるシステム間連携とI/F標準化	グループ統合
65	流通	受発注・マーケットデータ分析	ISDN回線廃止に伴い代替回線と社内のデータ連携手段を統一化 取引先との外接標準化でコスト削減。データ分析基盤との連携手段を確立	INS代替
66	製造業	販売促進、マーケティング施策	社内に散在する顧客データを統合しマーケティング施策に活用 顧客データ統合に必要な作業を自動化。更にマーケティングツールと連携	データ利活用
67	製造業	Dynamics365(基幹業務)	Dynamics365導入に伴う大規模データ連携基盤の刷新 連携基盤によるI/F標準化でお客様の内製化の推進と運用管理工数を削減	データ連携基盤
68	製造業	ITヘルプ管理 ITサーバ運用管理	ITヘルプ管理システムと顧客管理システムとのリアルタイム連携 サポート業務のデータを連携し、情報の最新化と業務の自動化を実現	DX（働き方改革）
69	製造業	SAP(基幹業務)	SAPのアドオン開発から脱却して関連企業と連携 SAPの標準モジュールと連携基盤でコスト削減と運用標準化を実現	データ連携基盤
70	金融業	外貨決算業務	運用コストの削減を目的としたホスト上のシステムのSaaS化を推進 既設HULFTと連携しスムーズなSaaS移行と運用コストの削減を実現	データ連携基盤

目次

No.	業種	業務内容	タイトル	キーワード
71	公共	防災データ利活用基盤	地域課題を解決に導くデータ利活用プラットフォームを整備 県/市町村にまたがった防災データを自動収集・変換し利活用を推進	データ利活用
72	製造業	製造工場・データ活用 連携基盤	海外製RPAで検討されたシステムをDataSpiderで置換え 既存システムを変更せずに日次報告書の作成の自動化を内製化	DX（工場）
73	製造業	工場設備・リスクマネ ジメント	工場の生産設備のデータの利活用を推進 稼働データを分析システムに安全に転送しリスクの予兆監視に活用	DX（工場）
74	金融業	データ活用運用基盤	堅牢なプライベートクラウドとAWSをハイブリッド活用 150の信用金庫に対して安全で柔軟なデータ分析を可能にするサービスを提供	データ利活用
75	公共	RPAの代替業務	RPAでの処理をDataSpiderで代替し運用コストと処理時間を削減 RPAではできない変換・加工も自動化し作業の大幅な自動化を実現	DX（働き方改革）
76	自治体	申請データの自動処理	申請書類の振分けや住民IDとマイナンバーの紐づけを自動化 既存システムに影響をさせずにノンプログラミングでデータ連携を実現	DX（働き方改革）
77	自治体	セキュアに異なるNW 間の通信を実現	異なるネットワーク間で一気通貫のデータ連携 データ移動を手動からHULFT製品を活用したセキュアな通信で代替	DX（働き方改革）
78	運輸業	社内データ活用	システム規模に応じて柔軟に機能拡張と価格対応が可能 社内システムのクラウド化を支援するクラウド型データ連携基盤	クラウド連携
79	情報・通信	経営データの分析	中小企業で実現したデータ分析環境 非IT部門の社員がデータ分析環境を構築し経営レポートの作成工数を軽減	データ利活用
80	製造業	業務効率化	将来の拡張性を視野に入れたシステム連携基盤 会計システムやEDIなどと連携。更に分析に必要なデータ収集の連携基盤として活用	データ連携基盤

全社員が利用できるデータ利活用プラットフォームを整備 勘に頼らないデータに基づく商品開発、お客様満足度向上を実現

お客様の問題

- ① 社員のデータ分析による業務改善を行いたい
- ② 保有データ、収集データを経営に活かしたい
- ③ データを一元管理し分析可能な環境を作りたい

導入効果

- ① タイムリーなデータの取得が可能になった
- ② 利用者の制限がなくなり誰でもデータを扱うことが可能になった

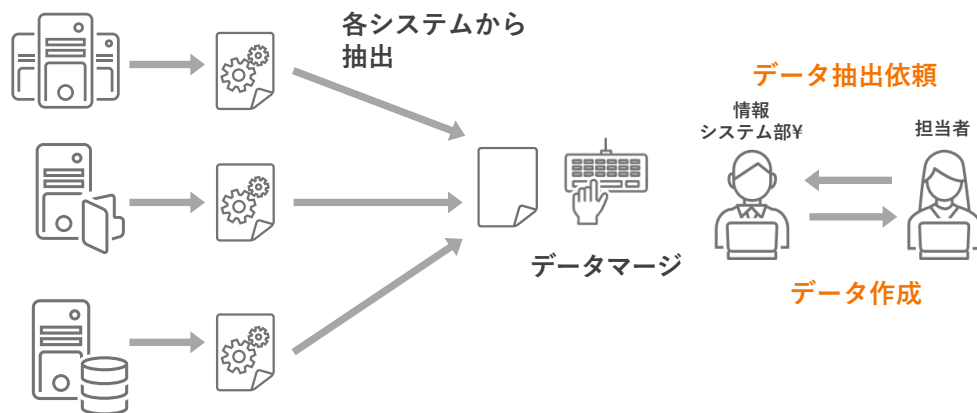


POINT

- ① 担当者が自身で必要なデータがどこにあるのか探すことが可能
- ② 必要なデータを必要な形に成形することが可能
- ③ 情報システム部を介さずにデータを扱えるようになる

Before

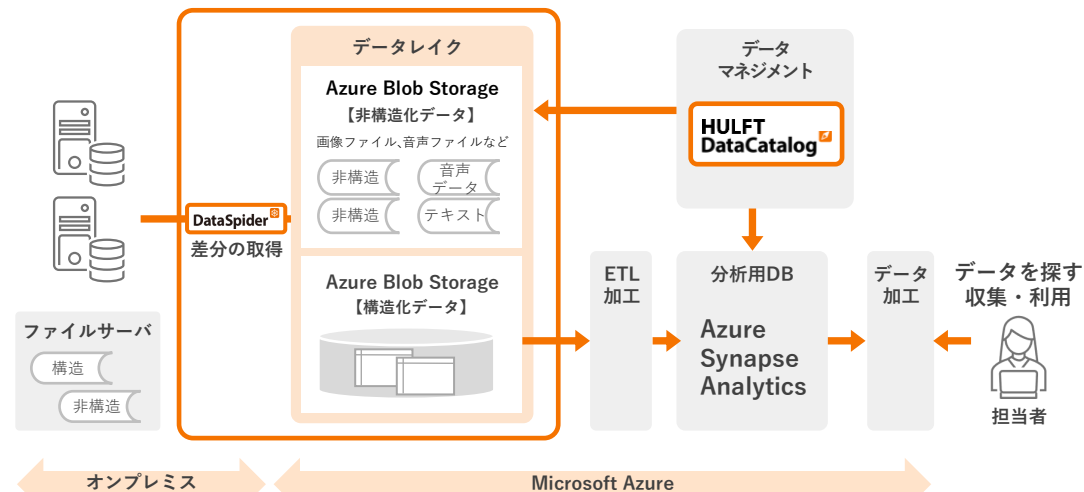
導入前（情報システム部へ依頼）



After

導入後（担当者が実施）

データ収集の範囲



導入製品・サービス

HULFT² DataMagic²
HULFT-HUB²

プロトコル混在の管理負荷・潜在リスクから脱却 ファイル転送の標準化によるセキュリティ向上、運用工数削減を実現

お客様の問題

- ① FTPその他のファイル連携ツールが混在している
- ② 運用が標準化できない
- ③ セキュリティ強化対応にばらつきが発生している

導入効果

- ① HULFT-HUBでエラー発生からの対応速度が向上した
- ② エンドtoエンドでのファイル暗号化を実現した

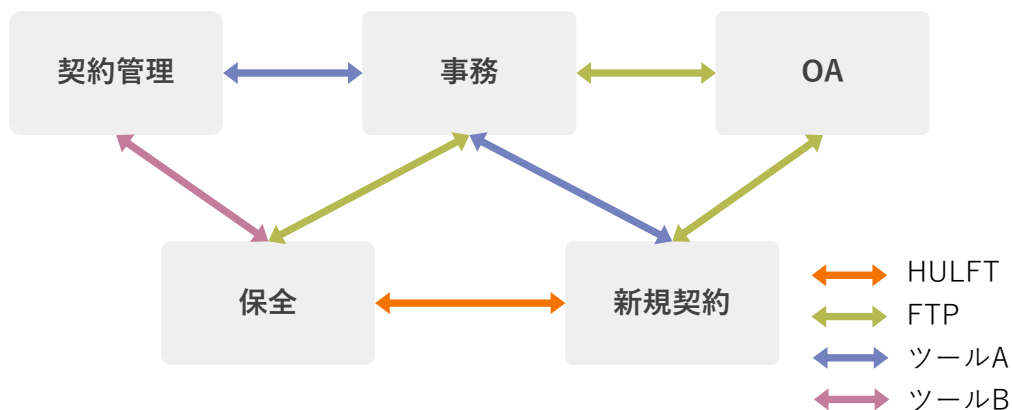


POINT

- ① マルチプラットフォーム対応のHULFTで標準化
- ② HULFT-HUBで一括運用管理。
エラー発生箇所、原因が一目で確認
- ③ DataMagicで外字変換を一元集約
- ④ AES暗号通信に対応

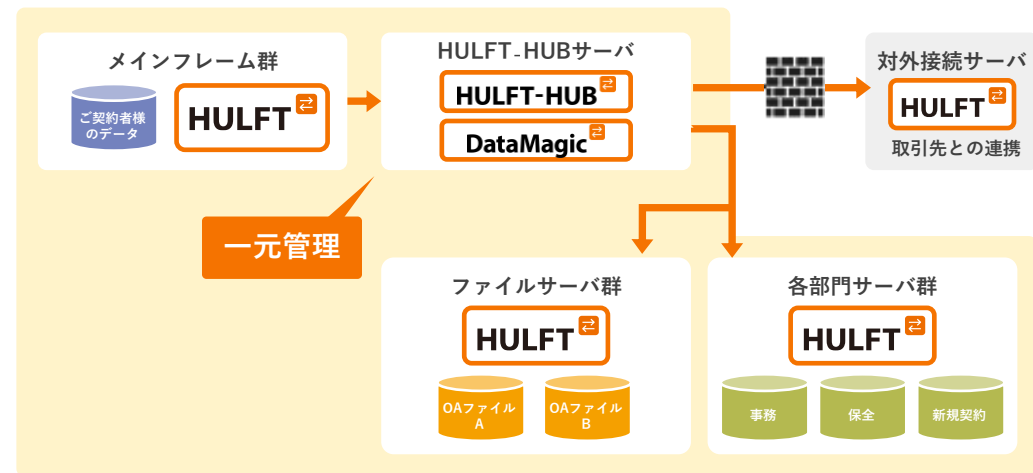
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



導入製品・サービス

HULFT-WebConnect²

HULFT²

媒体交換業務を伝送化

媒体紛失による情報漏洩リスクを排除し、業務自動化を実現

お客様の問題

- ① 媒体の紛失リスクがあった
- ② 媒体読み取り装置、媒体の維持・管理などの煩雑な業務が発生していた

導入効果

- ① 媒体データ交換からの脱却できた
- ② 自社側は運用をHULFTに一本化でき、業務の効率化が実現できた



POINT

- ① 媒体撤廃によるセキュリティリスク削減
- ② 顧客からのデータ受信をHULFTに一本化
- ③ 顧客側は運用に合わせて手段を選択可能

Before

導入前（手作業）

レセプト情報管理サーバ
（健保事業者資産）



媒体

外部企業
（DHP事業者）

媒体読み取り装置

媒体輸送

レセプト管理 447組合

After

導入後（自動化）

レセプト情報管理サーバ
（健保事業者資産）



HULFT²
CLI
D-Client

外部企業
（DHP事業者）

HULFT²

HULFT²
WebConnect

伝送化

レセプト管理 447組合

メインフレーム上のマスタをSalesforceへ連携 オンプレ資産を有効活用しながらホストモダナイズ化を実現

お客様の問題

- ① ホストのデータとSalesforceを連携させたい
- ② データローダーでUpロードしていたがエラー時のハンドリングができない

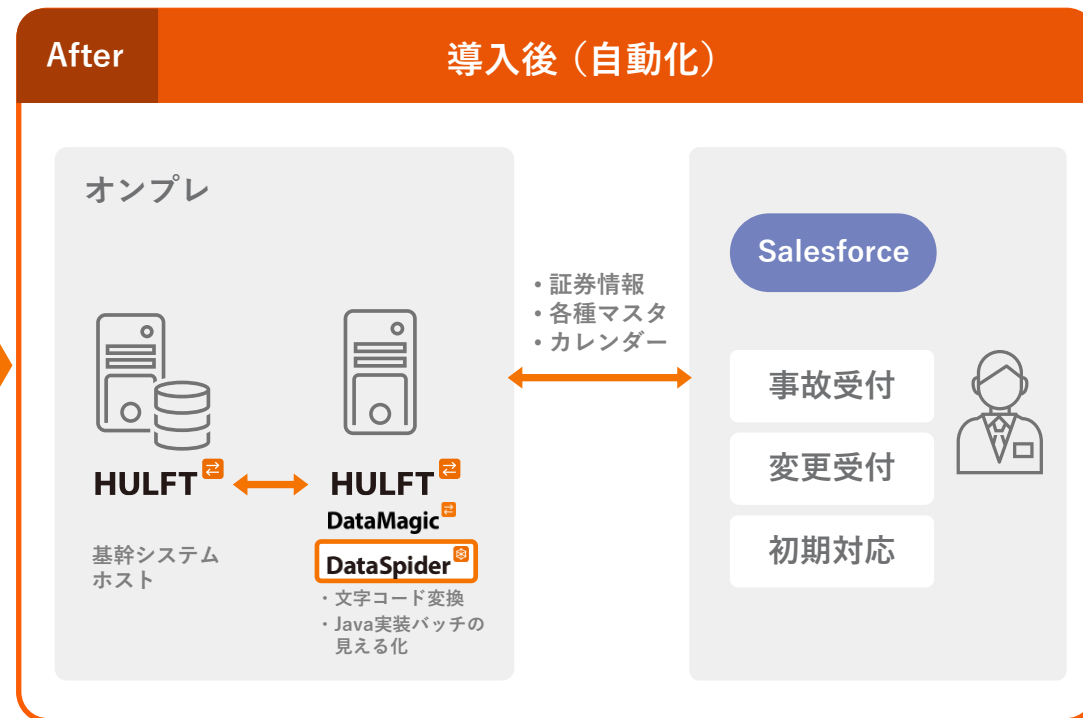
導入効果

- ① オンプレクラウド連携で自動化を実現
- ② Salesforceアダプタのリトライ機能でエラーの問題を解決した



POINT

- ① ホストのデータを一通貫でSalesforceへ連携
- ② 作成したscriptの転用が可能。
標準化・生産性向上属人化排除
- ③ 処理も高速 10万件を超える証券情報も処理



海外グループ数十社を含む横断的なMDMを再構築

マスタを横串しガバナンス強化とデータドリブンなグローバル一体経営を支援

お客様の問題

- ① 広範囲に及ぶ名寄せで時間とコストを圧迫
- ② 新規システム導入やM&Aでマスタが肥大化
- ③ 表記揺れが発生。横串データ利活用が困難

期待される効果

- ① 自動化により業務効率が70%アップ
- ② マスタの一元化により属人的処理が改善
- ③ マスタ抽出、名寄せ、まですべて自動化
- ④ 他社MDMツールと外部連携機能で調和



- ① 複数のマスタを自動収集&カタログ化
- ② マスタ間をタグ付けし論理統合(簡単検索)
- ③ マスタ同士の関連性の見える化・一元化
- ④ 横串データ利活用をクイックかつ低コストで実現

Before

導入前（手作業）

■ AsIsイメージ



マスタ亜種の発生（マスタのマスタ）
表記ユレモレの発生

クラウド化・DX化推進の足かせとなる（マスタ連携・名寄せに時間がかかり工数増を招いている）

After

導入後（自動化）

■ ToBeイメージ



クラウド化・DX化に伴うマスタ管理のインテリジェンス化を実現（スムーズなマスタ連携&論理名寄せ）

SAPマイ그레이ションを契機に脱SAPアドオンを実現 標準モジュールとI/Fの標準化をセットに運用保守工数を大幅削減

お客様の問題

- ① SAPアドオン開発によるコスト・工数が肥大化
- ② DXを見据えたデータガバナンス・活用をしたい
- ③ グローバル経営を支える基盤インフラが必要

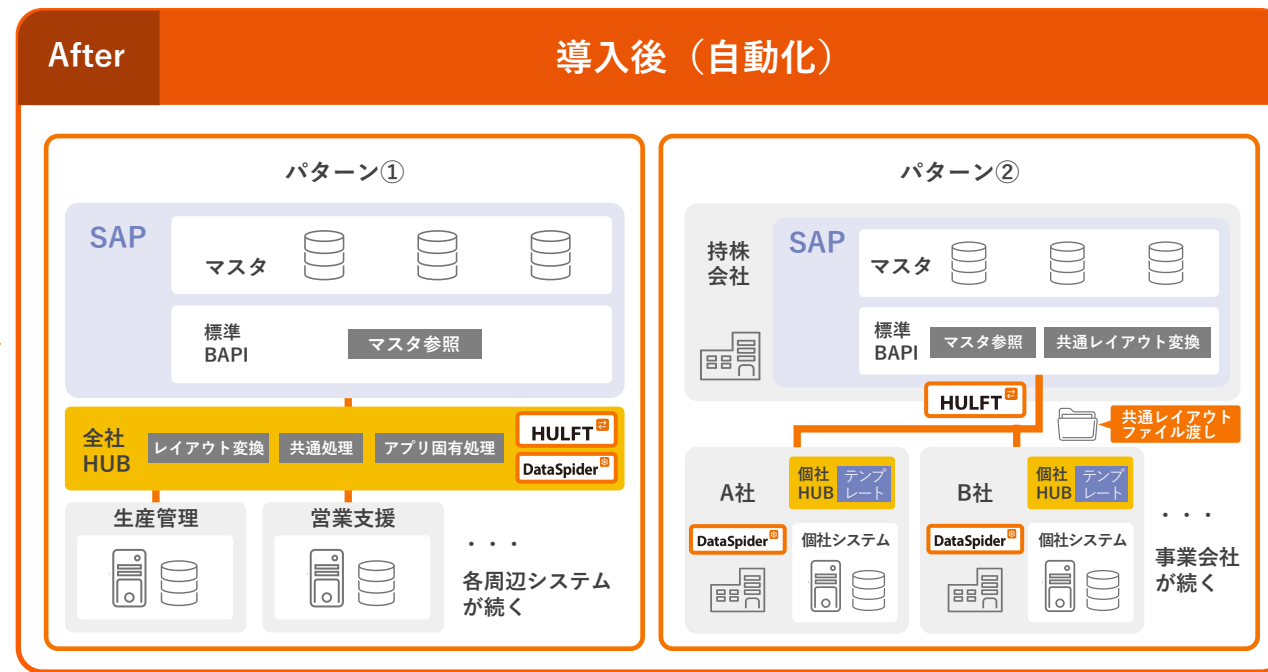
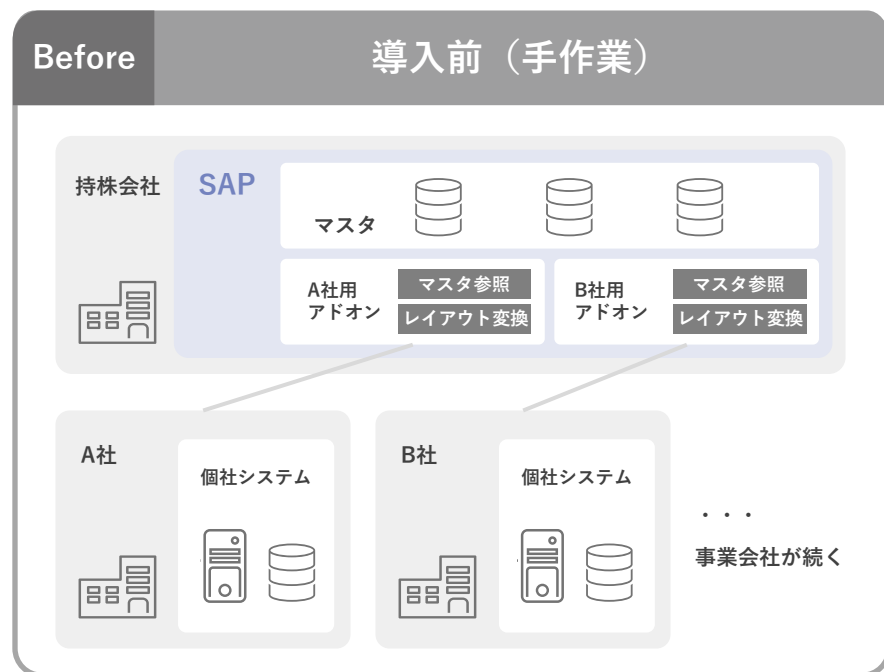
導入効果

- ① SAP標準モジュールによる費用削減
- ② データHUB構築と標準化策定
- ③ アプリケーション依存からの脱却(技術継承)
- ④ 連携容易性の確保(クラウド・SaaS活用)



POINT

- ① 標準開発による経営のスピードアップ
- ② 海外・グループ会社含めた全体最適
- ③ 開発生産性と維持メンテ性の向上
- ④ インターフェースの普遍化・共通化



製造工程間で発生する様々なフォーマットのデータをMESに一元集約 製造工程単位のトレーサビリティを実現し、製造品質改善を実現

お客様の問題

- ① システム間のフォーマットの違いがある
- ② スクラッチによる開発工数が増大している
- ③ 将来的な拡張も見据えたツールが必要

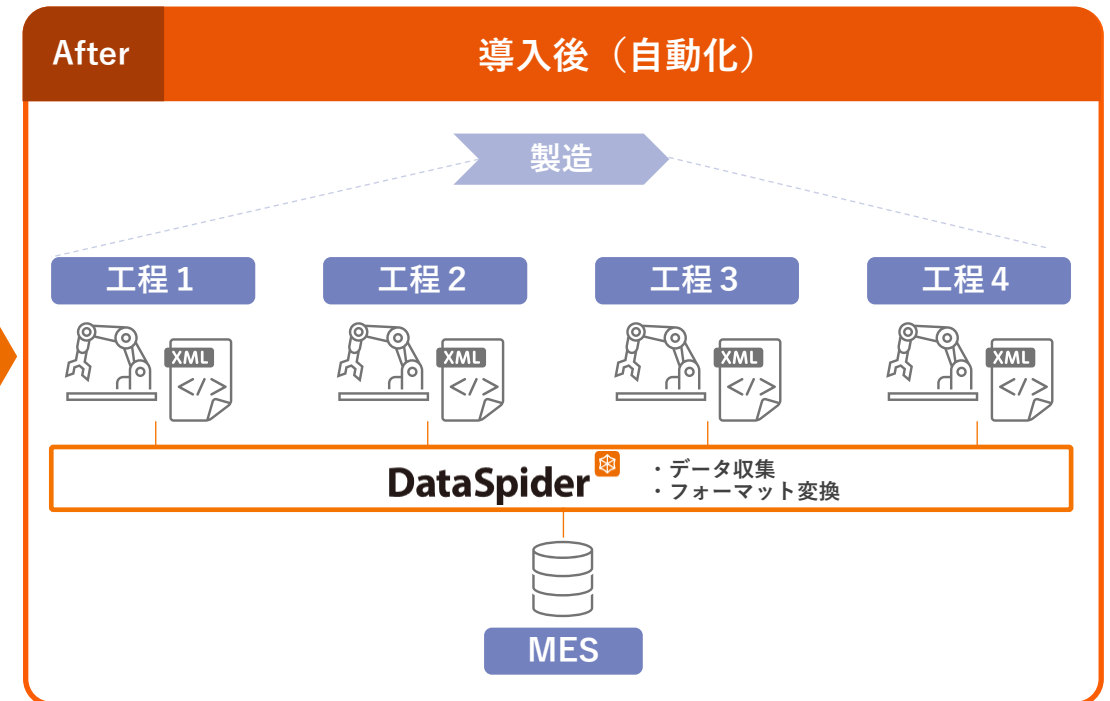
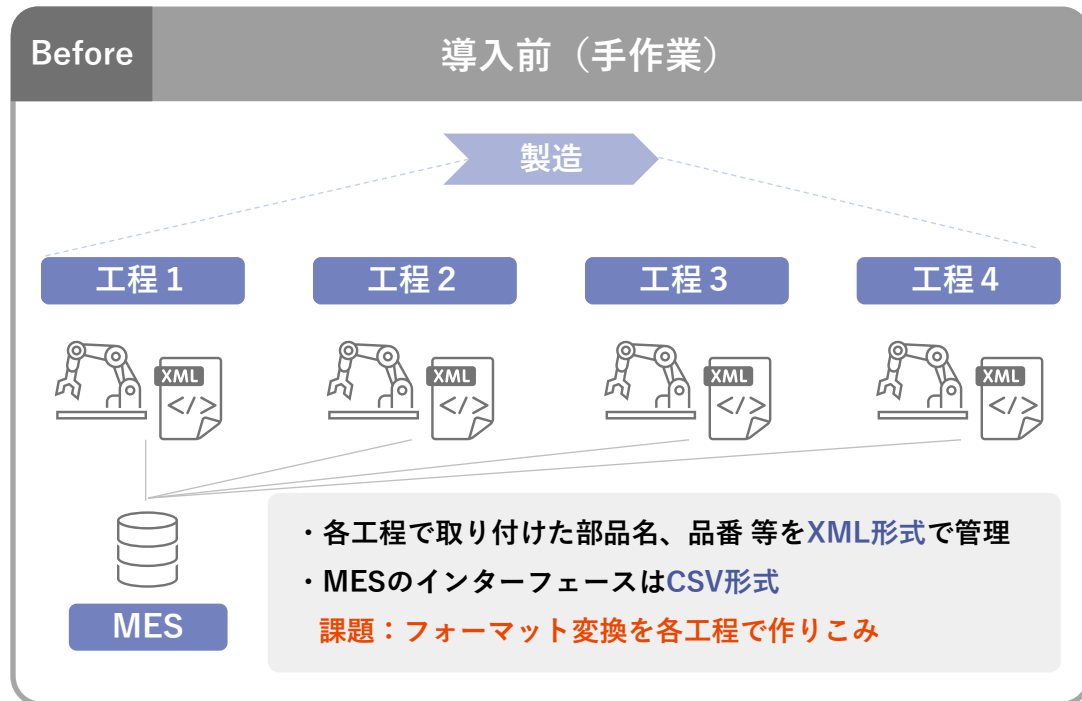
期待される効果

- ① 生産設備からMESへの自動連携を短納期で開発できるようになった
- ② 拡張性も確保できたのでデータ利用範囲の拡大も検討できるようになった



POINT

- ① データ/フォーマットの加工変換をノンプログラミングで実装可能
- ② 新しい連携先システムにも柔軟に対応が可能



導入製品・サービス

HULFT IoT²

工場内のアナログ設備をIoT化、予兆監視を実現 生産設備のトラブルを未然に防止し、稼働率向上に寄与

お客様の問題

- ① IoTを推進したいが本社と連携するためのネットワークセキュリティ担保が困難
- ② 利活用できず溜まり続けるデータで保管コストが増加

導入効果

- ① 稼働データを本社リスク管理システムに自動連携できるようになった
- ② 稼働・監視データの蓄積・転送・リスク発見の早期化を実現できた

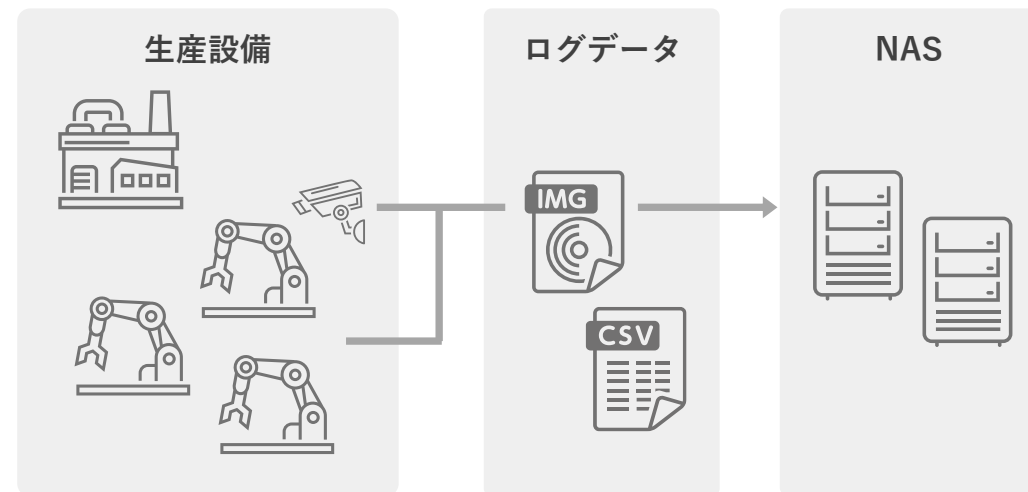


POINT

- ① HULFT通信によるセキュアで確実なファイル転送
- ② 既存設備の入れ替えではなく、利活用を推進
- ③ 社内ネットワークセキュリティを変更することなく、対応可能

Before

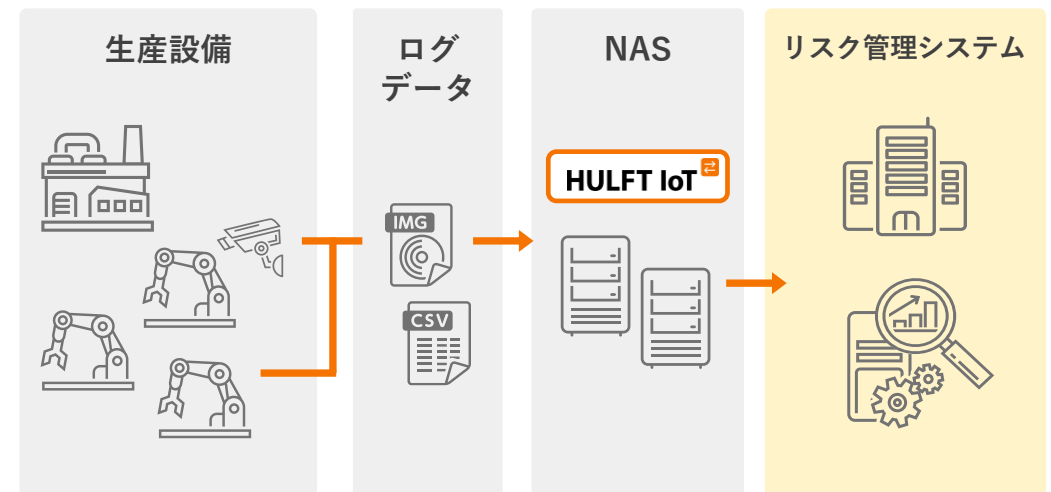
導入前（手作業）



NASにログデータを溜めるだけで特に活用されず

After

導入後（自動化）



リスク管理システムへ自動連携→予兆監視を実現

エンジニアリングチェーン(ECM)上の分断化したデータを一元集約 ECM上のデータを活用し新規ビジネス創出に貢献

お客様の問題

- ① 設計・開発・試作・評価などECM上の各フェーズの情報がサイロ化
- ② 手作業で部品表(BOM)への同期を行っている
- ③ 製品情報のリアルタイム連携が出来ない

導入効果

- ① 上流工程、自工程、下流工程、それぞれのデータを紐付け一元化、ドリルダウンして見える化を実現した
- ② 部品表へのリアルタイム連携・タイムリーな利活用が可能になった

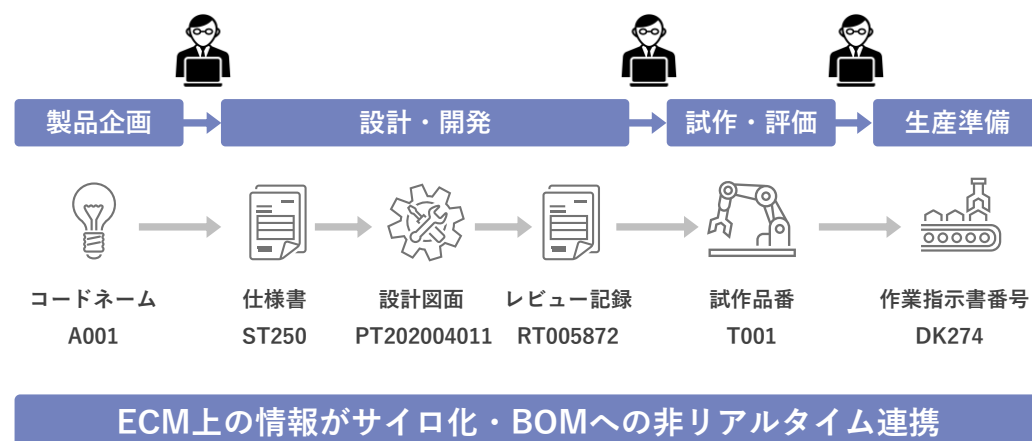


POINT

- ① ETLツール+統合DBの組み合わせにより、汎用的で内製化できるデータ統合基盤を実現
- ② 工程毎のベストプラクティス・新しいビジネスモデル対応しやすく、業務実態に即したシステムへ
- ③ 通常のPLMパッケージ購入(+周辺I/F開発)と比較し、高い費用対効果を発揮

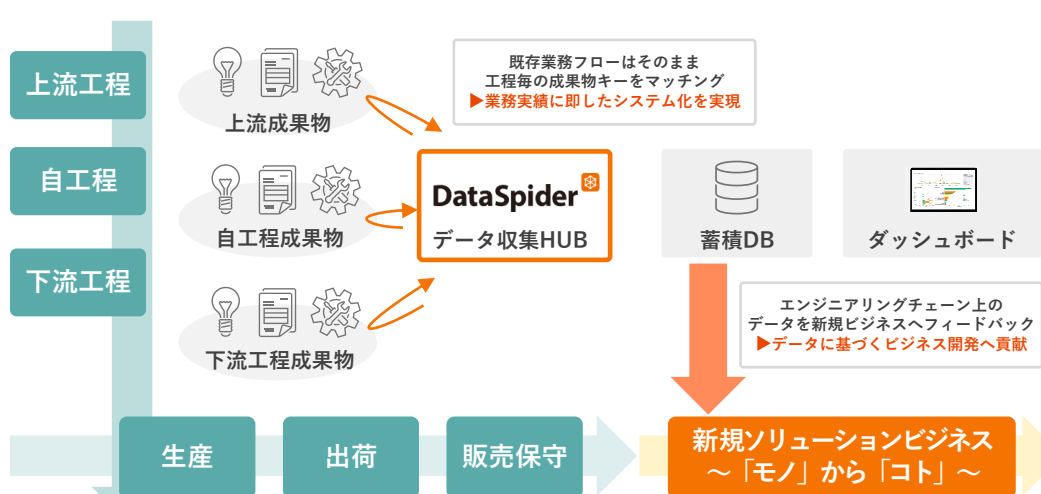
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



電力自由化に伴い、新電力のCIS基盤をクラウド上に構築 既存CISの改修を最小化し、競争力ある新電力メニューをタイムリーに提供

お客様の問題

- ① お客様と自社サービスの連携に時間が掛かる
- ② 今までは可視化されていない属人的な処理があった
- ③ 手作業の業務に手作業の運用

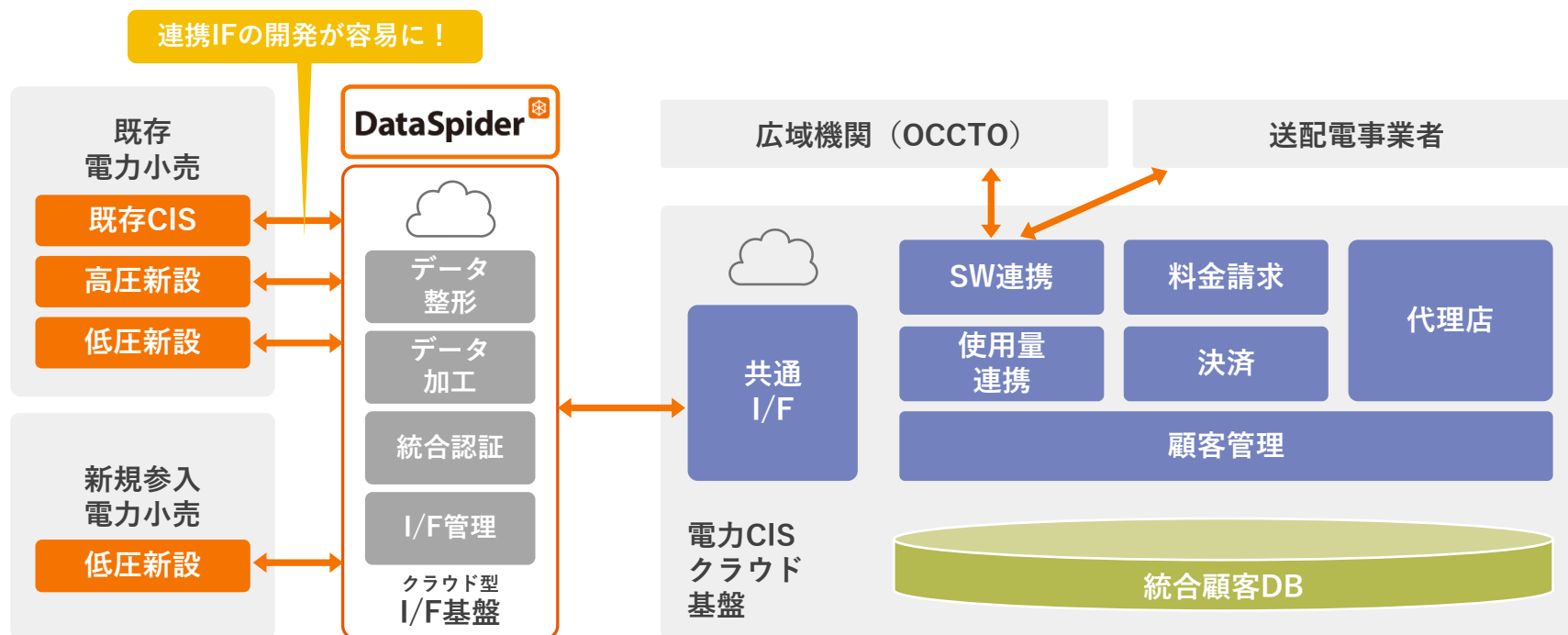
導入効果

- ① IF共通化により業務効率が50%アップ
- ② 導入スピードが向上→顧客満足度UP！



POINT

- ① 連携の個別個社対応から脱却可能な共通IF
- ② 新規接続要望にスピーディーに対応可能
- ③ HULFTとの親和性が高い
- ④ 運用/保守性が高い



オンプレのデータ資産をクラウドDWHへリフト

高度なITスキル不要で誰もが利用可能なデータ可視化・分析基盤を構築

お客様の問題

- ① お客様と自社サービスの連携に時間が掛かる
- ② 可視化されていない属人的な処理が発生している
- ③ システム間連携に密結合があり、刷新が困難

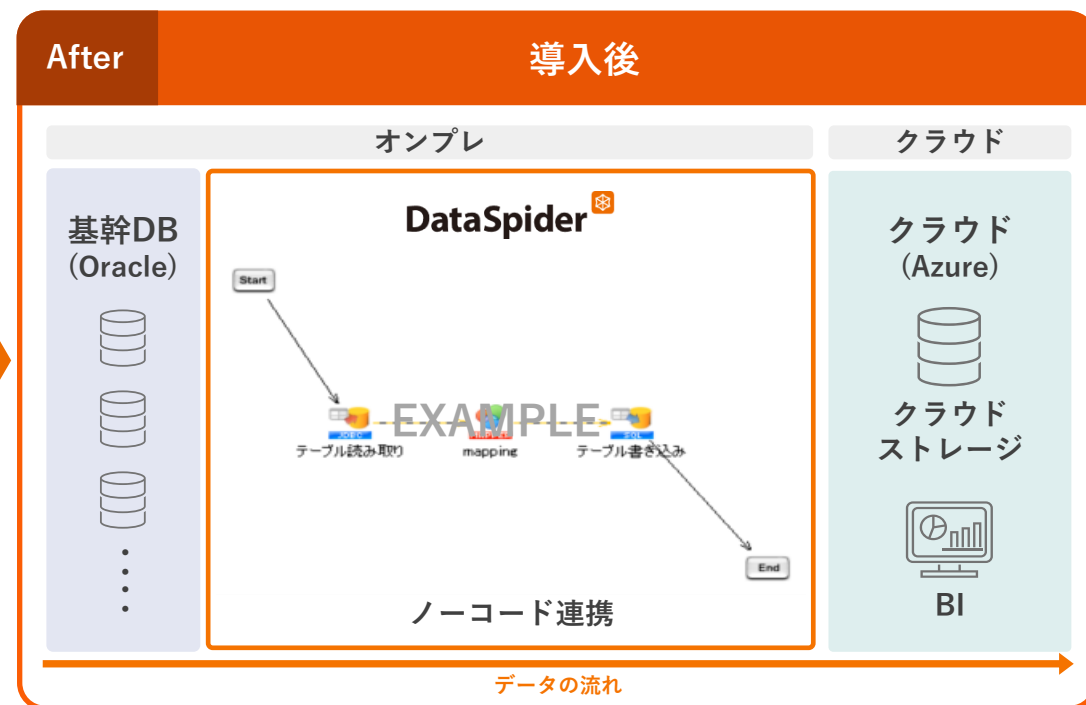
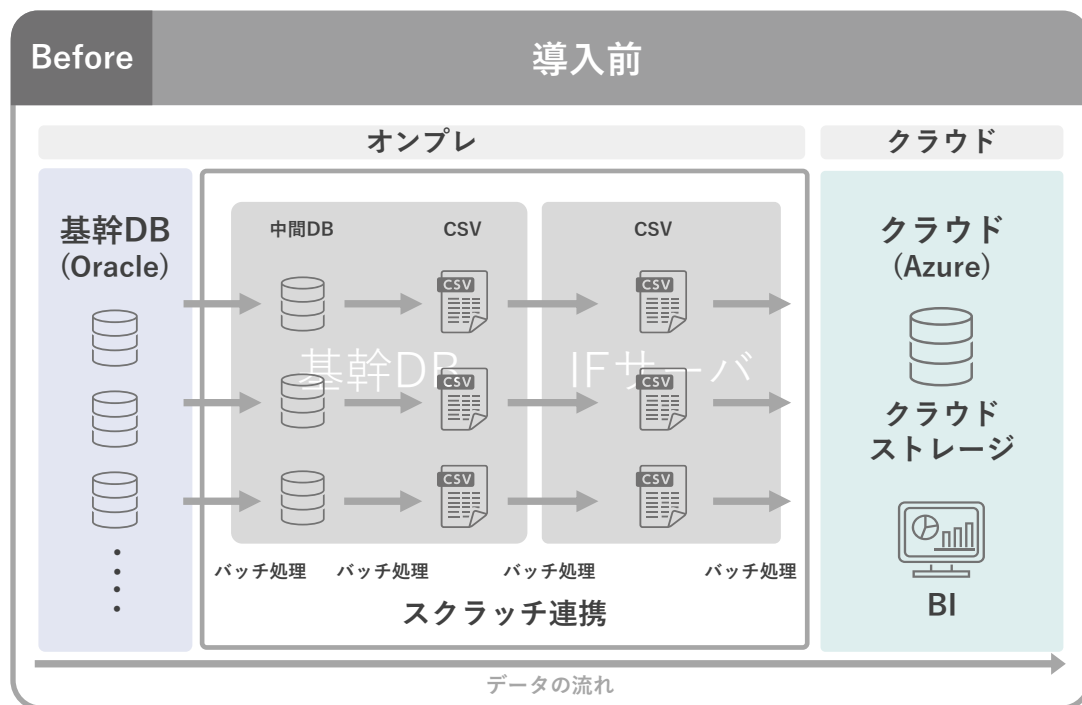
導入効果

- ① IF共通化により業務効率が50%アップ
- ② システム管理運用の属人性の排除に成功！
- ③ 導入スピードが向上→顧客満足度UP！



POINT

- ① 密結合対応から脱却可能なIF
- ② 新規接続要望にスピーディーに対応可能
- ③ 運用/保守性が高い



日本・北米・欧州・アジアの4リージョンを跨ぐデータ連携基盤

グローバル標準を策定し安定したI/F開発・運用、ガバナンス強化を実現

お客様の問題

- ① 各地域で異なる技術を利用
(他地域との通信はサポートしない)
- ② システム毎に連携処理を個別開発
- ③ 運用レベルがバラバラ

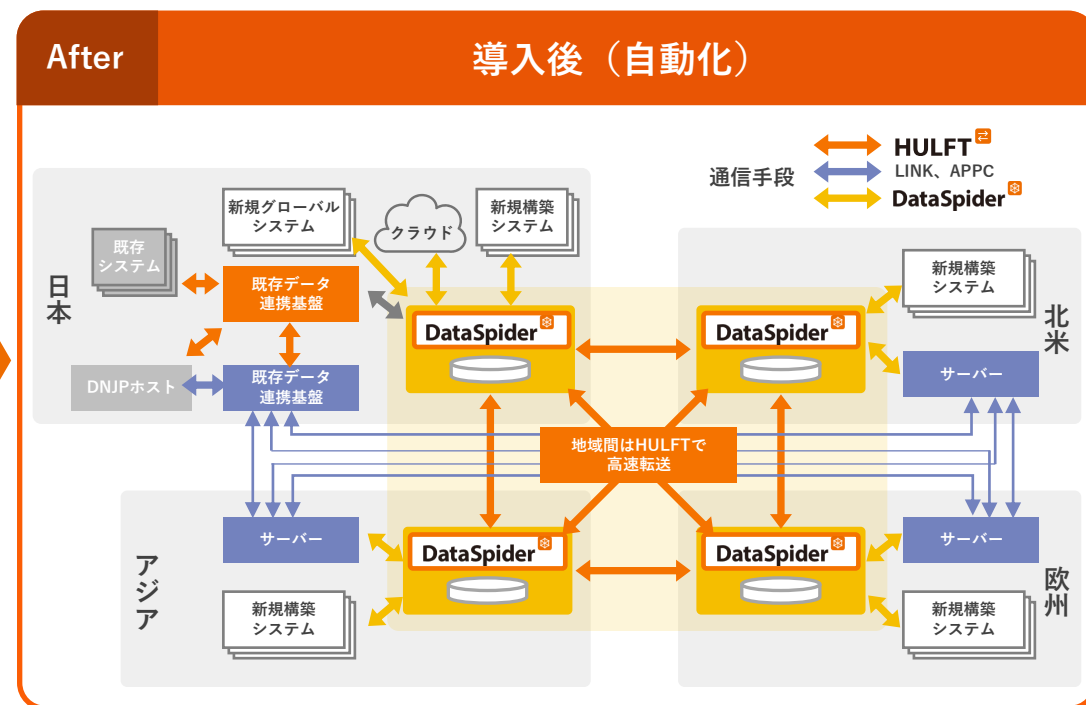
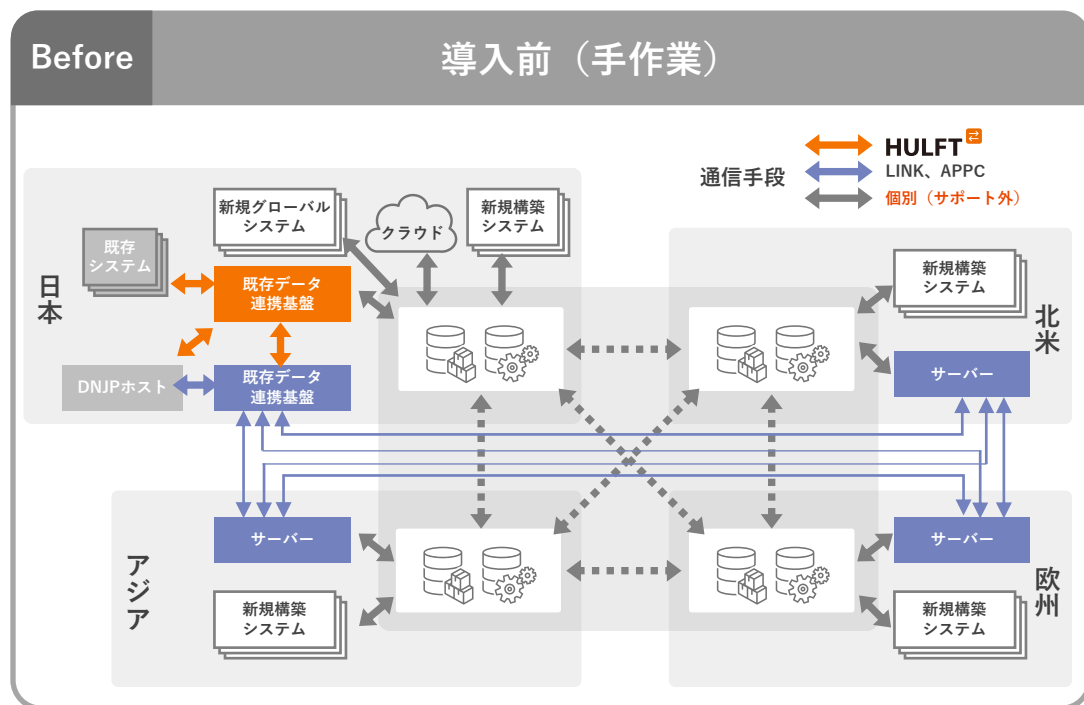
導入効果

- ① グローバル標準
(30分の遅延で他地域と通信可)
- ② 相手方式を意識せずに容易に連携
- ③ グローバル運用窓口設置、ノウハウの集約



POINT

- ① レガシー～最近技術を幅広くカバー
- ② 連系処理のパターン化に対応
- ③ グローバル均一の運用サポート品質



Box・SharePoint・Snowflakeの散在するデータを横断活用 データ連携の手法を標準化し開発工数・運用工数50%減を実現

お客様の問題

- 1 属人化された作業を排除したい
- 2 部門専用のアドホックなEAI利用による効率的な運用をしたい
- 3 Snowflakeとの連携をしたい

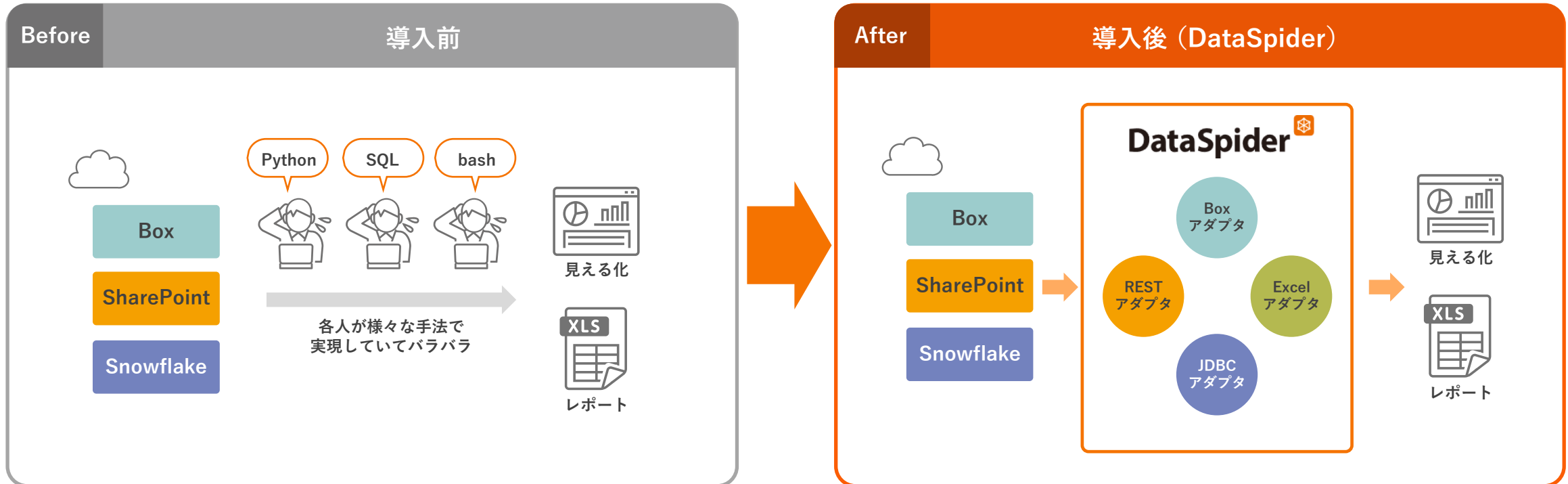
期待される効果

- 1 Box、SharePoint、Snowflake への連携で属人化した作業を排除
- 2 開発工数を大幅に削減できた
- 3 データの利用範囲が拡大できた



POINT

- 1 データ収集にパッケージを利用することで本業に専念できる
- 2 仕様書の自動生成による資産の共有



受注担当者のエクセルバケツリレーを完全自動化

煩雑な入力と手作業によるミスを無くし、働き方改革に貢献

お客様の問題

- ① 仕入先からの受注業務を手作業で実施
- ② 手作業による入力ミスが発生
- ③ 注文書不備のメール問合せ等の業務が煩雑

導入効果

- ① 煩雑な入力、不備確認を完全自動化
- ② 手作業によるミス撲滅
- ③ 将来のシステム変更にも柔軟に対応



POINT

- ① 伝票受領～不備確認～DB登録を自動化
- ② 手作業によるミスを発生するポイントを回避
- ③ 将来、受注システムがクラウド化されても対応可能

Before

導入前（手作業）

仕入先
担当者



エクセル
ファイル
メール送信

業務担当者



担当者は
エクセルファイルを開き
受注DBへ登録

受注DB



注文書記載内容
不備時はメール確認

After

導入後（自動化）

仕入先
担当者



エクセル
ファイル
メール送信

不備内容は
仕入先へ
自動配信

受注サーバ

DataSpider

- ・メール自動受信
- ・仕入先から送信されたエクセル伝票データを自動取込

受注DB



受注内容を
自動登録

受注業務を完全自動化

メールEDIにおけるスクラッチ開発を刷新 安定した受注業務により受注漏れ防止とリードタイム削減に寄与

お客様の問題

- ① 現状の動作が確認できるドキュメントの整備をしたい
- ② 新規取引先の追加にともなうメンテナンスに対する時間と費用の削減を行いたい

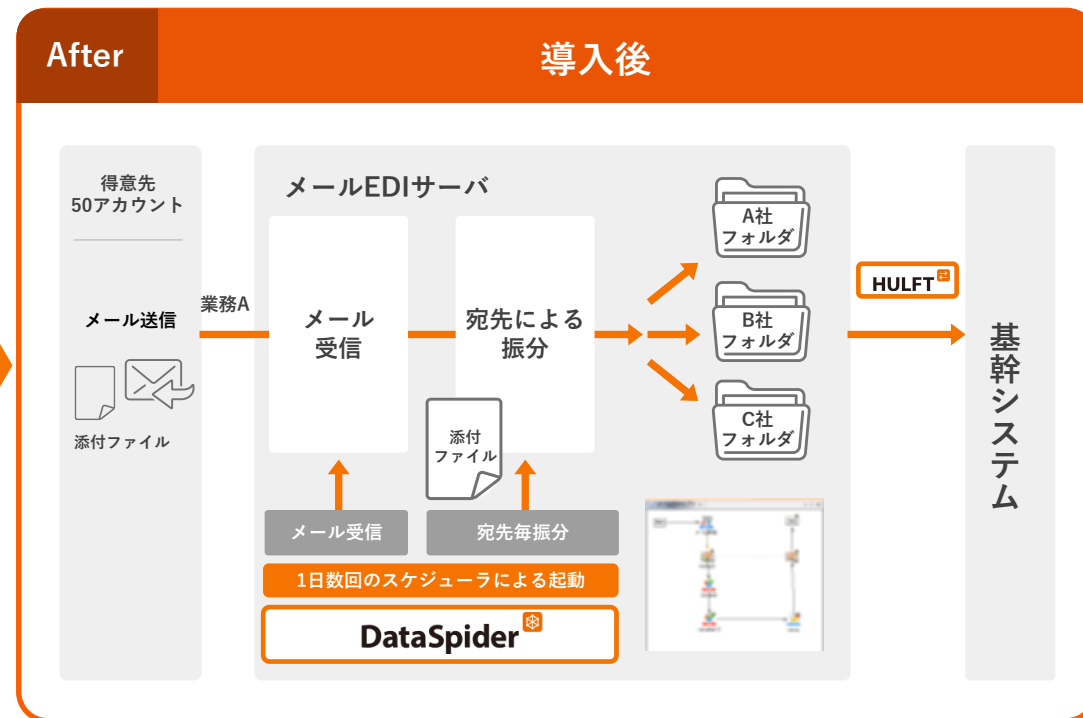
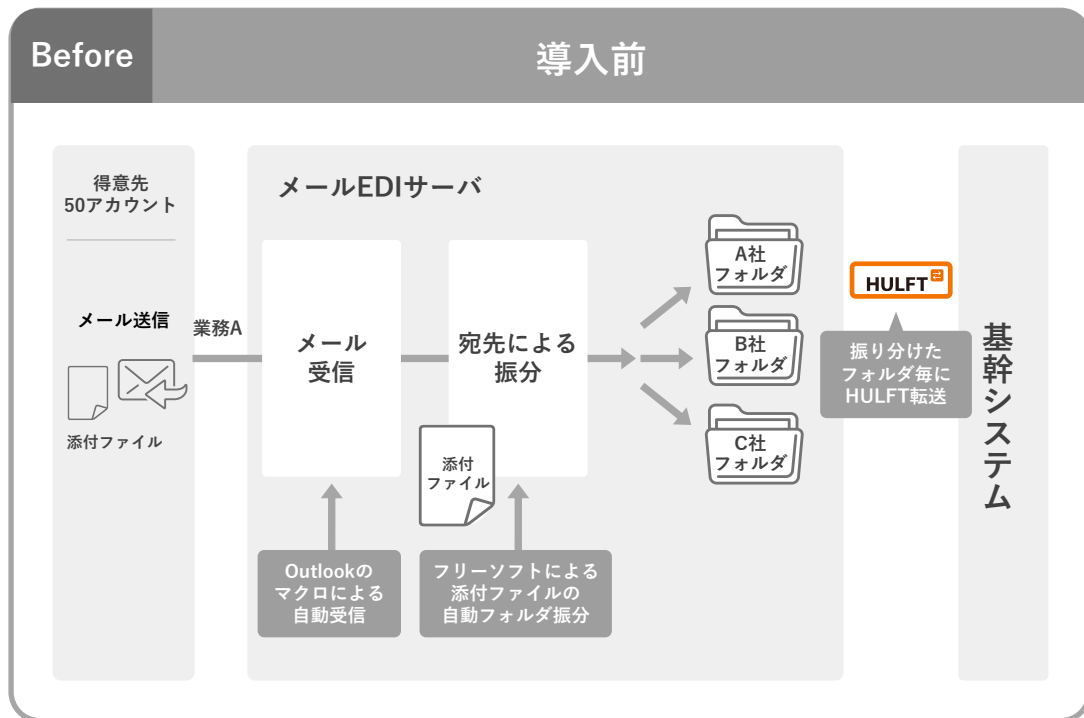
導入効果

- ① 連携により開発工数の削減を実現
- ② 自動処理による属人化された作業の排除



POINT

- ① アイコンを並べて作成するため、開発やメンテナンスが容易
- ② スクリプトの仕様書を自動生成するため、ドキュメントが揃い、メンテナンス工数も不要
- ③ HULFT他、豊富なアダプタをご用意



ログファイルや検査用紙など分散していた検査情報をデジタル化 問題発生時の原因究明時間の短縮と抜本的な品質改善に寄与

お客様の問題

- ① 品質の全量検査を行うことが出来なかった
- ② 手作業による為、業務が煩雑化
- ③ デジタル化されていない為追跡も困難

期待される効果

- ① デジタル化を行うことにより全量検査が可能
- ② 業務を全て自動化することによる効率化
- ③ 検査結果確認も瞬時に実施し、不良率低減



POINT

- ① 設備ログからトレーサビリティDBまでの業務自動化
- ② 設備から取得したログは瞬時にDBへ反映
- ③ 将来工場拡張時にも柔軟に対応

Before

導入前（手作業）



ログを
紙保存



問題発生時
紙保存された
ログを手作業で
探索

各工場
製造機器（約10台）

After

導入後（自動化）



共有
フォルダ
にデータ
格納

各工場
製造機器（約10台）

データ収集サーバ

DataSpider



データを
DBへ格納



BIツールによる
検索・可視化

トレーサビリティ業務を完全自動化

異なるサービス間(Box⇔SharePoint)連携によるデータ活用の強化 統一された連携手法でコラボレーションを加速しデータ利用範囲の拡大に成功

お客様の問題

- 1 新規利用のBoxとSharePointとを迅速に連携をさせたい

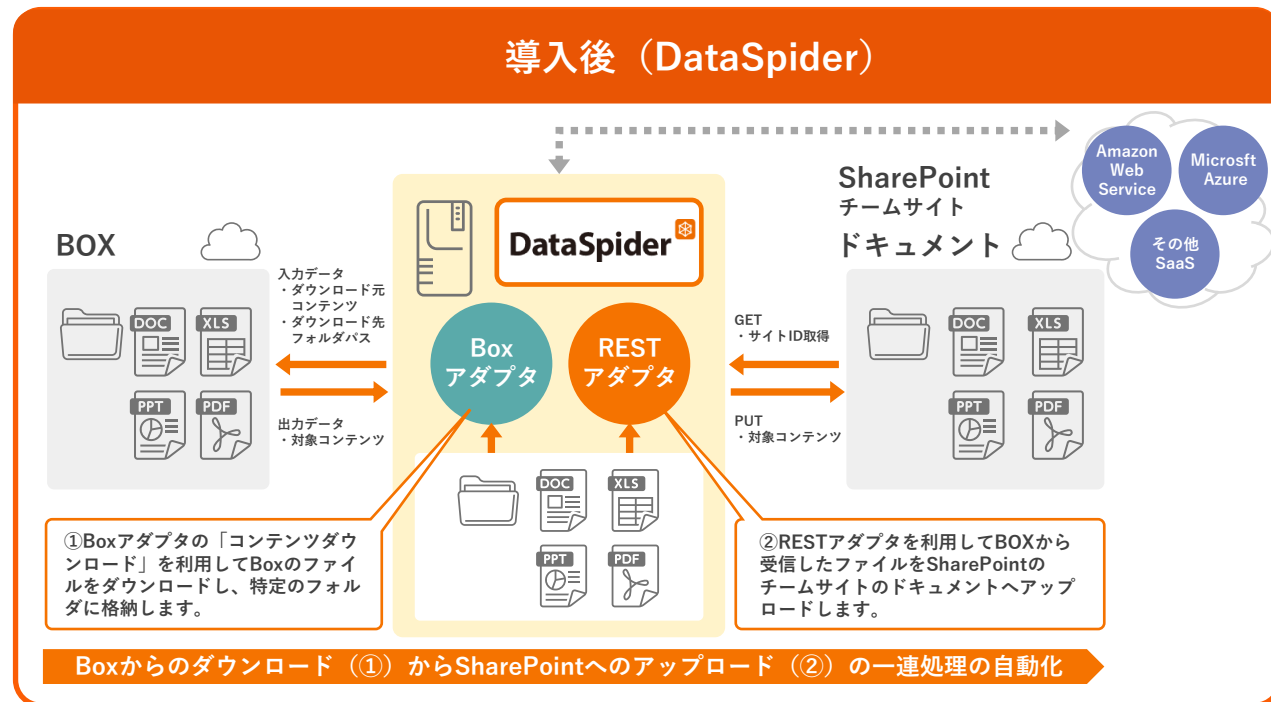
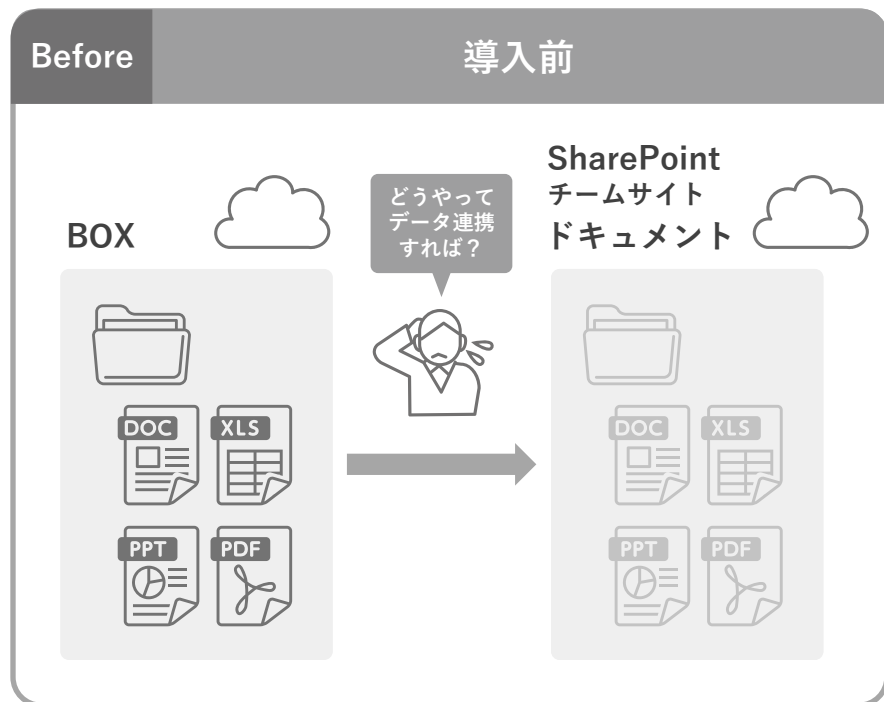
期待される効果

- 1 BoxからSharePointへの連携を実現
- 2 ツールによる連携により開発工数を削減
- 3 データ利用範囲の拡大



POINT

- 1 BoxアダプタとRESTアダプタを利用することで自動で連携が可能
- 2 限定的なデータ連携だけでなく、その他のクラウド連携も同じ開発手法で対応可能



決算データ(子会社、孫会社含む)の目検チェックから脱却 決算業務の属人化を解消し正確な業務遂行と業務負荷を大幅に低減

お客様の問題

- ① グループ会社内で統合・買収などにより、異なる会計システムの連携の必要性が高まる
- ② 人海戦術での作業の非効率化が問題に

期待される効果

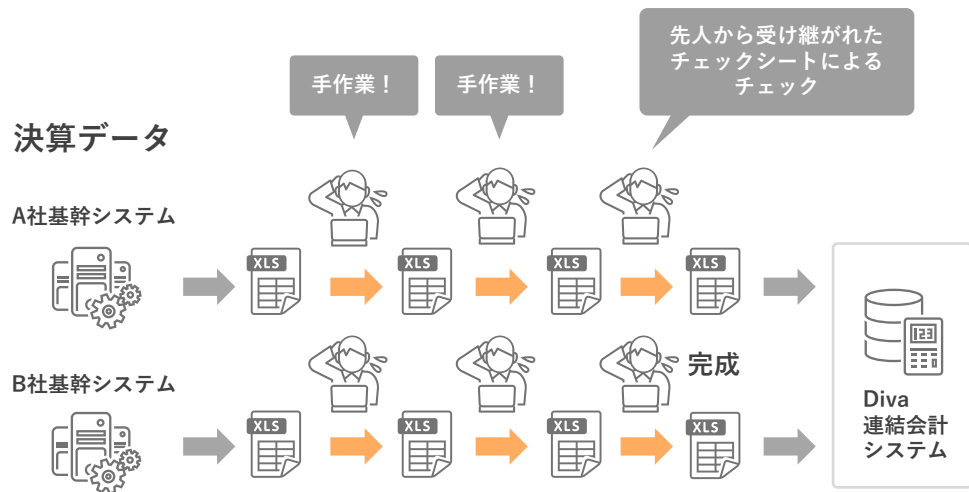
- ① DataSpiderによる業務間連携により、自動化の推進
- ② ミスの撲滅、改竄防止や属人化の排除
- ③ 決算時期の業務の集中を回避し、ワークライフバランスが向上



- ① 複雑なチェック処理を含めた自動化
- ② 手作業の排除による非効率な作業の排除やセキュリティ面の向上
- ③ 仕様書の自動生成により、業務の見える化も実現し、属人化された作業も排除

Before

導入前 (手作業)



After

導入後 (DataSpider)

決算データ

A社基幹システム

B社基幹システム

DataSpider[®]

完成

Diva
連結会計
システム

製品マスタデータのExcelや紙への転記業務プロセスを刷新 システム to システムを直接連携させ、省力化とコスト最適化を実現

お客様の問題

- ① 基幹システムからのデータ抽出・加工処理の外部委託が影響を及ぼす納期やコストが増大
- ② 製品マスター等をExcelで管理することによる転記ミスや二重入力の負荷が顕在化
- ③ 業務現場からのデータ活用リクエストへのタイムリーな対応が困難

導入効果

- ① 内製化の実現により年間数百万円規模のコストを削減
- ② ミスの解消とともに利用可能なデータの範囲が拡大し、業務効率を向上
- ③ 既存業務の効率化とともにデータ活用を推進するためのデータ連携基盤を整備

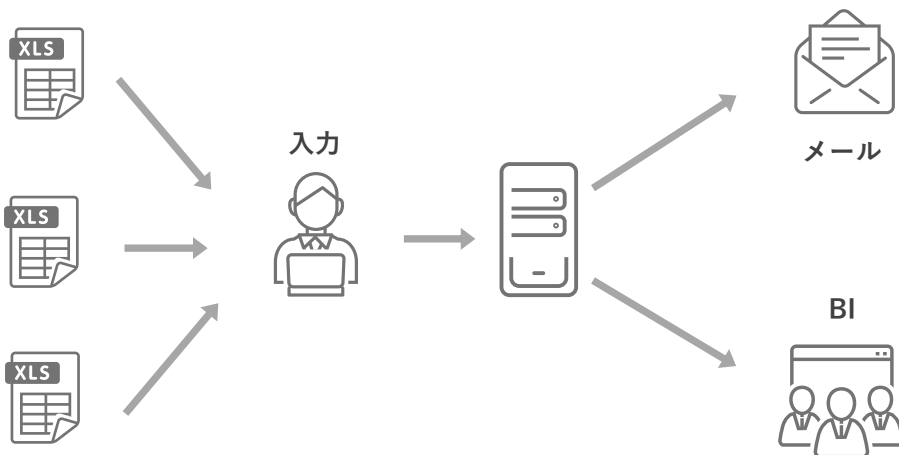


POINT

- ① データ連携処理を内製化し、業務効率化が期待できるDataSpiderを導入
- ② マスターデータの取得を自動化し、Webデータベースに集約する仕組みを整備
- ③ 高い効果が見込まれる業務を中心に、データ連携の自動化を推進

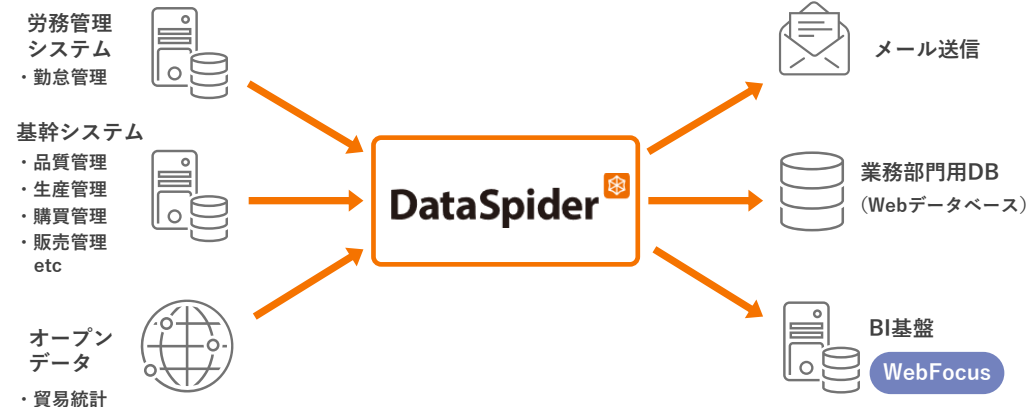
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



地銀共同センターにおける海外製EAI製品からリブレース 開発生産性の向上と保守費用の最適化を実現

お客様の問題

- ① 海外製EAI製品利用による、高コスト／サポート対応の長期化などが問題になる
- ② システムバージョンアップに伴い、既存EAI製品の処理フローを再構築しなくてはならない

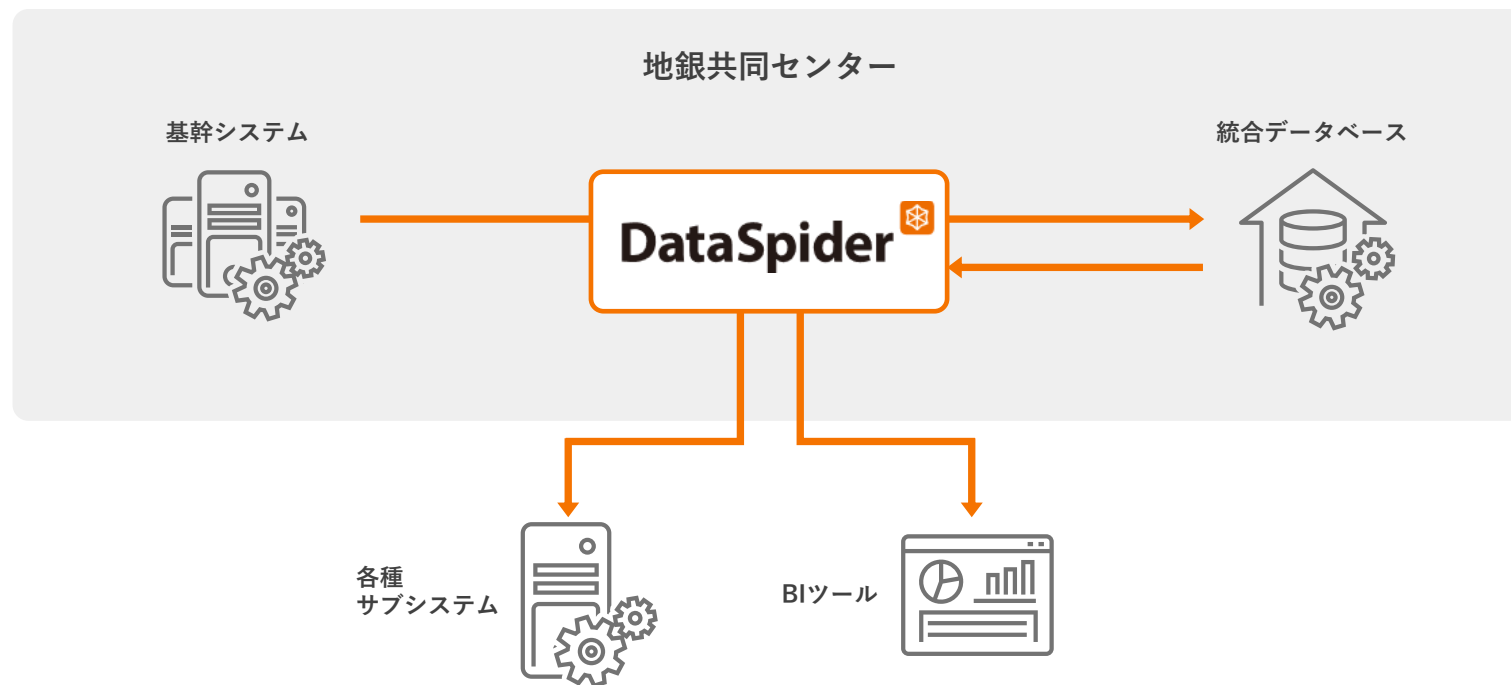
導入効果

- ① EAIコスト:数千万円単位→数百万単位へ低減
- ② PoC実施による、既存海外製EAI製品と同等機能確保
- ③ 本番稼働によるノントラブル稼働運転



POINT

- ① パッケージソフト提供による適正コスト
- ② 純国産製品による日本語での電話サポート対応／高レスポンスによるメールサポート対応



担当者同士の電話・FAXリレーをSalesforceに一元化 デジタル化により施工品質の改善、書類管理工数50%削減

お客様の問題

- ① 関係者が多いなか伝達手段も統一されていず、非効率な管理をしている
- ② スクラッチ開発で問題解決を図ろうとしたが大掛かりな投資と膨大な時間がかかる

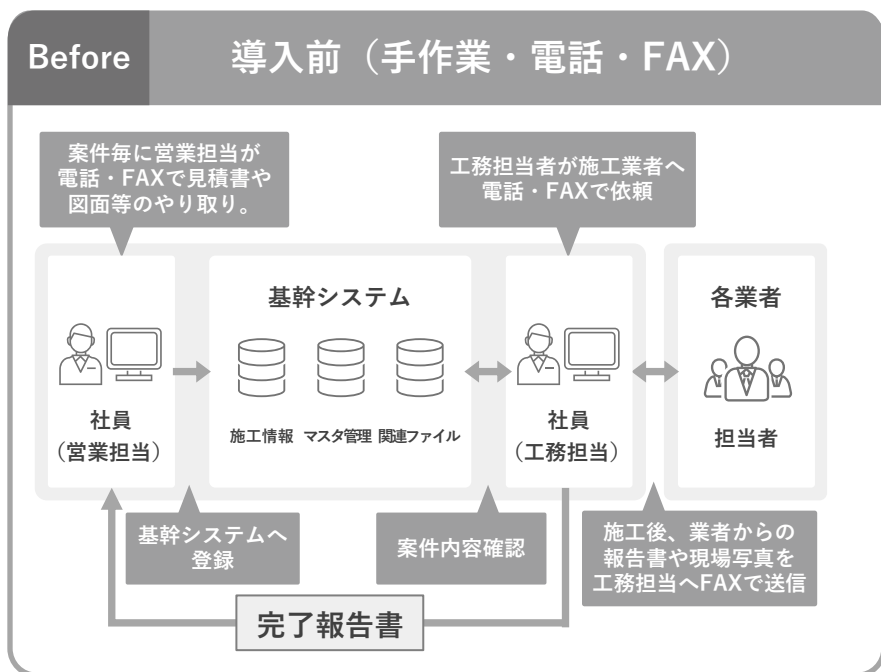
導入効果

- ① 紙文書が不要となり、工務担当者の当該工数は半分程度に削減することに成功
- ② 専任者を別の業務にシフトできるようになり、更に写真の共有によって施工品質の大幅な改善



POINT

- ① DataSpider Cloudならコーディングすることなく オンプレミスとクラウド環境を柔軟に連携することが可能。
- ② Thunderbusオプションにより、既存のネットワーク環境に手を加えずともシームレスかつセキュアな通信を確立。



地方自治体向け業務パッケージのカスタマイズを低コストで実現 固有の業務要望をパッケージで吸収し、自治体・ベンダ双方でメリット享受

お客様の問題

- ① (自治体側)ベンダロックイン解消したい/
業務システムを共通化・集約化したい
- ② (ベンダ側)TCO削減のためデファクト製品を
利用し、安定稼働/充実したコード・フォ
ーマット変換を実現したい

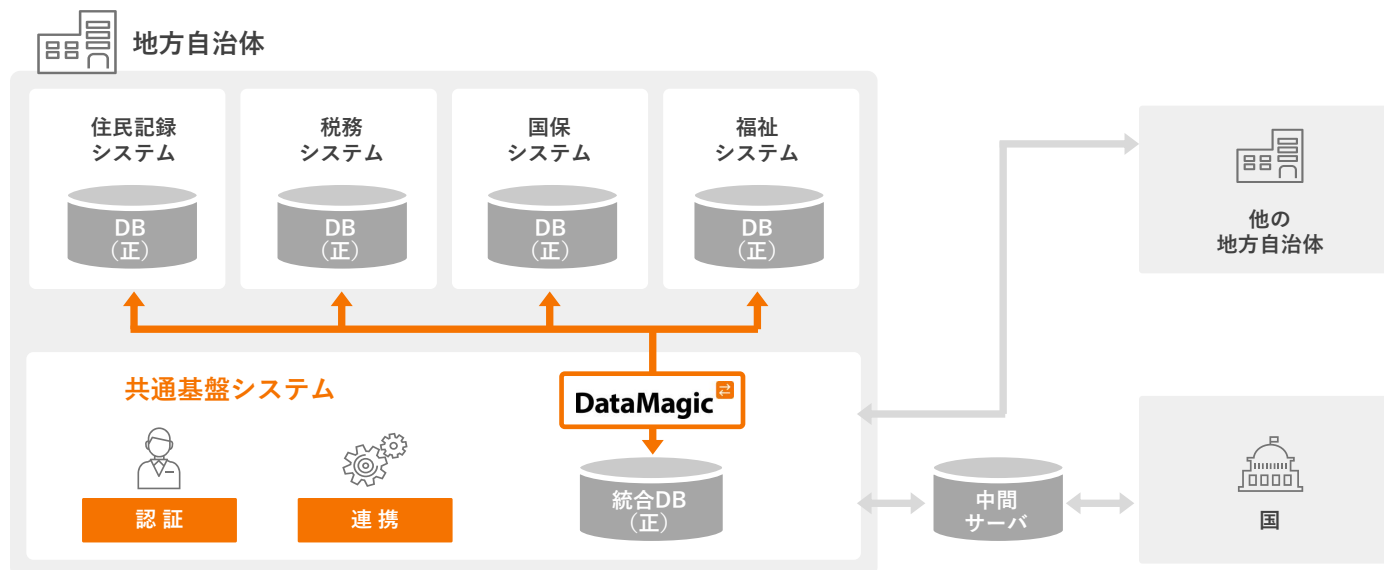
導入効果

- ① (自治体側)共通基盤システム/デファクト
ツール利用によるTCO削減を実現
- ② (ベンダ側)課題解決/訴求ポイント実現による、
お客様満足度向上。また、他自治体への横展開
により収益が向上



- ① (自治体)マルチベンダー対応→
共通基盤システム採用
- ② (ベンダ)専用ツール採用によるSE/ノウハウ集約
開発・維持・メンテナンス時の簡単かつ短納期対応
- ③ 低価格/高機能によるTCO削減

共通基盤システムのイメージ



Google スプレッドシートとSalesforceを自動連携 営業集計などの手作業を省力化し働き方改革に寄与

お客様の問題

- ① スクラッチ開発でのデータ連携のため、連携先のSaaSが仕様変更するたびに対応が発生
- ② 顧客情報DBのメンテナンスは、手作業で4～5時間
- ③ Salesforceと他SaaSと連携させるのに2カ月

導入効果

- ① 営業情報をGoogleスプレッドシートに展開する作業が自動化、週1回1時間の実施となり作業時間を短縮
- ② データの精度が向上、最新データの分析が可能となった
- ③ 他SaaSとの連携が数日以内で実現

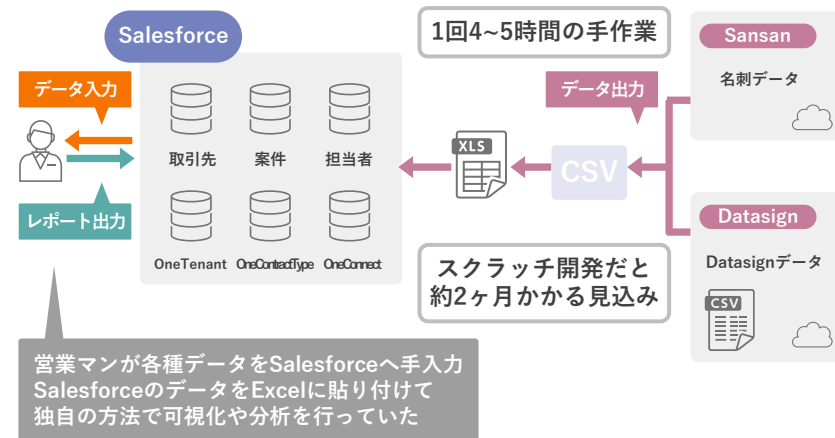


POINT

- ① SalesforceやGoogle スプレッドシートへの接続等、豊富なアダプタが標準機能で実装されている。
- ② 将来的に連携先のSaaSが増えた場合でも柔軟に対応できる。

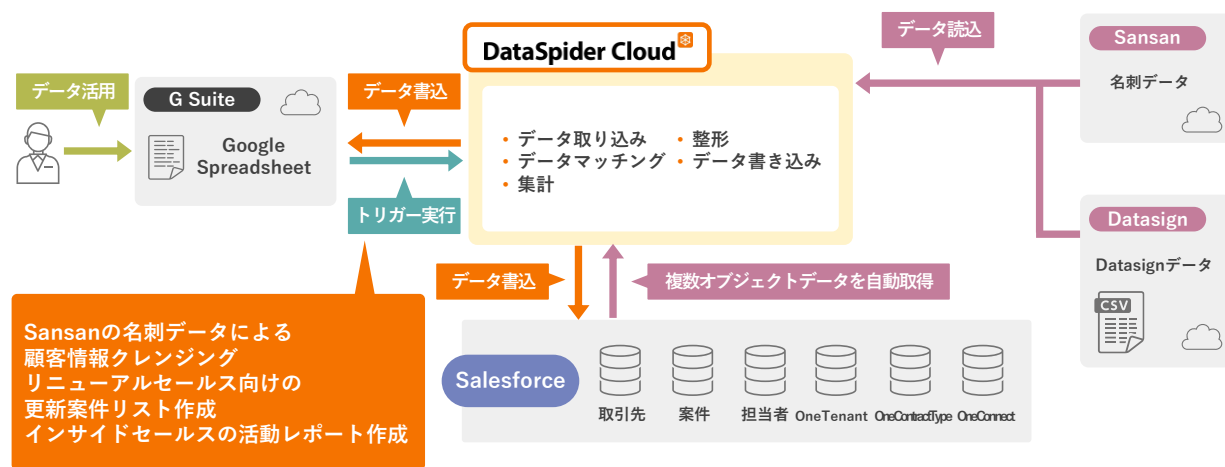
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



導入製品・サービス

DataSpider

kintoneやECパッケージ、販売管理などの多種多様なデータ連携を実現 リアルタイム連携による販売機会損失削減を完全内製で実現

お客様の問題

- ① 従来の販売管理はデータ連携を人的作業、スクラッチ開発で行っていたため改修が困難であった
- ② プログラムスキルのあるメンバーが慢性的に不足

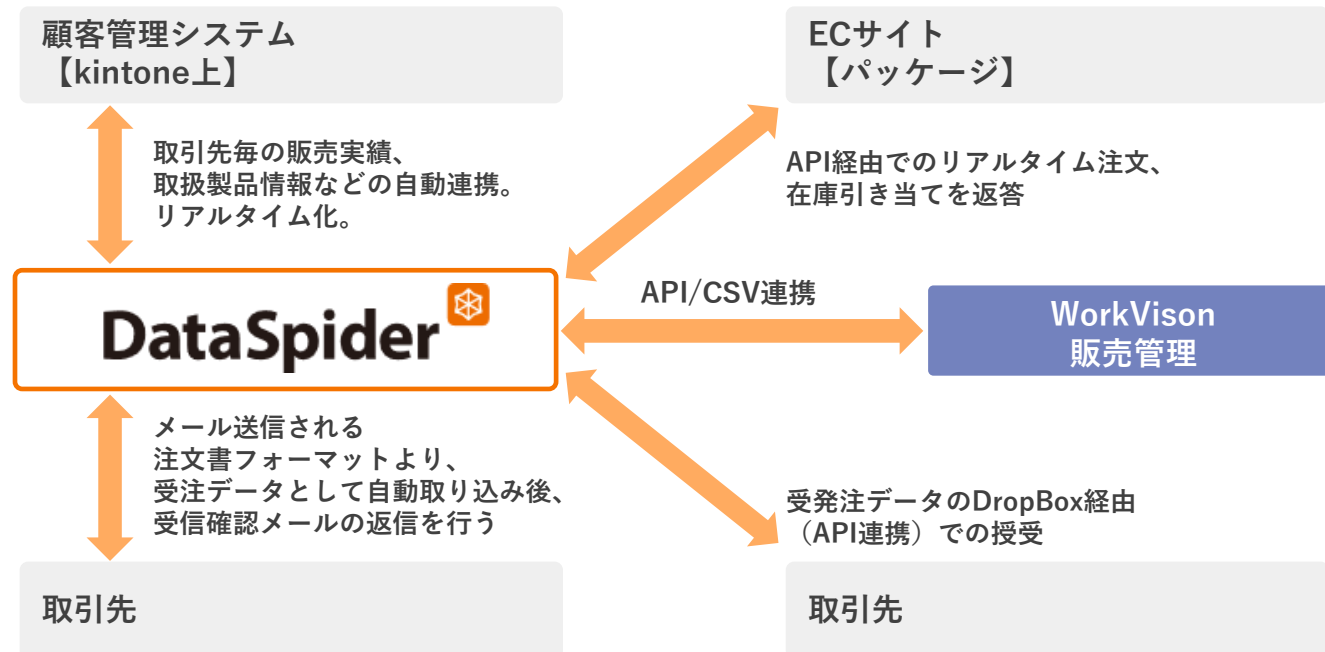
導入効果

- ① DataSpiderを学習する事でメンバー育成が容易になり、内製化の促進を図りビジネス変化に柔軟に対処可能
- ② 今後のBI導入、クラウド利用拡張計画にも柔軟な対応が可能
- ③ 複数のECサイトへの連携も柔軟に対応が可能



POINT

- ① 販売管理パッケージで業務の標準化を実現
- ② kintoneと販売管理データの連携自動化
- ③ 従来の取引先や他システム連携をノンプログラム化
特に取引先側へのシステム変更負荷無しで自動化を実現



導入製品・サービス

HULFT[®] DataSpider[®]

HULFT-HUB[®]

複数のプロトコルを一元管理可能なデータHUBを整備 標準化されたI/F管理・運用で開発スピード・運用品質の向上を達成

お客様の問題

- ① 企業統合などで複数のデータ連携プロトコルを扱う必要がある
- ② I/F開発時アプリケーション担当者間で都度調整が頻発に発生

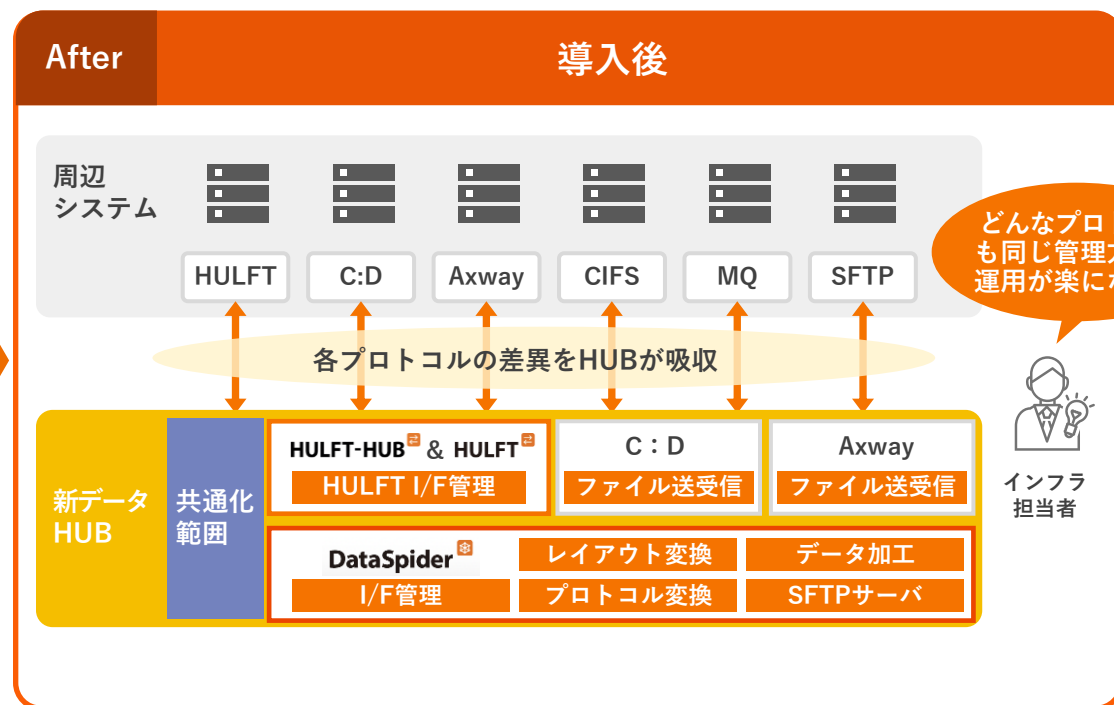
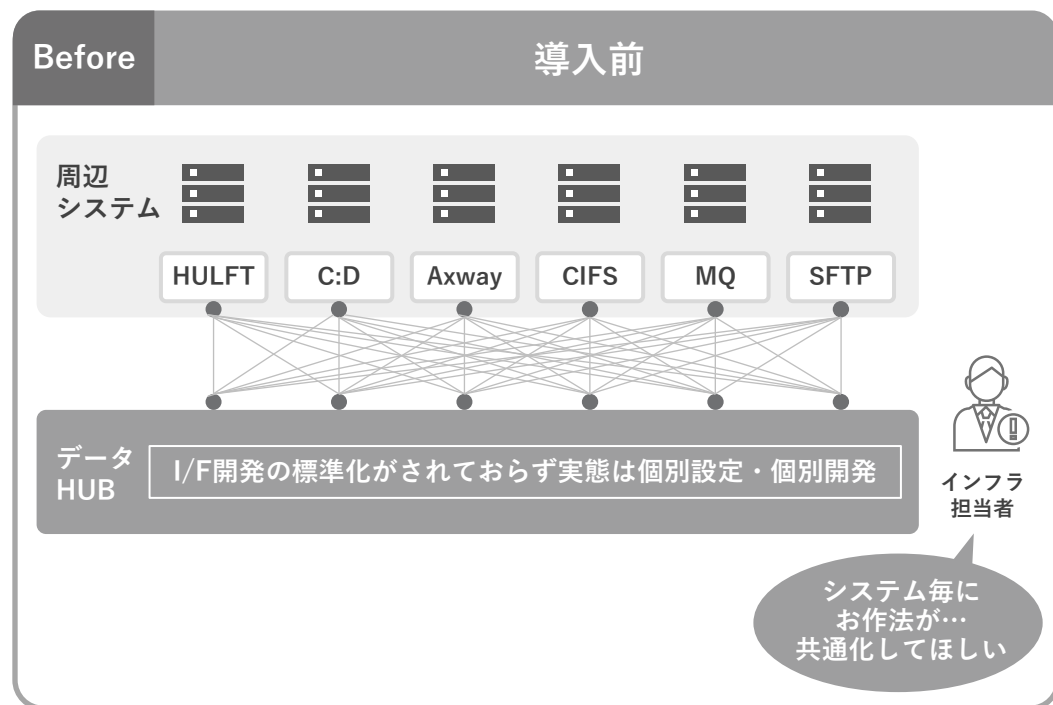
導入効果

- ① ブラックボックス化を防ぎ、透明性の高い開発・運用の実現
- ② 「作る」から「選ぶ」都度、調整・開発から脱却
→ I/F1本あたり60%の工数削減を実現



POINT

- ① 複数のプロトコルを一元的に管理できる新HUB基盤
- ② I/F毎にパターン化しテンプレートによる標準化



頻発するWindowsパスワードロック解除を自動化

ITデスク担当者の負荷低減とユーザの満足度向上、セキュリティ強化を実現

お客様の問題

- ① 紙申請や手作業の運用で、担当者の業務負荷が増大
- ② 運用担当者不在の場合に処理が滞留
- ③ リアルタイムな対応でなく業務に影響

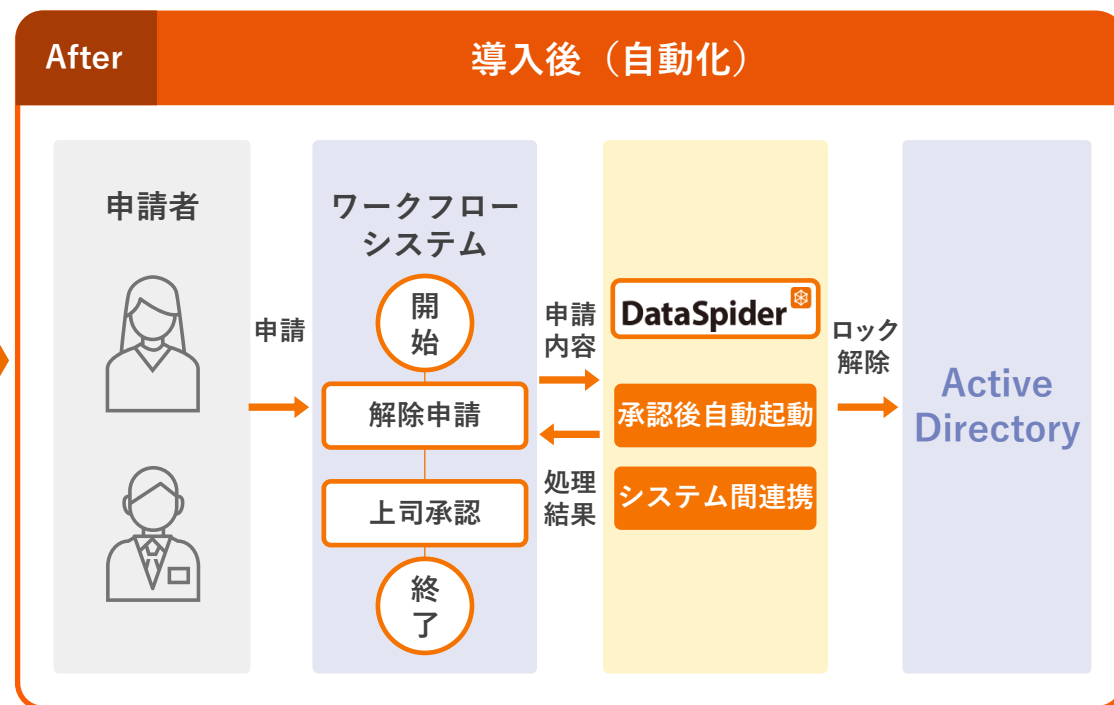
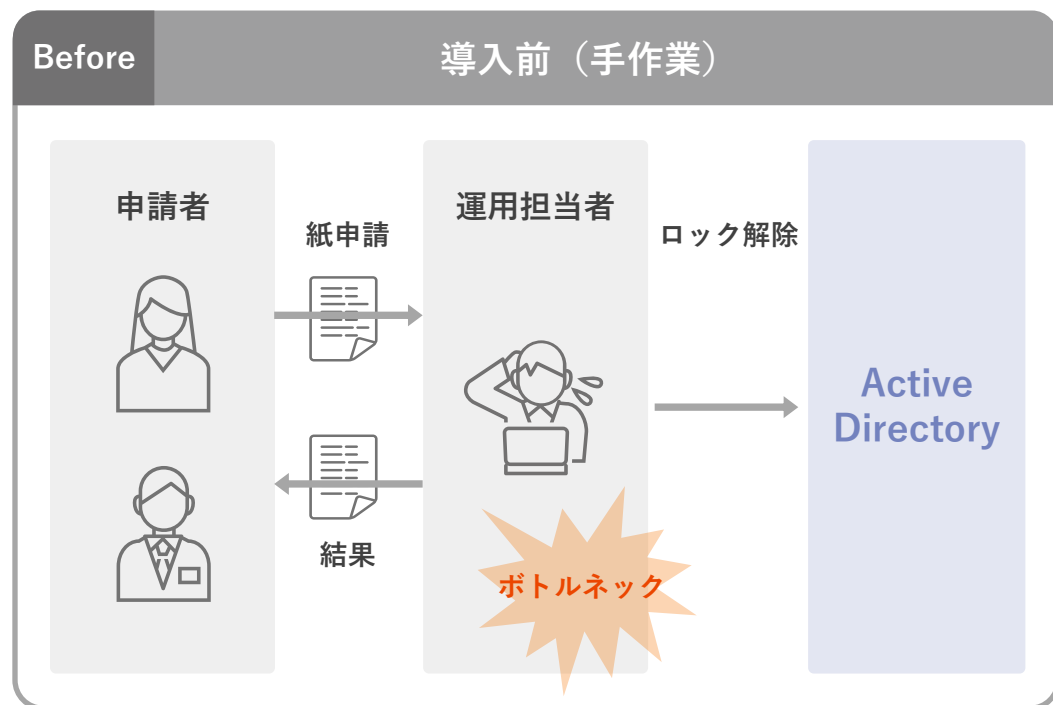
導入効果

- ① 運用担当者の業務負荷がゼロに
- ② 定時後にパスワードロックした場合、担当者が不在でも上司承認で解除可能に



POINT

- ① ワークフローを導入し、紙申請からの脱却
- ② ワークフローで上長承認後、自動的にActive Directory連携されるようDataSpiderで実装。
- ③ 担当者を介さずにユーザ登録・更新・削除が可能に



人事異動の際に発生する職員マスタ反映業務を自動化

AD非対応システムも含め、手作業のミスを排除しながら業務効率化を実現

お客様の問題

- ① パートタイムも含め頻繁に職員異動が発生
- ② 各システムのフォーマットに合わせ、職員マスタを手作業で作成し反映する必要有り
- ③ 繁忙期には約50時間程度の作業量が発生

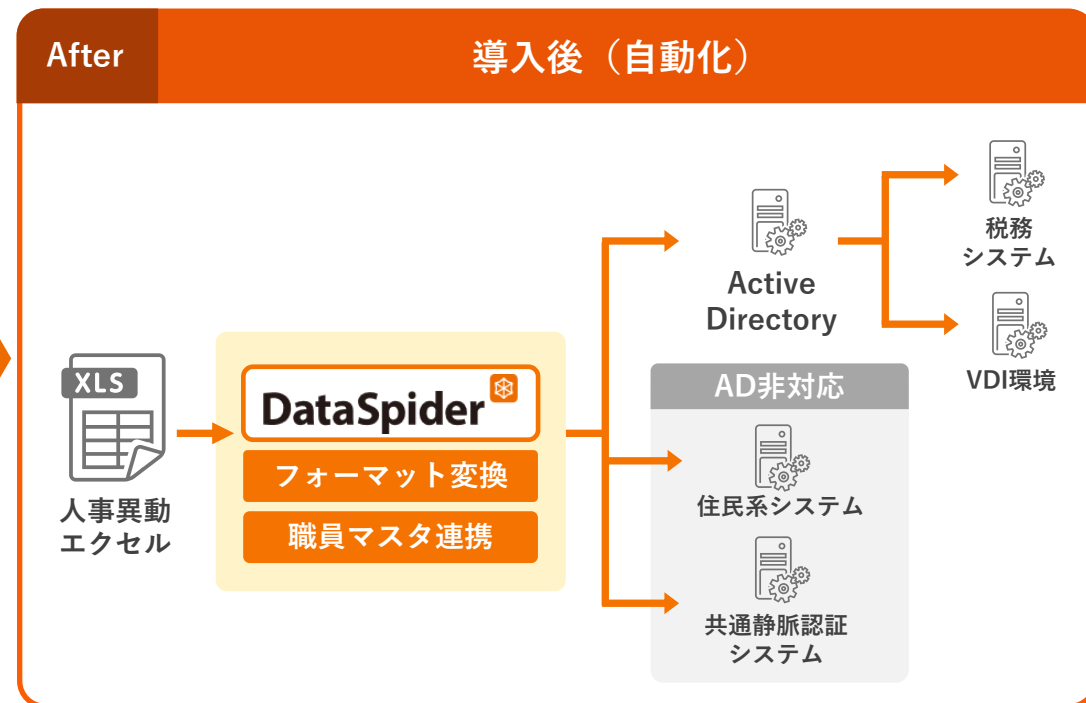
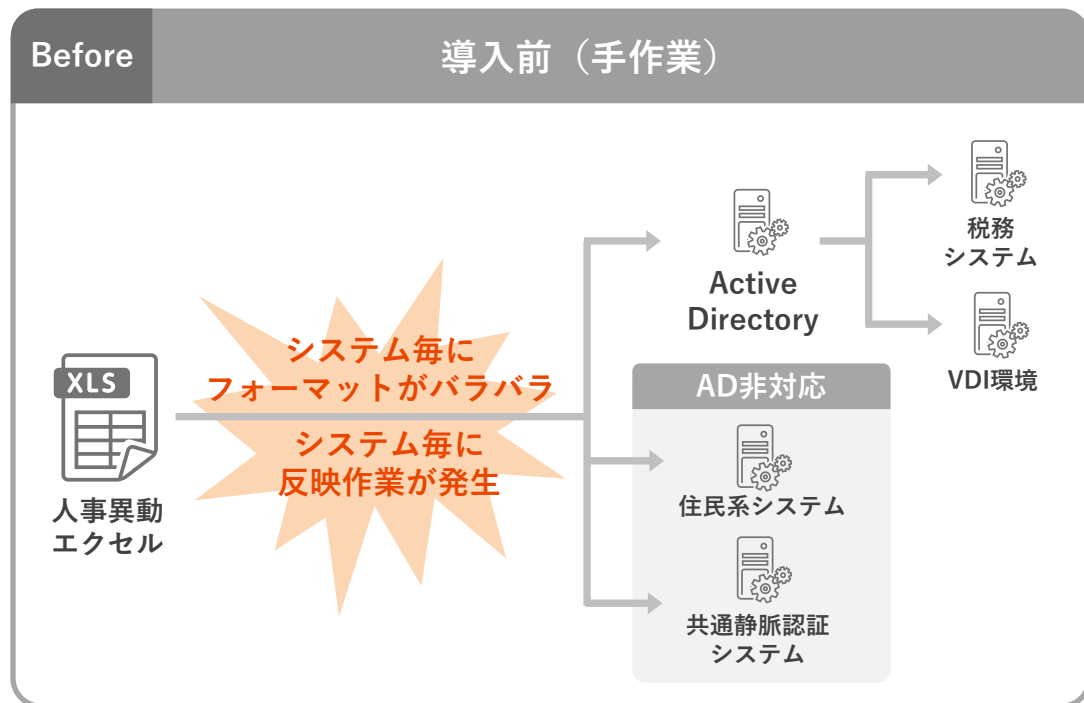
導入効果

- ① 完全自動化を実現し
50時間(繁忙期)→0時間に
- ② 手作業による権限付与ミスを抑止
→情報漏えいリスクを低減



POINT

- ① 人事課から回送されるエクセルフォーマットをそのままインプットデータとして活用
- ② 現場の業務フローは変えずに、システム反映処理を自動化



営業実績報告の集計分析を自動化

案件状況と実績のタイムリーな把握でデータドリブンな経営判断を支援

お客様の問題

- ① 報告書の作成において、データの抽出から集計までを手作業で7日間もかかっている
- ② 表形式での資料では、見る側のデータの理解度が低い

導入効果

- ① データ抽出から、BI化するまでのデータ整備までをDataSpiderを使い2営業日に短縮
- ② BIを使ってグラフ化しデータの理解度が向上。更に、新たな評価軸での分析依頼に対しても即座に対応が可能

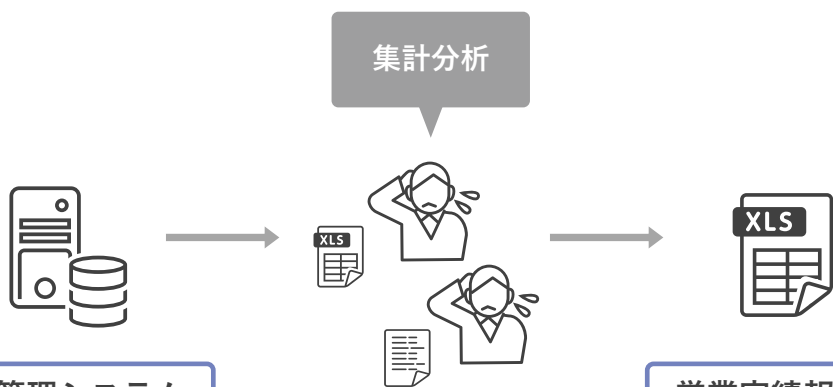


POINT

- ① 報告書作成までの一連の自動化を基幹系システムに手を加えずに3ヶ月で実現
- ② 評価軸や集計項目そして組織などの変化に対しても、簡単に対応ができる

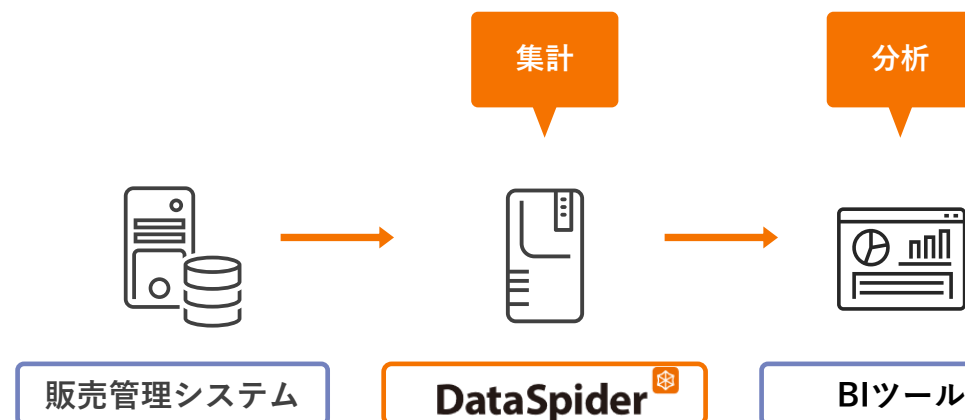
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



導入製品・サービス

HULFT[®]
HULFT-HUB[®]

不安定な通信方式(FTP)が引き起こす機会損失を最小化 世界32カ国、約1000店舗へ一斉マスタ配信。安定した店舗運営を支える

お客様の問題

- ① ファイル交換の仕組みが統一されていない
- ② 回線メンテナンスが頻繁に行われるため、転送スケジュールの調整など運用負荷が高い

導入効果

- ① 日本側で国外も含めネットワークの一元管理が可能となった
- ② 運用負荷の軽減が図れた

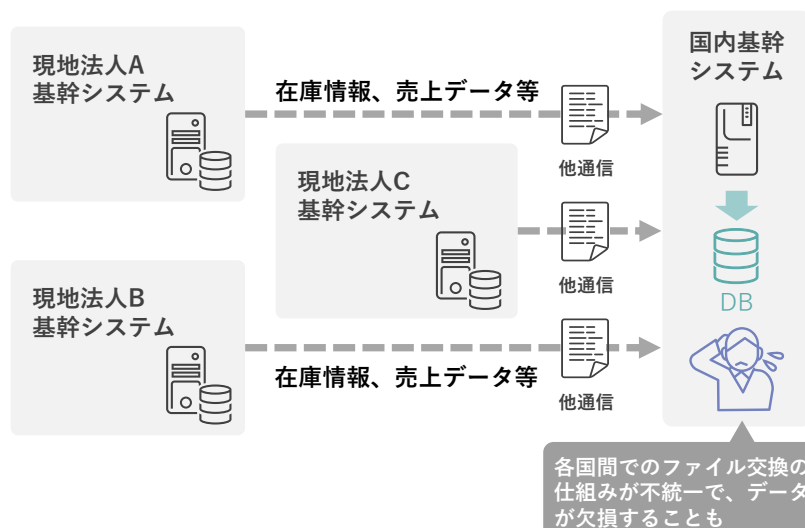


POINT

- ① 国外の回線メンテナンスによる転送スケジュールの変動を、HULFT-HUBが吸収可能

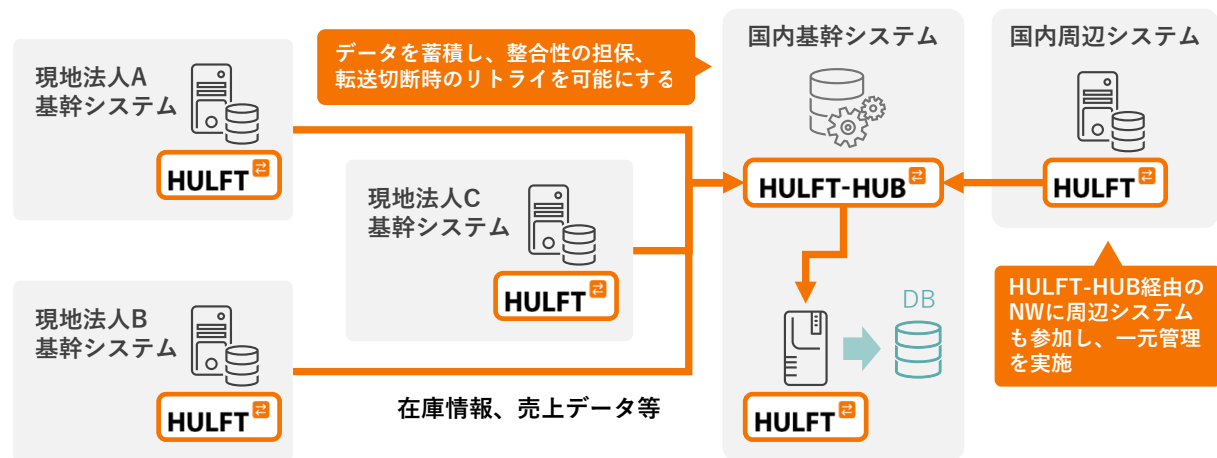
Before

導入前（手作業・電話・FAX）



After

導入後（自動化）



導入製品・サービス

HULFT[®]

HULFT-HUB[®]

ファイル転送に用いていたMQをHULFTへ刷新

全体一括管理によるガバナンス強化と大幅な保守費用の削減に成功

お客様の問題

- ① ファイル転送後の後続処理で発生したエラーをシステム的に検知できない
- ② 大容量ファイルは分割する必要がある

導入効果

- ① エラー監視を自動化し、人的工数を削減
- ② ファイル転送に容量制限がなく、分割送信の手間が不要

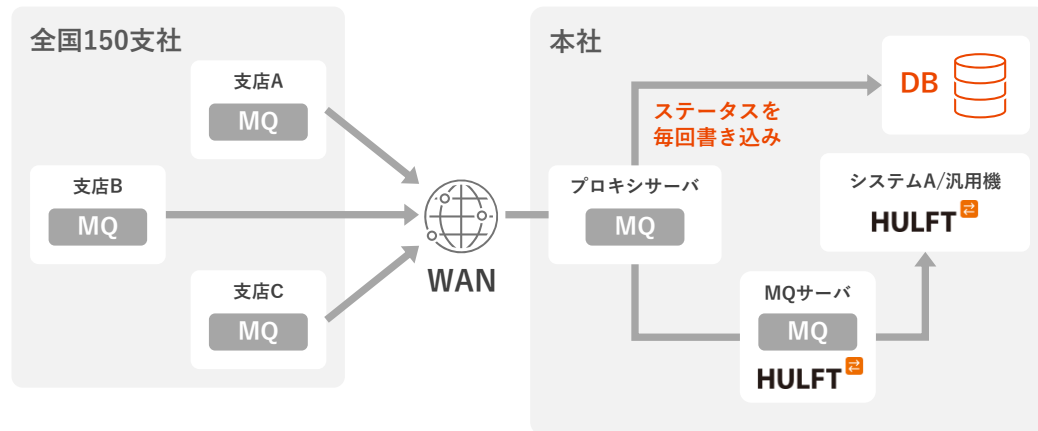


POINT

- ① 送達確認や後続処理のエラーを自動検知可能
- ② 新たにファイル転送基盤に支社を追加する場合もHULFTなら容易に追加可能

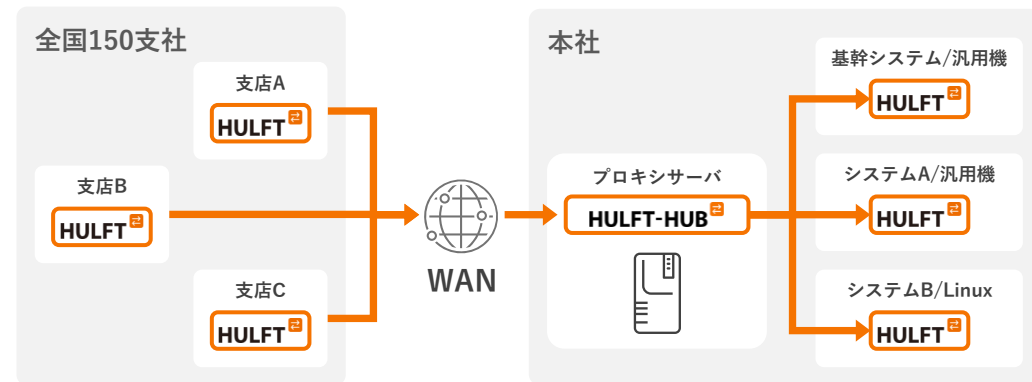
Before

導入前



After

導入後



金融商品毎の債権管理フォーマットを一元化 個別開発から共通開発により、開発・運用工数の60%減を達成

お客様の問題

- ① 取引先ごとにサブシステムを構築している
- ② 定期的にスキームは増加するので、サブシステムもその都度構築が必要

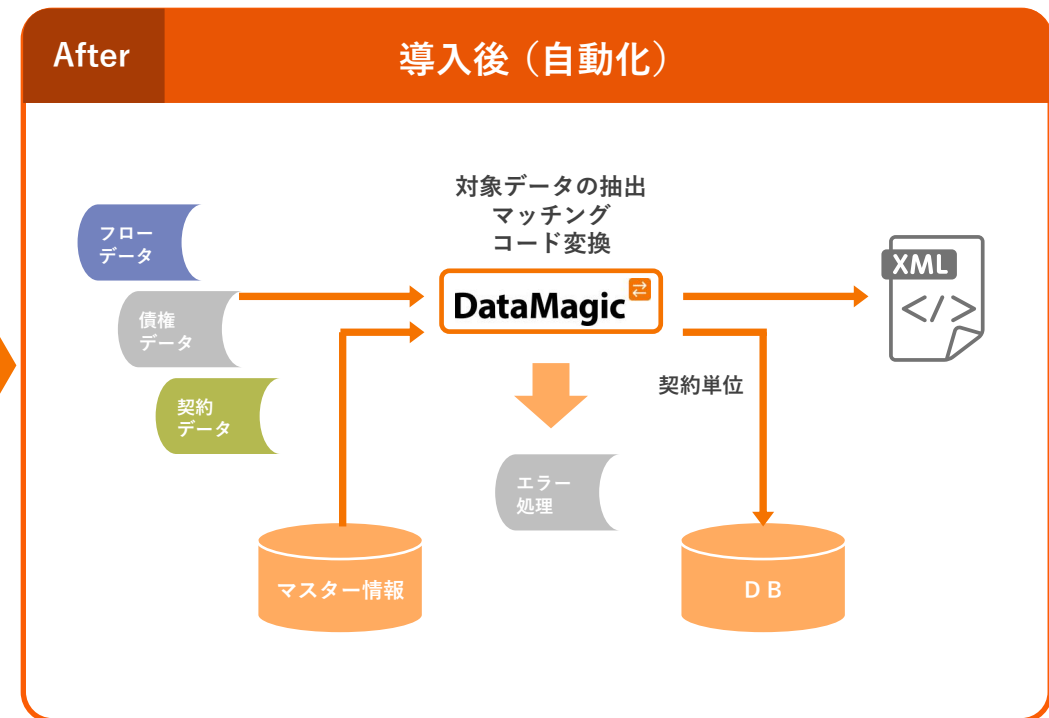
導入効果

- ① 取引ごとの個社対応から脱却
- ② パッケージを使用することにより運用工数を削減



POINT

- ① 共通基盤化することにより処理の統一化を実施
- ② 開発工数・運用工数の削減が可能



導入製品・サービス
HULFT-WebConnect[®]
DataSpider[®]

プリント基板の製造委託先の検査ログをグローバルで連携 ログデータ抽出・連携・加工の自動化を行い、不良品率の低減を実現

お客様の問題

- ① 1日1回のログのメール送信はセキュリティ面の不安とバッチ運用によるタイムロスが発生
- ② 委託先(外注)拠点、海外拠点では社内ネットワークが利用できず運用・管理コストが発生

導入効果

- ① 海外20拠点（ASEAN・米国等）からのログデータをHULFT-WebConnectで安定収集
- ② 本社側でのDataSpider利用により、データクレンジングも自動化
- ③ 正確でタイムリーな検査ログ収集・分析
→ 不良品率低減



POINT

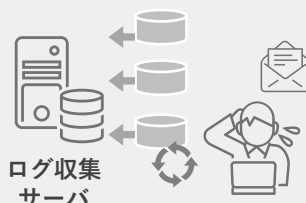
- ① 低コスト・高セキュリティ運用を実現（経路暗号、ファイル暗号による2重の暗号化対応）
- ② 定期的な(10～30分毎)データ収集と活用
- ③ インターネット運用による容易な展開を実現

Before

導入前（手作業）

運用イメージ：人＋メールによるオペレーション

A社様（日本）



- ③ メール受領
- ④ 手作業によるデータクレンジング
- ⑤ ログ収集サーバの格納

委託先（協力工場）様
ログ収集



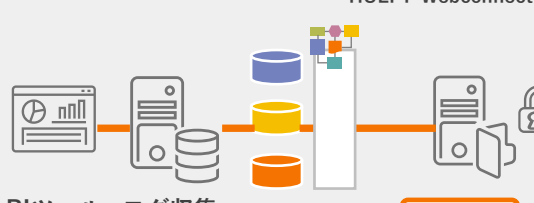
- ① 手作業によるログ収集
 - ② メール送信（1日/回）
- … 20拠点と連携

After

導入後（自動化）

運用イメージ：HULFT-Webconnect + DataSpider による自動運用

A社様（日本）



DataSpiderによる
ログデータの
クレンジング

② データクレンジング
・ DataSpider Servista

HULFT-Webconnect
による容易な展開

インターネット連携により、
海外拠点との容易なデータ連携を実現！

委託先（協力工場）様 ログ収集



- ① スケジュールによる定期的なアップロード

… 20拠点と連携

導入製品・サービス

DataSpider
HULFT

電子帳簿保管法対策(ワークフローシステム&電子契約システム連携) 手作業での突き合わせ作業を自動化し年間約70%の管理工数削減に成功

当社の問題

- ① ワークフローと電子契約システムの関連がない
- ② 手作業の業務に手作業の運用
- ③ 業務工数がかさみ、残業が増えている

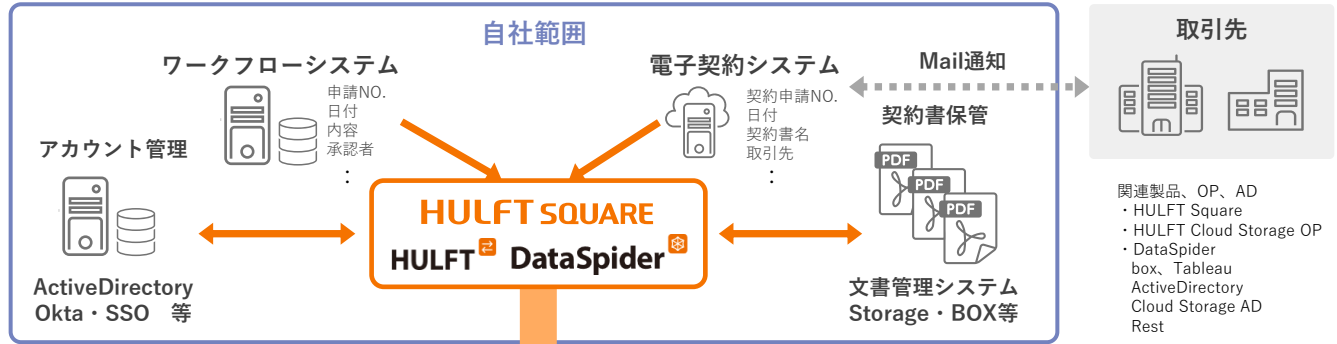
導入効果

- ① ワークフローと契約システム自動連携を実現し属人化した作業を排除
- ② 100件あたり33時間の業務時間を削減



POINT

- ① 変化の多い1:n外接で、連結方法は疎結合
- ② 既存システムや移行時の影響を最小限に責任分界点を明確にできる。



管理帳票作成 (Excel・CSV・BI 等)

項番	日付	契約NO.	申請NO.	保存先	...
1	2022/2/1	S1013114	WF20211228	¥Box¥#03法務室¥#03.契約書保管¥S1013114	...
2	2022/2/2	S1013115	WF20211229	¥Box¥#03法務室¥#03.契約書保管¥S1013115	...
3	2022/2/3	S1013116	WF20220112	¥Box¥#03法務室¥#03.契約書保管¥S1013116	...
4	2022/2/4	S1013117	WF20220112	¥Box¥#03法務室¥#03.契約書保管¥S1013117	...
5	2022/2/5	S1013118	WF20220115	¥Box¥#03法務室¥#03.契約書保管¥S1013118	...
...	...	...	...	...	...

Before	手作業
作業内容 (月100件の場合)	作業時間
契約情報の突合	10
データ格納先情報の付与	5
権限付与	5
最終：内容確認作業	10
3,000分 (約50時間)	

After	自動化
作業内容 (月100件の場合)	作業時間
契約情報の突合	10
データ格納先情報の付与	5
権限付与	5
最終：内容確認作業	10
1,000分 (約17時間)	

生産データを集約し、BIツールを導入することで、工程管理を見える化 瞬時に生産予測、遅延の検知が可能となり安定した生産性を実現

お客様の問題

- ① ラインデータは蓄積されたまま未使用
- ② 生産ライン(人)により、工程速度にバラツキ
- ③ 匠の経験と実績、カンによる指示

導入効果

- ① 生産工程の「ムラ」の削減
- ② カン(属人化)から脱却し、データに基づく正確な指示と「ムダ」な工数削減
- ③ いつでも、誰でも生産工程が「見える」

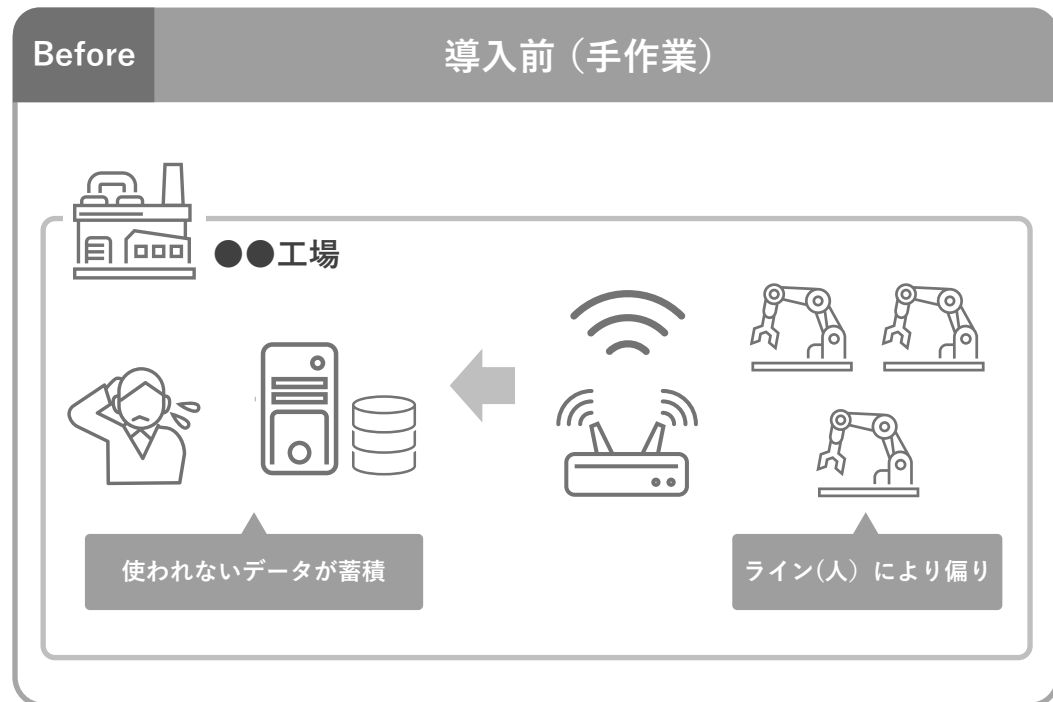


POINT

- ① HULFTにて集約したデータ(情報)を瞬時に転送。ネットワーク障害時も再配信し、確実にデータを配信
- ② DataSpiderにて見たいデータに加工。BIツールと連携し、誰でも分かる情報に可視化。

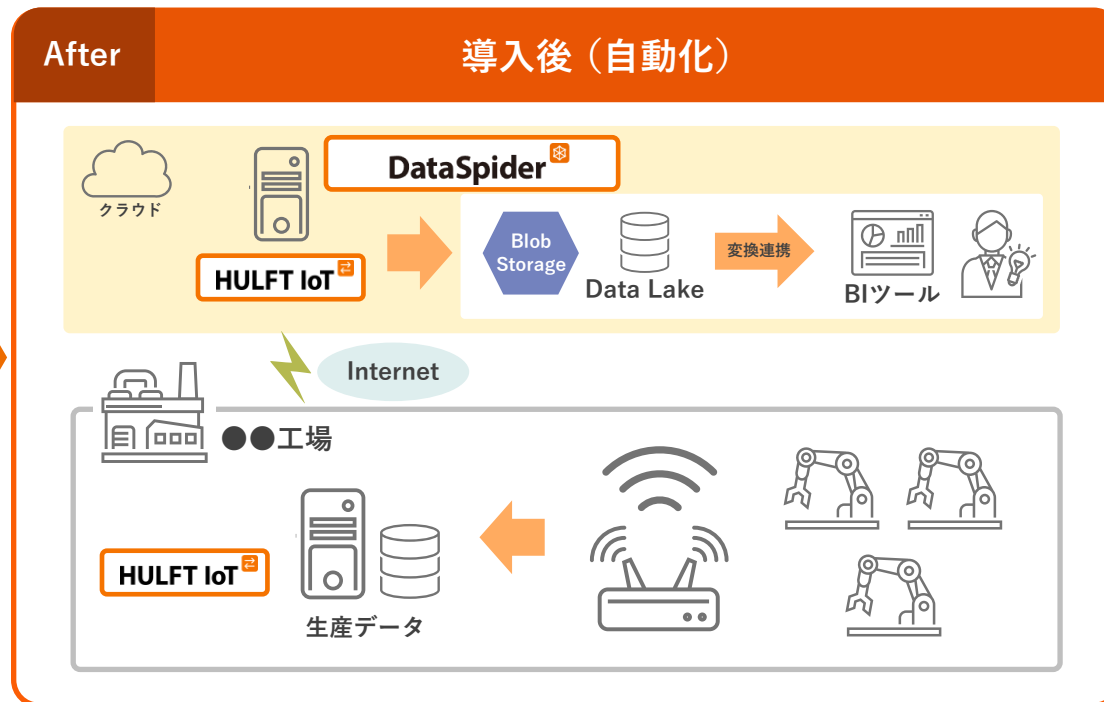
Before

導入前(手作業)



After

導入後(自動化)



ベンダー依存のスクラッチ開発から脱却

内製化による高速開発(3ヶ月→1ヶ月)とコスト最適化(70%削減)を実現

お客様の問題

- ① 通信先都合による急な開発への対応
(ベンダーとのスケジュール調整に時間がかかる)
- ② 開発コストを抑制したい
(現状：1案件あたり、数十万円～数百万円ほど)
- ③ ベンダー依存による、
システムのブラックボックス化解消
(システムの全体像を可視化しベンダーロックを防ぐ)

期待される効果

- ① 開発コストが70%削減
- ② 開発スケジュールが3ヶ月→1ヶ月
- ③ ロジックの可視化により属人的処理を改善

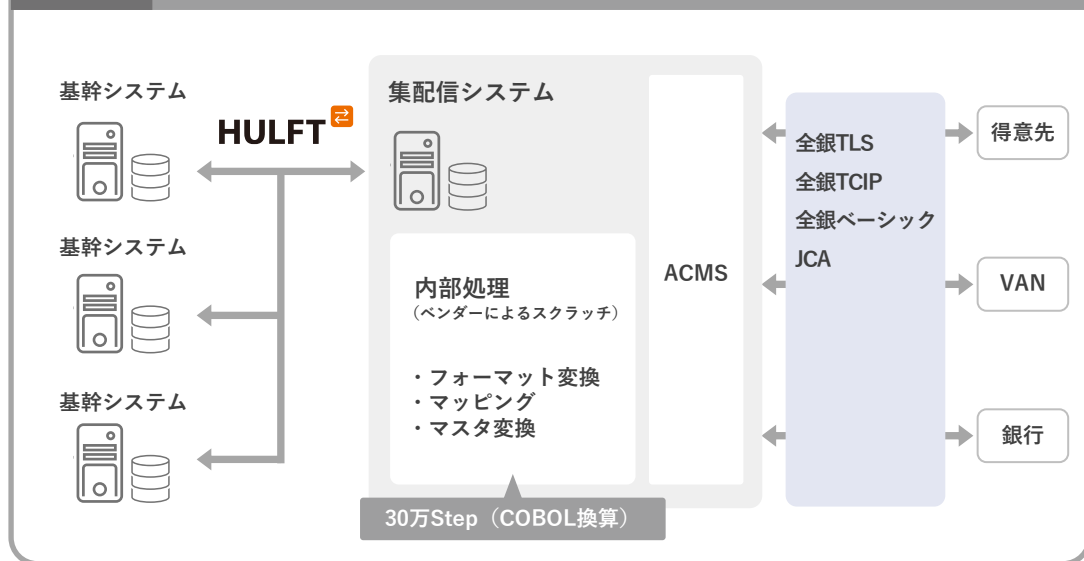


POINT

- ① DataSpiderによる開発生産性の高さ
(スクラッチ開発に比べ、開発スケジュール/
コストの大幅削減が可能。自社開発であれば、
更に削減が可能)
- ② DataSpiderの汎用性
(コード不要ロジック可視化で属人化を防止)

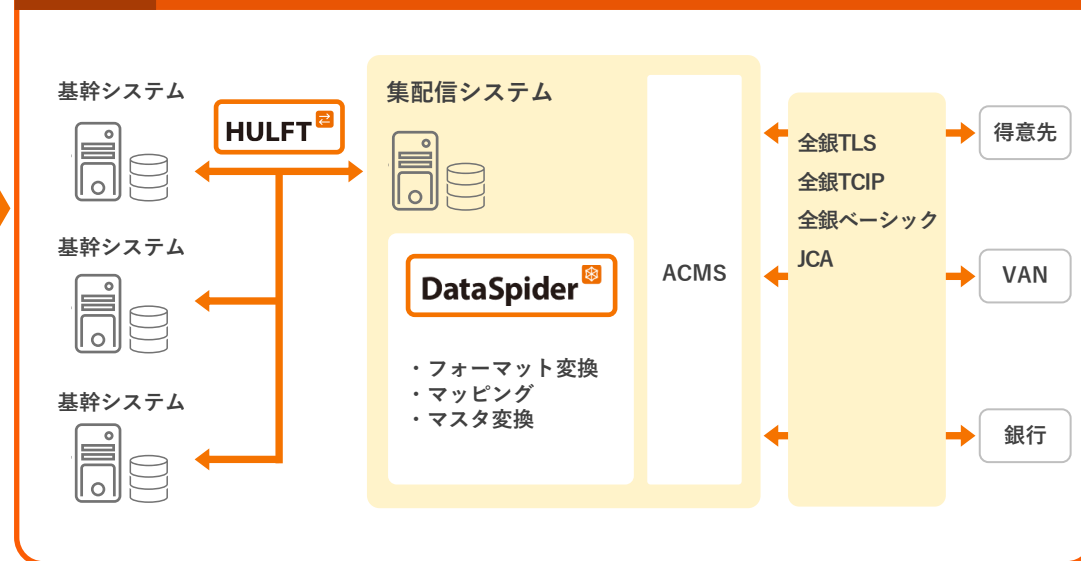
Before

導入前（手作業）



After

導入後（自動化）



SAPデータ連携ツールの全社統一化

ツールの統一によりデータ連携の可視化と管理工数の低減を実現

お客様の問題

- ① 各事業部SAPのデータ連携手法の統一化をしたい
- ② SAP管理とVUP時の移行工数を削減したい

導入効果

- ① SAPデータ連携の管理移行工数を低減
- ② データ連携の手順を統一化による可視化
- ③ システムのブラックボックス化を防ぐ

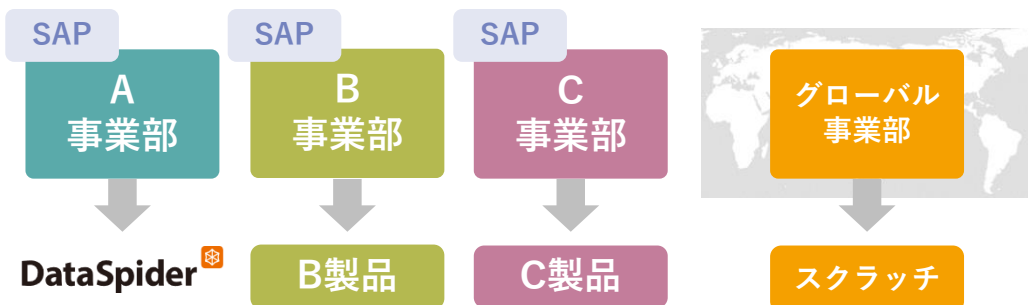


POINT

- ① SAPのデータ連携手法を統一
- ② SAPデータ連携手法を統一することによりVUP等のイベント時の移行工数を大幅に低減

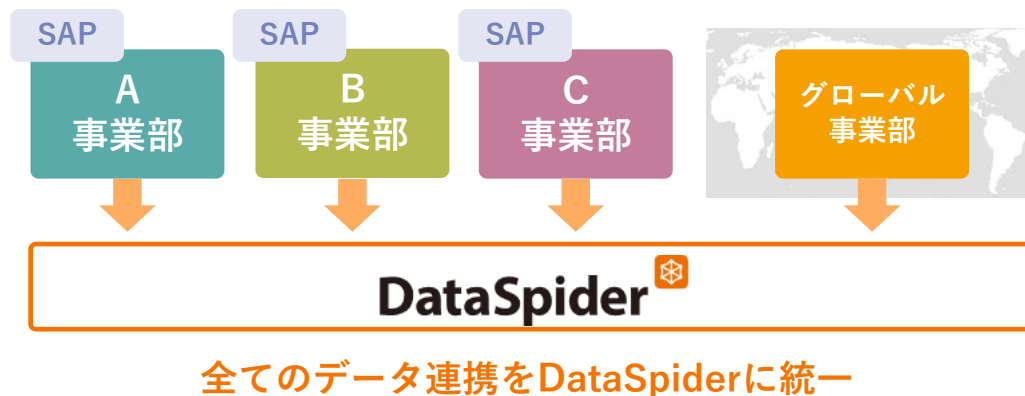
Before

導入前（SAPデータ連携ツールがバラバラ）



After

導入後（ツールを全社統一化）



システム構築のベンダー依存に終止符

ベンダー依存からの脱却によるシステムの見える化と属人化の回避

お客様の問題

- ① ダウンサイジングをして来たが、既存資産を有効活用するためCOBOL資産を使い続ける
- ② 銀行内において、レガシー言語で構築されたシステムを理解する技術者がいなくなる
- ③ マイグレーションに対応できるベンダーが限定されてしまう

導入効果

- ① 処理の中身の見える化で属人化を回避
- ② 見積もり妥当性の見える化でコストを抑制
- ③ ブラックボックスを透明化しベンダー依存に終止符



POINT

- ① 高度な言語知識がなくてもシステムが解る
- ② システム変更や機能追加が容易にできる
- ③ (将来の) クラウド移行がスムーズにできる

Before

導入前（ベンダー依存度が上昇し見積の評価ができない）

- 過去2回のダウンサイジングもCOBOLから脱却できず、特定ベンダーへの依存度が上昇

MainFrame(COBOL)

①

UNIX(COBOL)

②

Linux(COBOL)

低

メインフレームの利用
システム構成、システム環境を掌握

中

オープン化・システムインフラの変化
サーバの乱立、様々なAPを利用

高

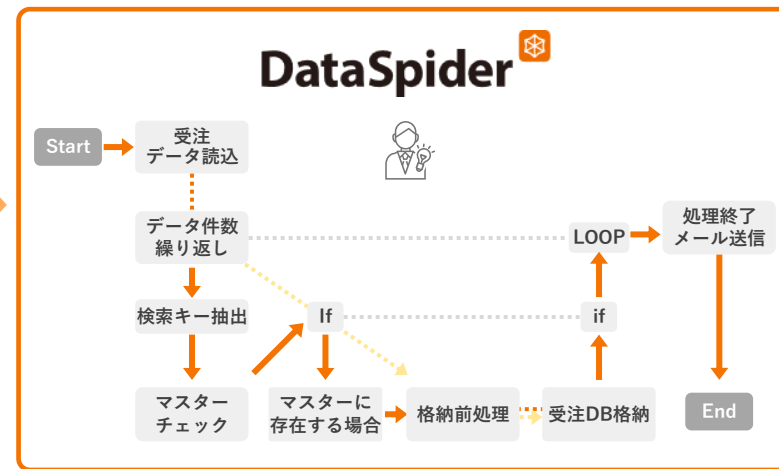
地銀共同センター・アウトソーシング
ブラックボックス化、ベンダーロックイン



After

導入後（システムの透明化でベンダーロックインを回避）

- ブラックボックスの透明化で自社システムを理解し、高い生産性でコストダウンを実現



※処理の流れはイメージで、実際の業務とは違います

行内に散在するお客様データを営業支援ツール（Salesforce）に自動連携 お客様情報の一元化・活用によるお客様満足度向上へ寄与

お客様の問題

- ① CRMデータを有効活用したい
- ② 営業活動の効率化を図りたい
- ③ お客様との接点を拡大したい

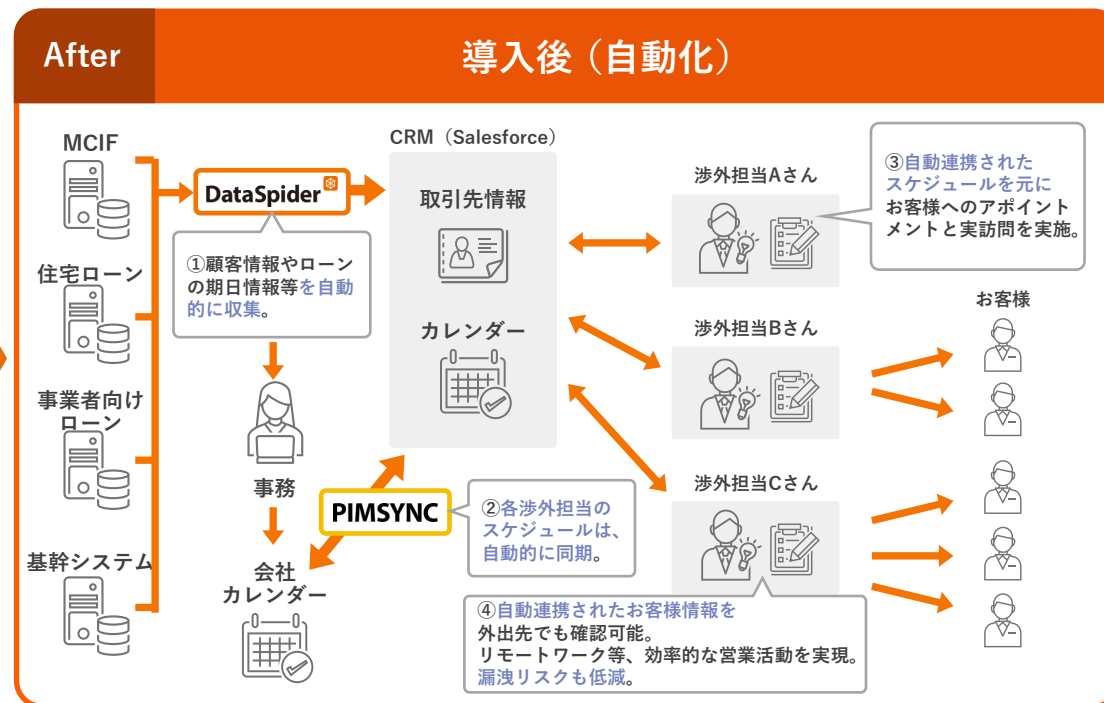
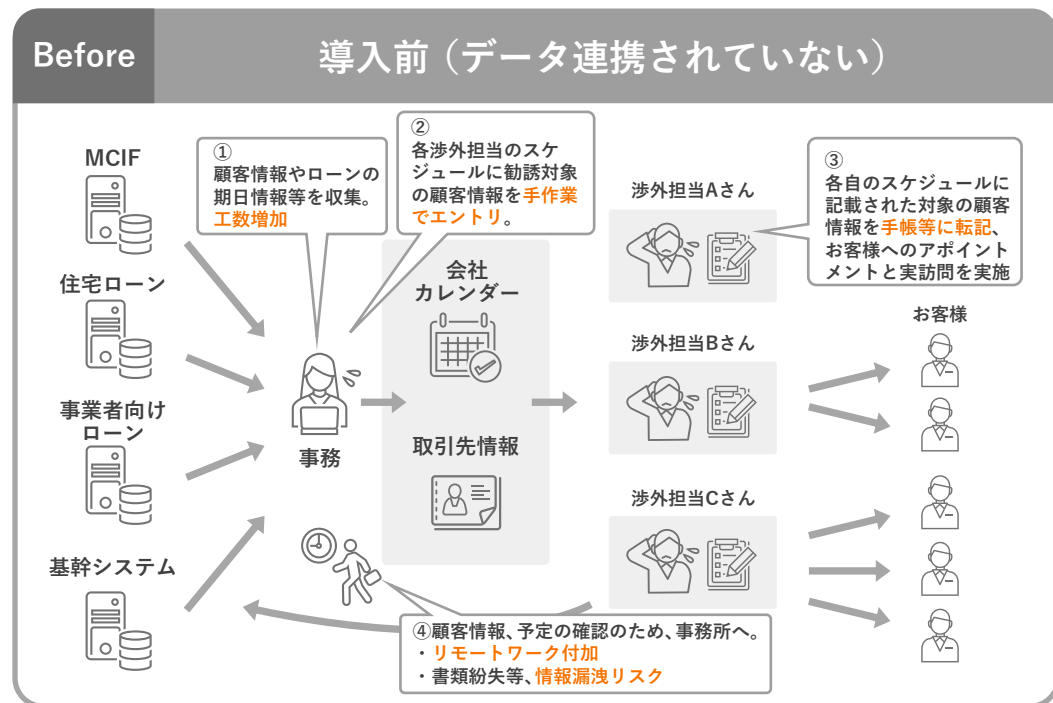
期待される効果

- ① データ活用の為のリードタイムの短縮を実現
- ② データ集約の為の作業時間も削減
- ③ 外出先でも情報参照でき営業活動の効率化



POINT

- ① お客様面談時期をシステムで自動ピックアップ
- ② 各システムのデータをCRMに集約することでデータの利活用を実現



複数システム環境を、「使いやすい」に変えて、受注業務を自動化 受注業務の自動化により、年間600時間の工数削減と品質向上

お客様の問題

- ① リソースの不足（人材の有効活用をしたい）
- ② 受注業務が非効率で属人化している
- ③ 高品質なお客様対応のための体制作りに手が回らない

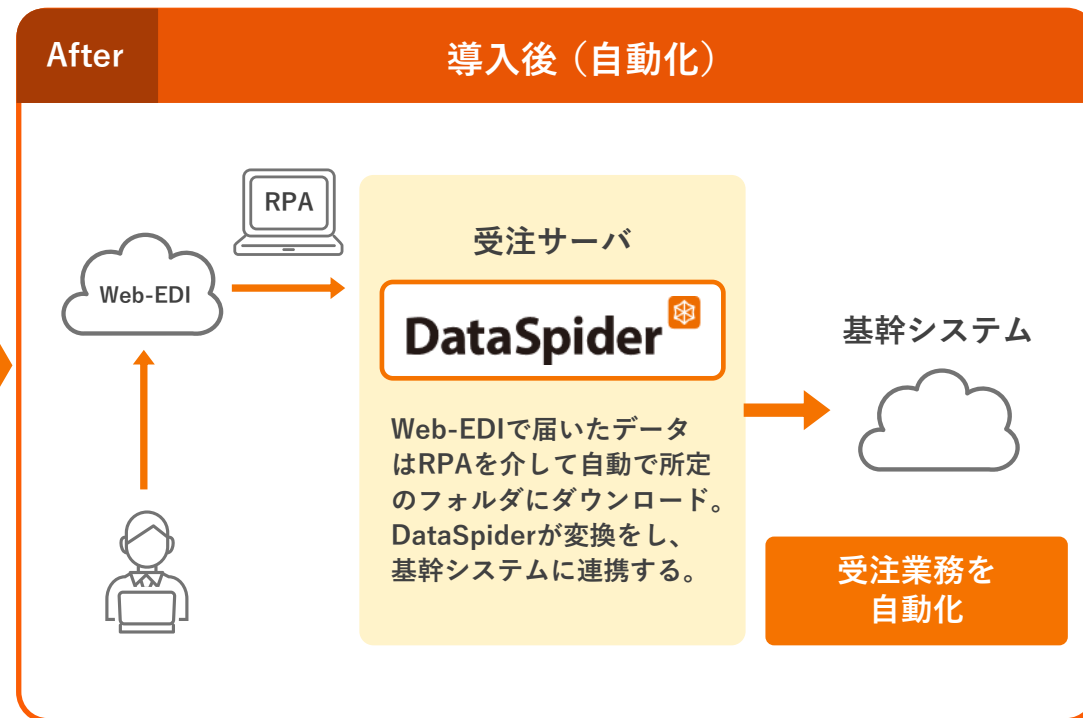
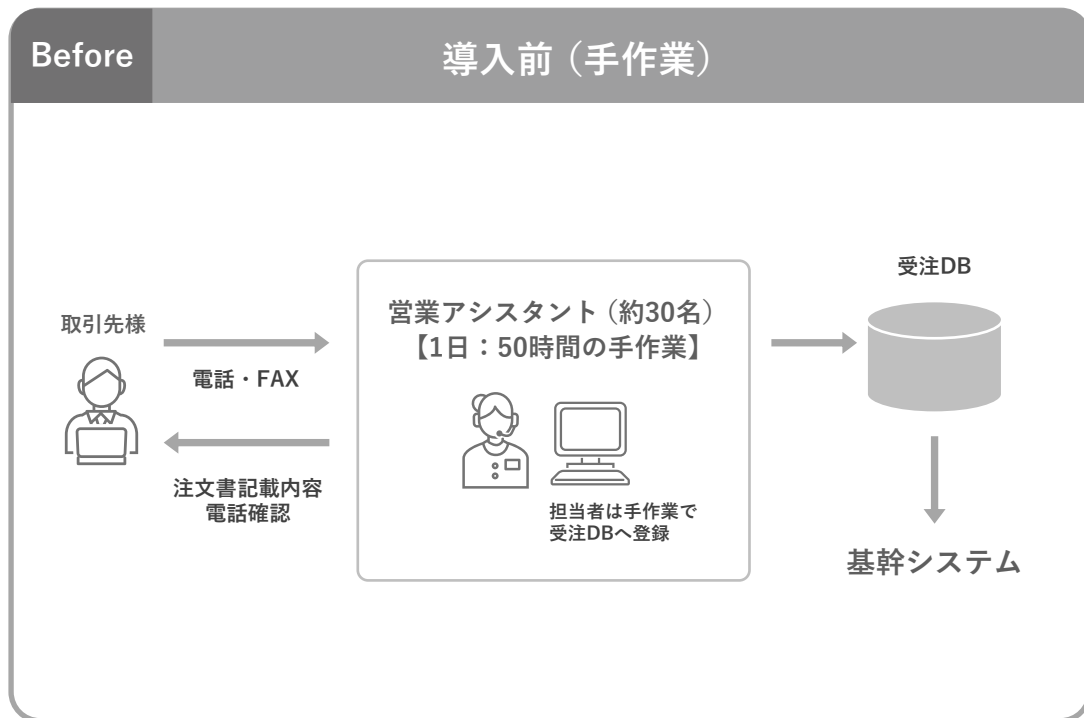
導入効果

- ① 年間600時間の工数削減見込み、人材不足解消
- ② ヒューマンエラーの削減
- ③ 手厚いお客様対応による信頼の獲得



POINT

- ① 注文書の入力や管理を自動化
- ② お客様にすばやく正確な対応ができる体制整備
- ③ 短期間（3カ月）でデータ連携基盤構築



導入製品・サービス

HULFT[®]

DataSpider[®]

全社の工場稼働状況、生産実績を見える化

生産に与える影響を即座に察知し安定した生産体制の維持改善に貢献

お客様の問題

- ① 設備に関わる状況が本社側から見えない
- ② 可視化されていない為、問題対処が遅れる
- ③ 事前兆候把握が職人の勘に頼っていた

導入効果

- ① 工場設備の問題点を可視化
- ② ベテランの勘に頼っていた問題点を把握
- ③ 問題発生時には即時に対応



POINT

- ① 全社の設備に関わるデータを一元管理
- ② 各工場の問題点を即時把握
- ③ ベテランの勘に頼っていた問題把握、事前兆候をシステムにより把握

Before

導入前（データ連携されていない）



工場

ベテランじゃないと
トラブルの兆候
つかめない



本社

稼働率低下
生産実績予定未達…
何が原因か？
分からない

工場のデータが連携されていない
現場で何が起こっているか分からない

After

導入後（自動化）

A工場

①ラインの情報を
各サーバへ集積



②集積された情報を
ダッシュボード表示

本社
工場データ
集約サーバ

④DBへ格納

全社統括ダッシュボード



担当役員が把握



DataSpider[®]

HULFT[®]

③HULFTによる
ファイル転送

医療機関における帳票作成、法人レポート作成支援

レポート作成と可視化を自動化し年間数百時間の手作業を削減

お客様の問題

- ① 複数のCSVから必要なデータを自動で1つのExcelにまとめる工数が増大
- ② 帳票作成が属人化している

期待される効果

- ① 帳票作成が自動化され、作成に費やした時間が別の作業に充てられる(10H/月)
- ② 帳票作成をするためのデータを連携することにより属人化の解消、院内での帳票作成標準化

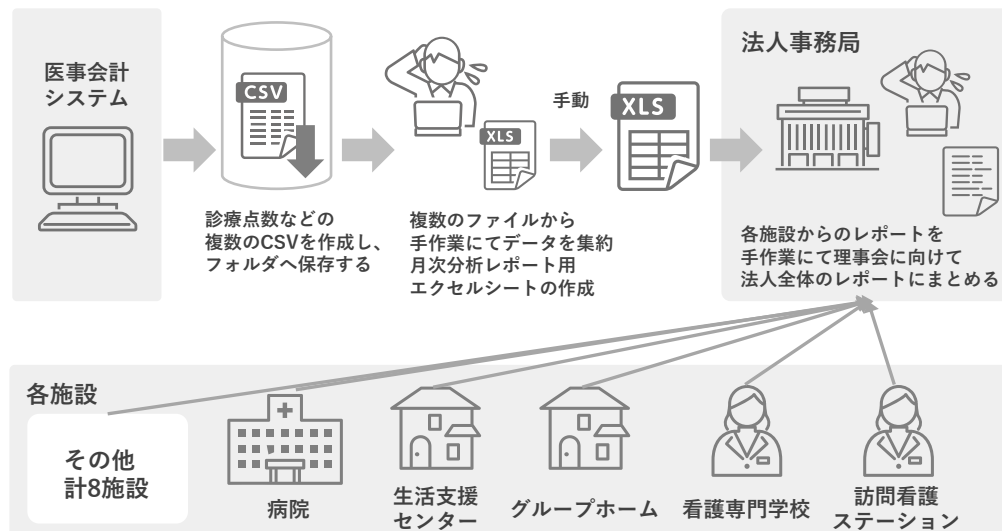


POINT

- ① ITリテラシーが高くないので新たなシステムを導入するには抵抗がある
- ② 予算の申請などもあり、スモールスタートとして分割したステップに分けての提案

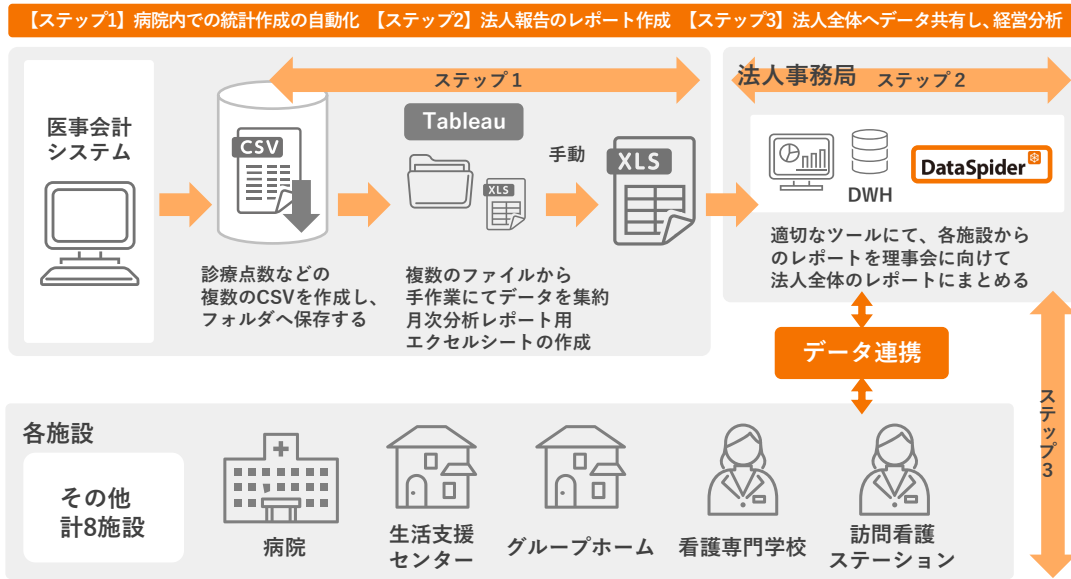
Before

導入前（手作業）



After

導入後



基幹システムとBtoBプラットフォーム「請求書」とのシームレスな連携 請求書のペーパーレスの実現による大幅な請求業務工数削減

お客様の問題

- ① 得意先への請求書処理が煩雑
- ② 仕入先からの請求書受取処理がバラバラ
- ③ 仕入先からの請求額チェックが煩雑

導入効果

- ① 得意先向け請求書発行の大幅工数削減
- ② 仕入先に買掛請求金額を提示し、仕入先での事前チェック機能を実現
- ③ 紙排除により、今後の電子帳簿保存法対応も容易に

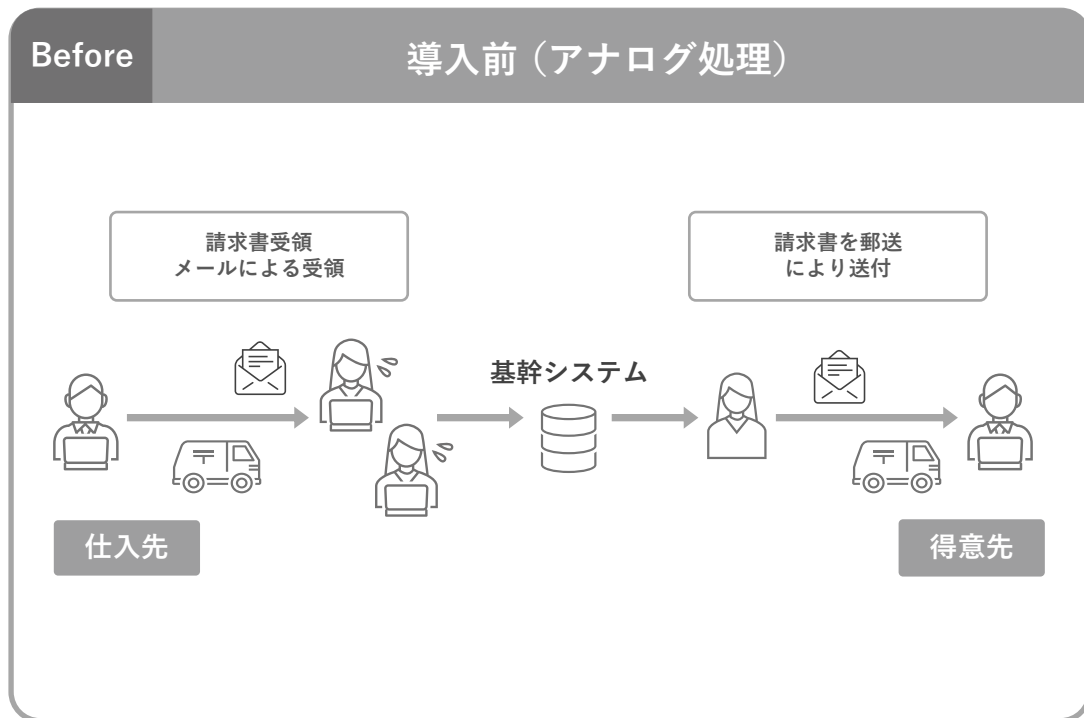


POINT

- ① 請求書発行と受取の完全自動化を実現
- ② BtoBプラットフォーム「請求書」との連携でアナログ処理を排除
- ③ DataSpiderをブリッジとした管理の充実

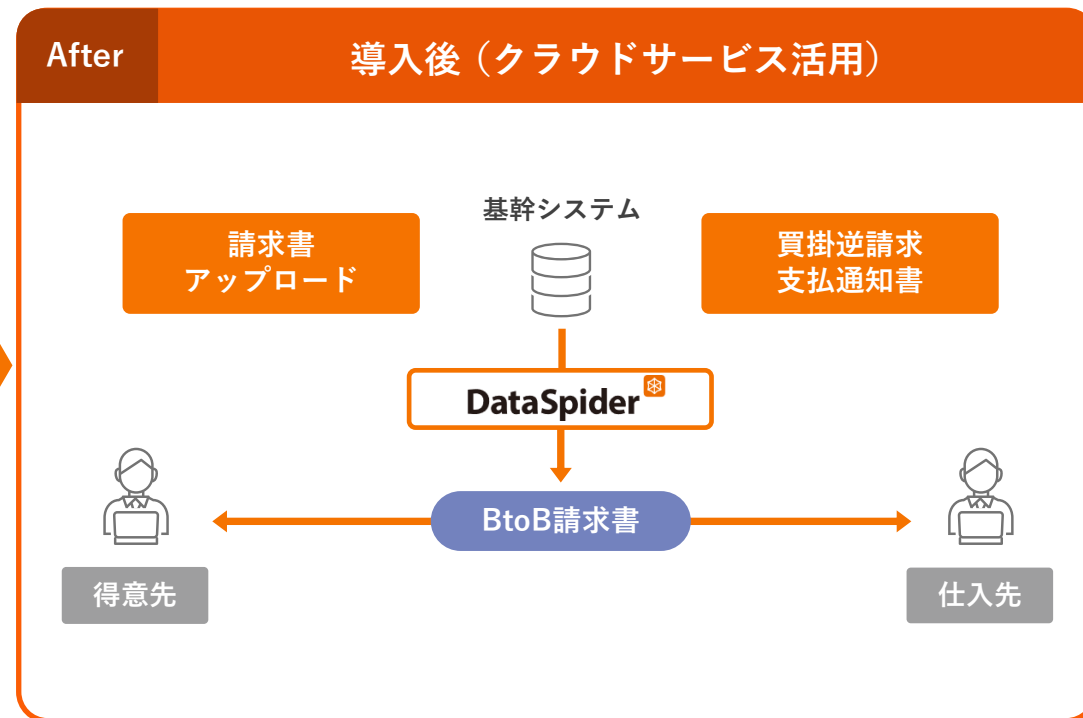
Before

導入前（アナログ処理）



After

導入後（クラウドサービス活用）



グローバル拠点のデータ連携基盤の構築

拠点ごとに異なるレイアウトを自動統一することで生産実績の有効活用

お客様の問題

- ① 生産実績等確認し、戦略に反映させたいがデータの収集と編集が煩雑
- ② 各国のデータがリアルタイムに見えない

導入効果

- ① 各国の生産実績等経営に関わる重要なデータが即座にシステム反映
- ② データレイアウト変換、システムとの連携を自動的に対応

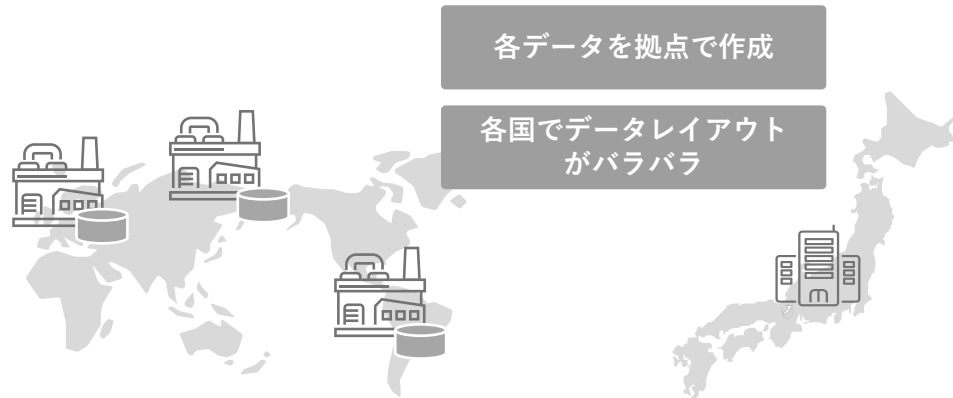


POINT

- ① 各国のデータを自動収集
- ② 各国に異なるレイアウトを自動的に変換
- ③ データを自動的に集めた後、即座にシステム反映

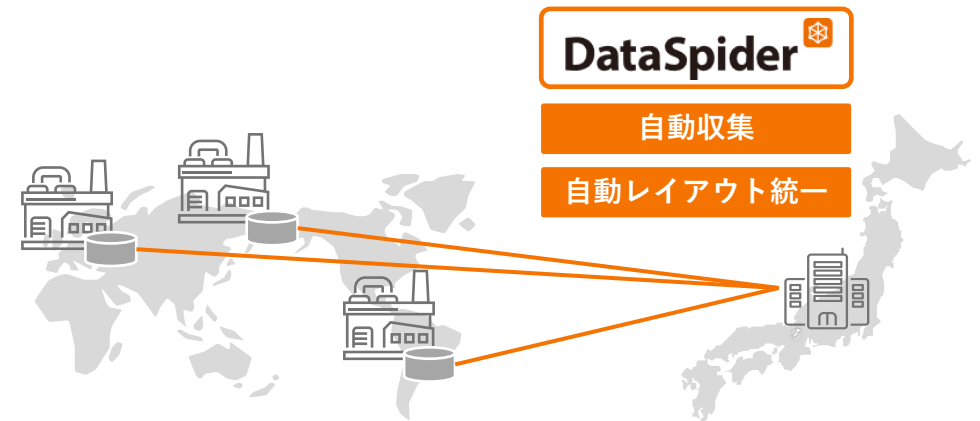
Before

導入前：各国データが孤立（サイロ化）



After

導入後：統合化されたデータの活用



導入製品・サービス

DataSpider
HULFT DataCatalog

お客様に納品した消耗品の交換時期を一元的に可視化(ダッシュボード化) 潜在的な見込み客を可視化し一歩先ゆくお客様提案を実践

お客様の問題

- ① データ加工が手動のため業務負荷が高い
- ② 実用性のあるデータレイク、DWHがない
- ③ 製品情報の一元管理ができていず、利活用が進まない

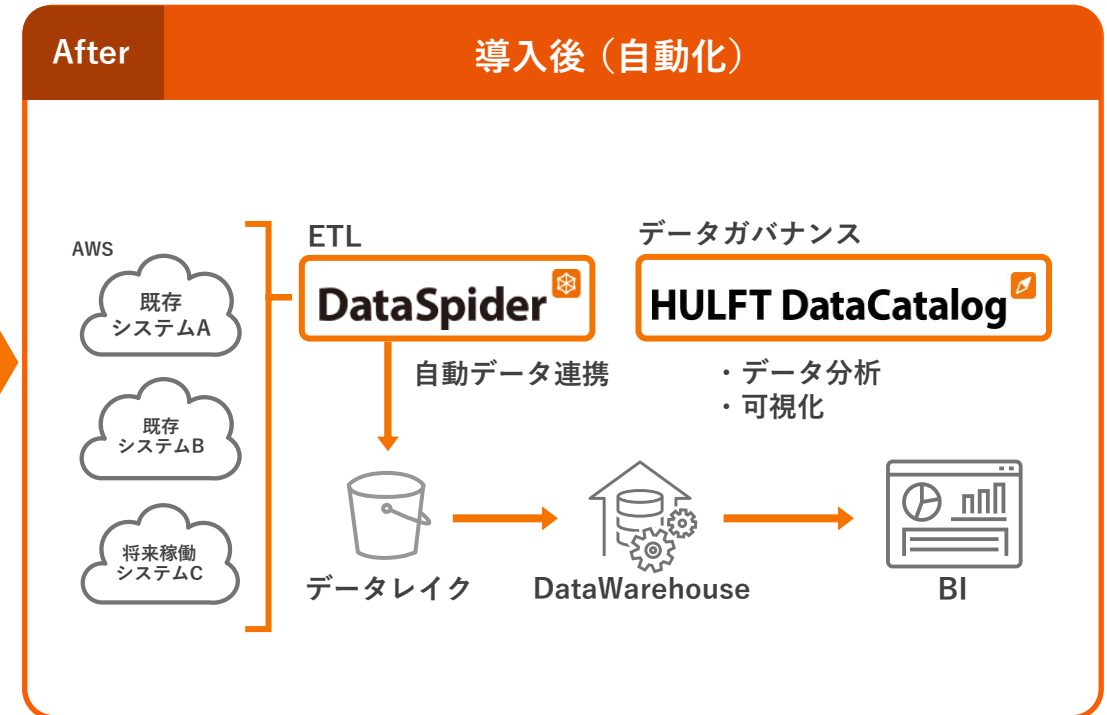
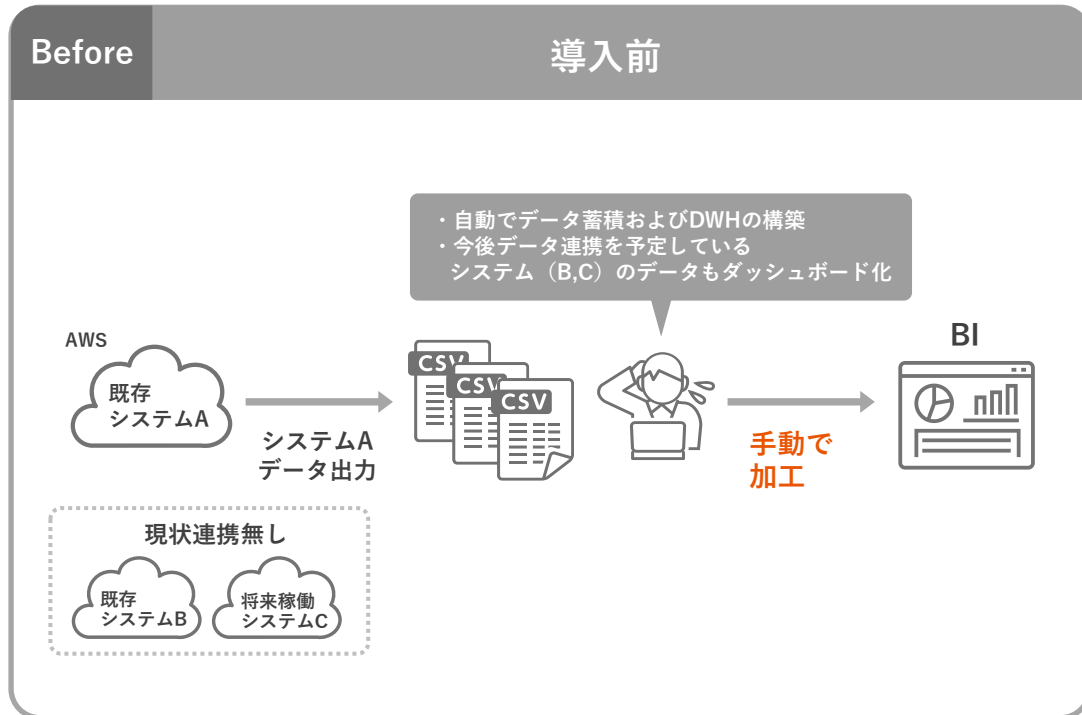
期待される効果

- ① 自動データ連携による業務負荷の軽減
- ② 各システムから自動的にデータ収集、活用
- ③ BIツール表示による情報の可視化と経営分析の効率化



POINT

- ① DataSpiderによるデータ整備と業務自動化
- ② 多種多様なデータをノンコーディングで加工
- ③ メタデータのカタログ化による迅速な探索



住民窓口受付業務での複数システム連携

多重入力の排除や自動連携により職員のデータ転記業務75%の削減

お客様の問題

- ① 住民からの一括申請に対し、多重入力が発生し多大な工数が発生している
- ② 手作業での登録ではミスが発生する
- ③ 内製開発の場合、属人化、不具合のリスクが発生する

期待される効果

- ① 自動連携で工数削減（75%削減を目標）
- ② 手作業を削減しミスを撲滅
- ③ 内製開発の属人化リスクがゼロ



POINT

- ① 元データを複数システムへ自動連携
- ② データ連携することで手作業を削減
- ③ ノーコード開発でわかりやすい

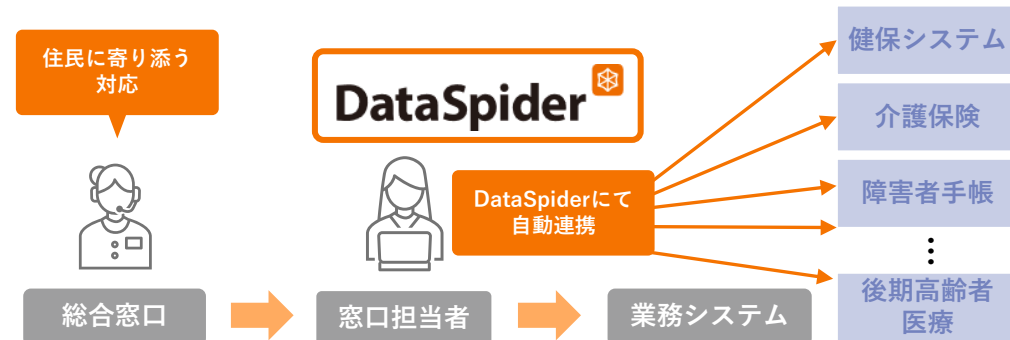
Before

導入前（データの多重入力）



After

導入後（入力データの自動連携）



複数の信用保証会社のクレジットヒストリーを一元化 ローン審査業務の完全オンライン化によるペーパーレスと非対面化を実現

お客様の問題

- ① ローン申込み・融資実行時顧客来店が必須
- ② 行員が様々なシステムを参照が必要で煩雑
- ③ ローンに関わる書類の大量出力が発生

導入効果

- ① ローン申込み～実行までを非対面化
- ② 1画面で各状況照会を完結
- ③ 大量の紙出力をなくしペーパーレス化実現

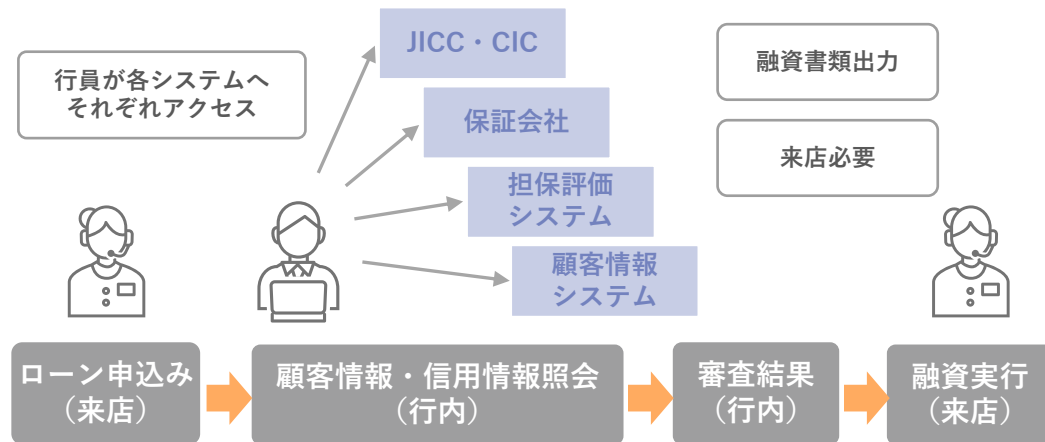


POINT

- ① DataSpider Cloudによるデータ連携
- ② クラウド型CRMで情報を一元化
- ③ ローンに関わる申込み～融資実行までを完全オンライン化

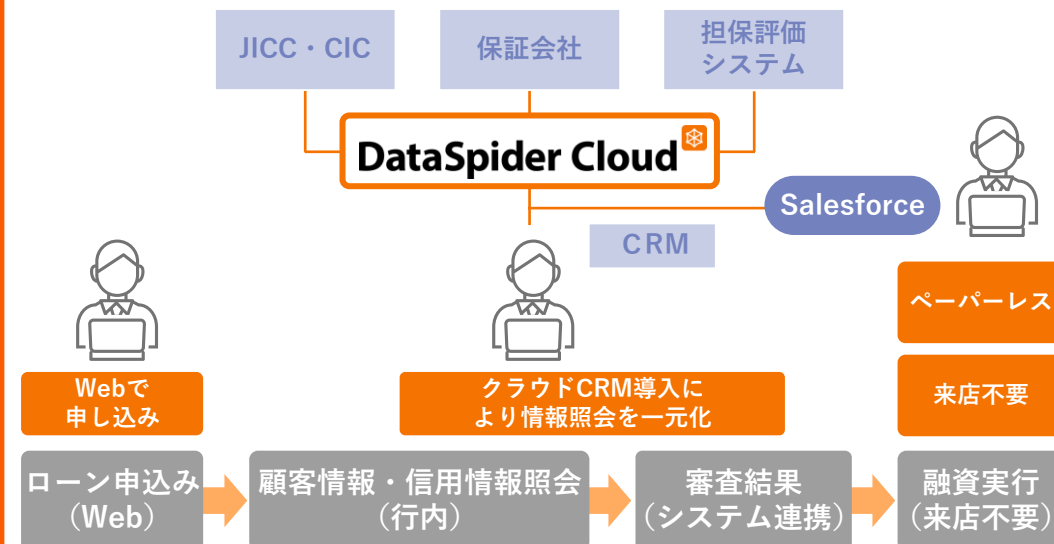
Before

導入前（従来型の対面窓口）



After

導入後（非対面窓口・完全オンライン化）



リサーチモニターから届く1日10万件のデータを完全自動処理へ 個人スキル依存していた調査データ加工をシステム化、顧客への納品スピードアップ

お客様の問題

- ① データ連携部分がお客様のスキルのままのスクラッチ開発で品質に不安を抱えていた
- ② 「消費者購買履歴データ（QPR）」は基幹システム内にあり、容易に接続することができない
- ③ 顧客に納品するデータ加工の一部工程が属人化

導入効果

- ① ノンコーディング型の連携ツールでスクラッチ開発を撤廃
- ② QPRデータをKintoneへ自動連携し基幹システム依存を解消
- ③ 属人化していたデータ加工工程を見直し、自動化することに成功

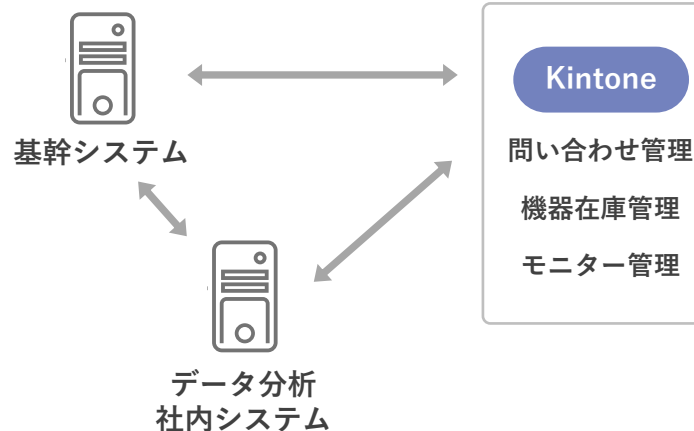


POINT

- ① データフローが可視化され、高品質な開発運用が可能になった
- ② 基幹システムに影響を与えず自由にQPRデータの加工が可能になった
- ③ 人のスキルに依存せず高品質なデータの常時納品が可能になった

Before

導入前（手作業及びスクラッチ開発）



After

導入後（連携によって属人化を排除）



見積もり作成から承認にかけての業務プロセスを刷新

DSCとCRM連携により書類作成、承認工数を50%削減し見積もり提示までをスピードアップ

お客様の問題

- ① 営業担当個人のPCや共有フォルダにしか情報がなかったため、顧客管理・情報共有が出来ていない
- ② 申請書類作成で多くのリソースが割かれ、お客様対応に時間をかけられない。承認作業も一日数十件。

導入効果

- ① 多くの周辺システムと連携をすることによって関連するデータの共有を実現
- ② 営業支援システムが有効活用されることによって、大きく業務が効率化された

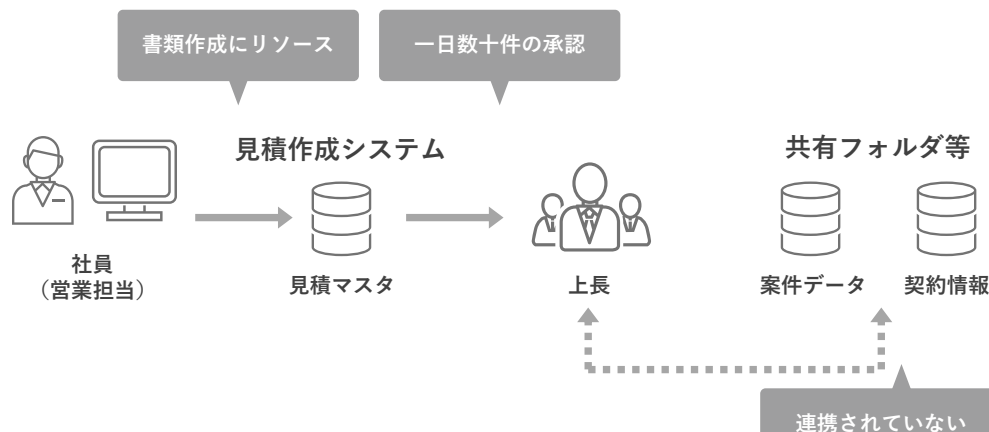


POINT

- ① どれだけの連携が発生するか不透明で、今後のビジネス展開で連携先が増えても対応できる拡張性が必要だった
- ② 多額の資金を投資することは出来ず、スモールスタートのできるサブスクリプションモデルである必要があった

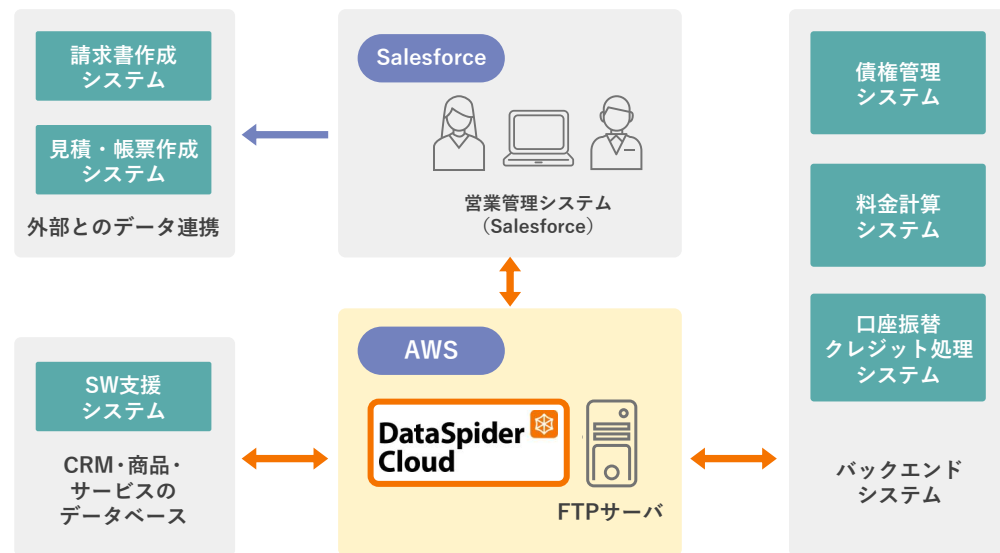
Before

導入前（手作業・電話・FAX）



After

導入後（CRMとSFAをDataSpiderCloudで連携）



メールによるサプライヤーへの調達依頼をクラウド化 納期回答までの煩雑なやり取りを無くしリードタイムの短縮に成功

お客様の問題

- ① サプライヤーに対する発注関連のやりとりは、メールで行っていたため時間がかかっていた
- ② サプライヤーへの発注や納期回答に時間を要し、コスト見積などが遅延している

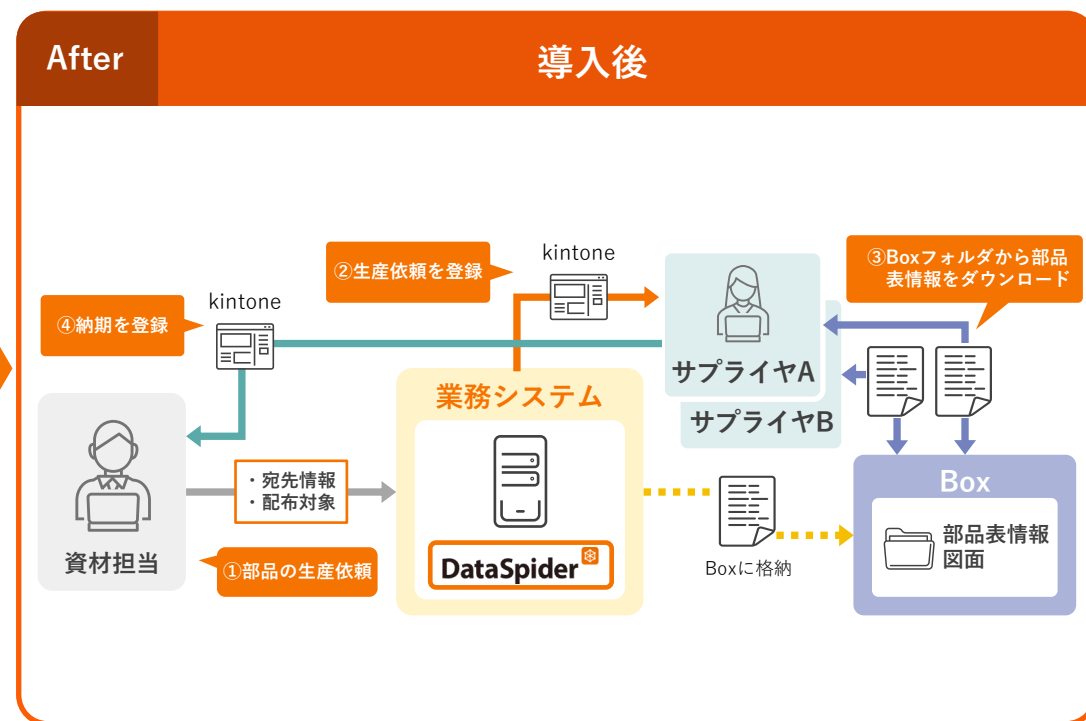
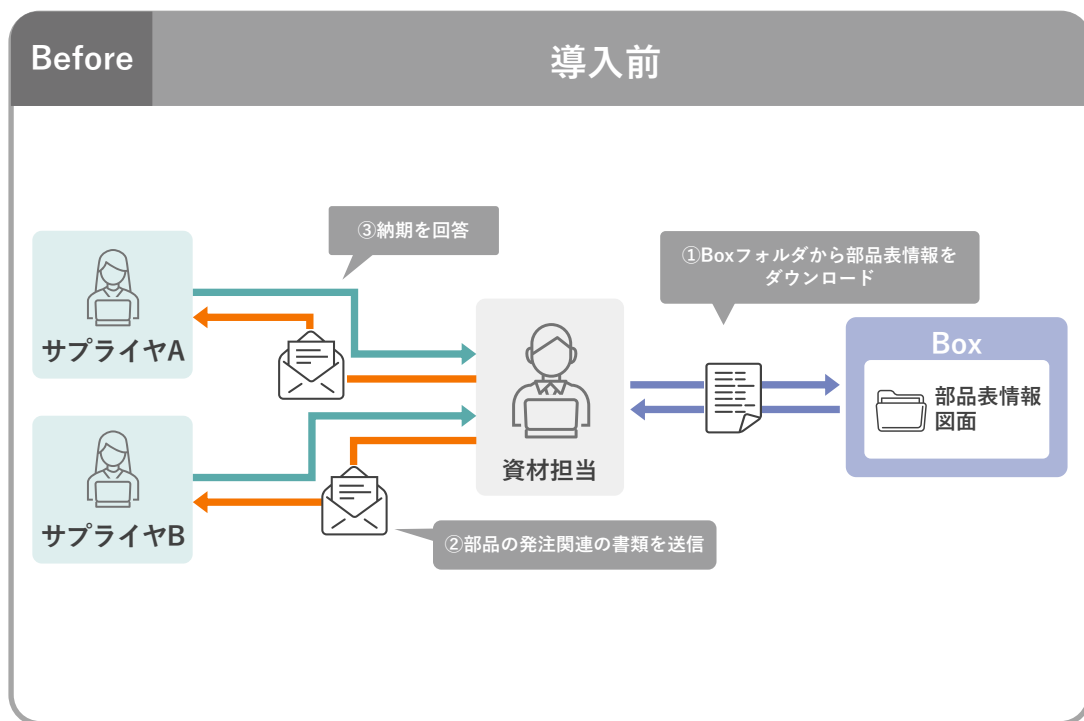
導入効果

- ① メールを廃しクラウドによる運用となり、迅速な情報連携を実現
- ② 部品発注のプロセスもクラウド化により生産プロセスの効率化も実現
- ③ マーケットニーズに対応した製品をタイムリーに供給する体制を実現



POINT

- ① クラウドへの情報一元集約が可能。
- ② サプライヤー側の煩雑なプロセスも改善。



勤怠管理や保安全管理など分散化したデータを自動統合 報告のための手作業データ加工を撤廃し、分析や改善業務へリソースシフト

お客様の問題

- ① 親会社の基幹システムから取得したデータの加工が、複雑かつ大量で処理しきれない
- ② 残業時間の管理が大きな負担になっている

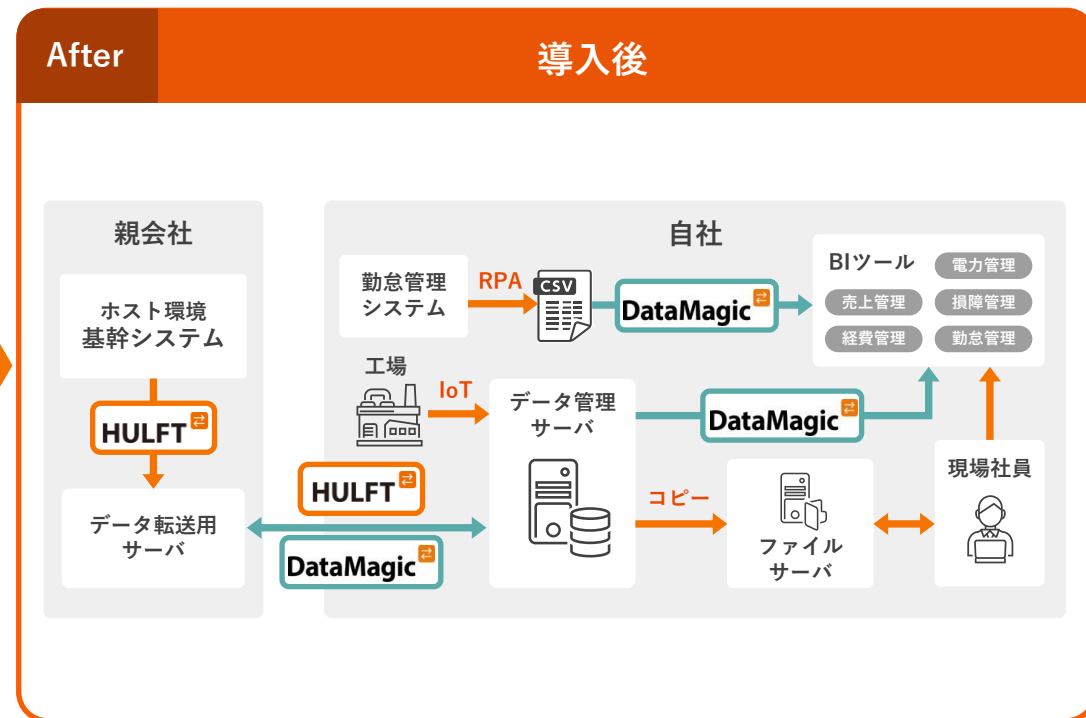
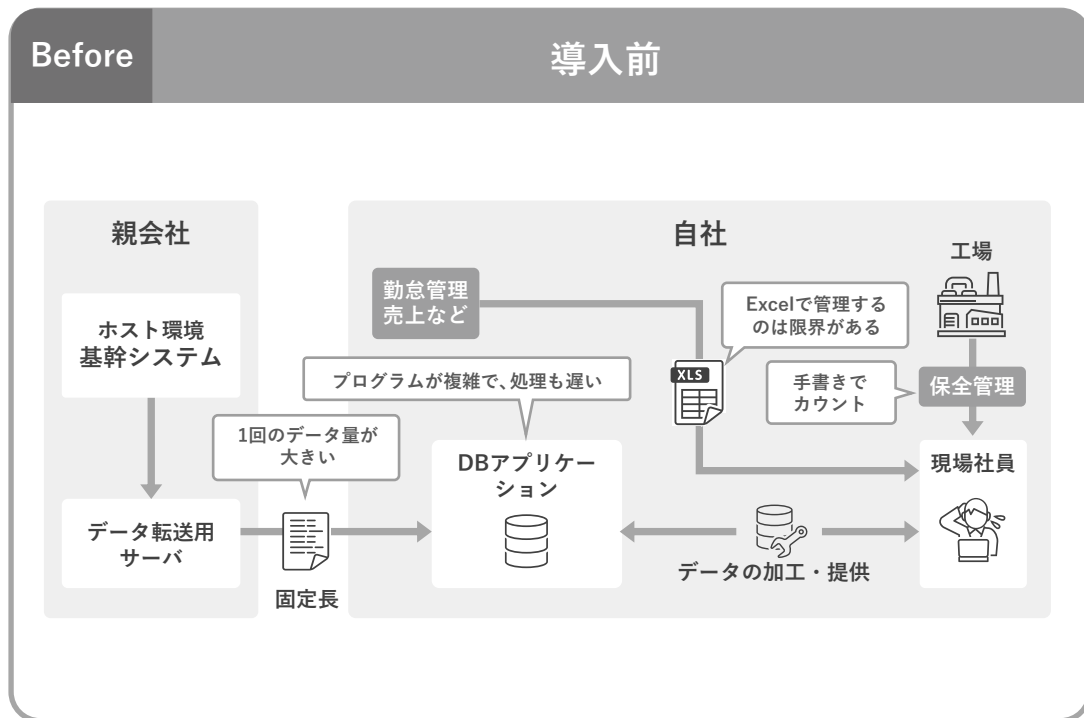
導入効果

- ① 勤怠管理を自動化、Excel作業を8割以上削減
- ② データ収集・加工の自動化を実現し、担当者の工数を単純作業から、分析や検討などのナレッジワークに割り振ることが可能に



POINT

- ① 24時間サポートに対応
- ② データ加工が簡単で精度が高く、処理が早い



メインフレームによるファイル連携のみの運用からの脱却 連携ハブをレガシーから分離し柔軟性のあるデータ連携基盤にシフト

お客様の問題

- ① ファイル連携のみの発展性のないレガシー基盤
- ② レガシー連携ハブがDBやAPIを活用したシステム連携の阻害要因となっている
- ③ メインフレーム廃止のための代替手段がない

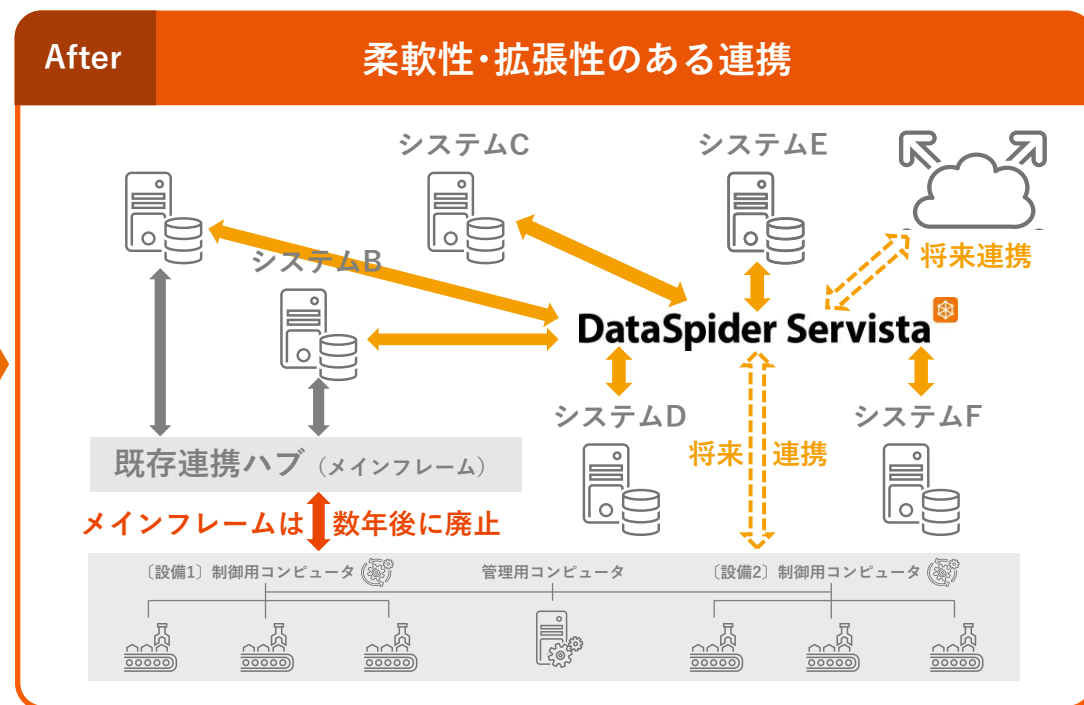
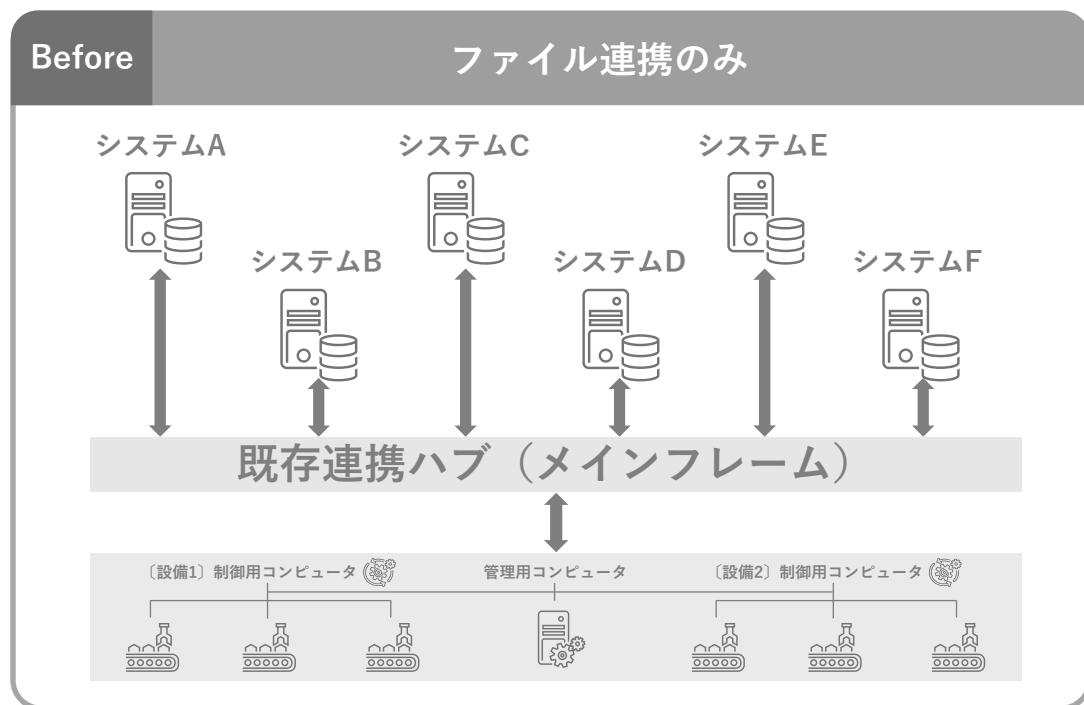
期待される効果

- ① ファイルベースの煩雑な連携経路の解消
- ② 様々なシステムとシームレスに連携できる、柔軟性や拡張性に富むシステムの実現
- ③ メインフレームの早期廃止に貢献するデータハブ環境



POINT

- ① PoCにより低リスクなバッチ連携業務の移行から実施
- ② プログラミングの自由度を活かし、クリティカルな業務連携まで可能なことを実証
- ③ 既存システムを変更することなく、将来のクラウドサービスへの切り替えも容易



導入製品・サービス

HULFT-WebConnect

HULFT Cloud Storage Option

ISDNサービス(2024年終了)からスピーディーな切替が可能なサービス 取引先ごとに異なる運用形態に対応しコスト削減とセキュリティの向上を実現

お客様の問題

- ① 大口取引先向けはISDN等を活用しており、またHULFT伝送が増加
- ② 広域イーサネットなどの専用線コストが増加
- ③ 手動でのAmazon S3データ交換は非効率で事故発生の温床

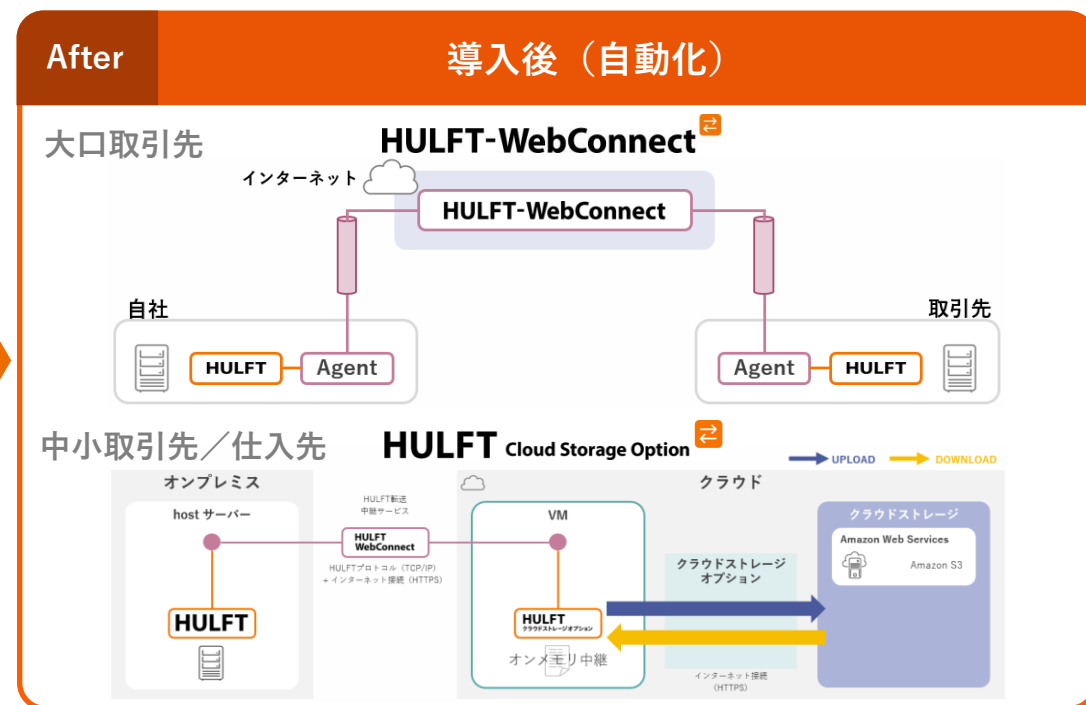
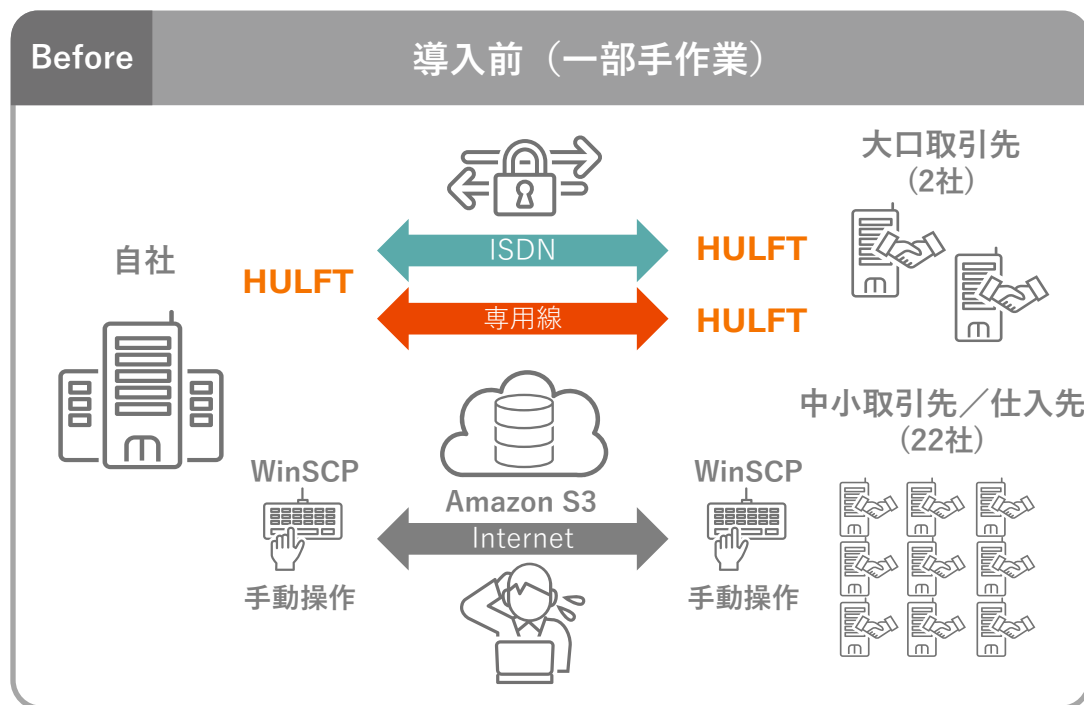
期待される効果

- ① 大口取引先とはWebConnectを活用し、現行の運用を変えることなくISDNから移行
- ② インターネット回線の利用で大幅にコスト削減
- ③ S3ベースのデータ交換を自動化



POINT

- ① 運用形態を変えずに、すぐ・簡単に換えられる
- ② 安全確実なファイルの連携運用を維持
- ③ 実績あるHULFT運用のままクラウド転送



導入製品・サービス

DataSpider Servista
HULFT DataCatalog

散在するデータをDWHに集約し見える化 オンプレ環境のデータ活用基盤で、行員によるデータ活用を実現

お客様の問題

- ① 銀行内の様々な業務データの活用ができていない
- ② データの漏洩防止のため、オンプレ・自行ネットワーク上でのシステム構築が必要
- ③ 行員が使いこなせるツールの選択が必要

期待される効果

- ① データ集約・格納・探索の機能を一通貫で提供
- ② オンプレ環境で利用可能
- ③ 目的のデータを迅速に簡単に探索できる

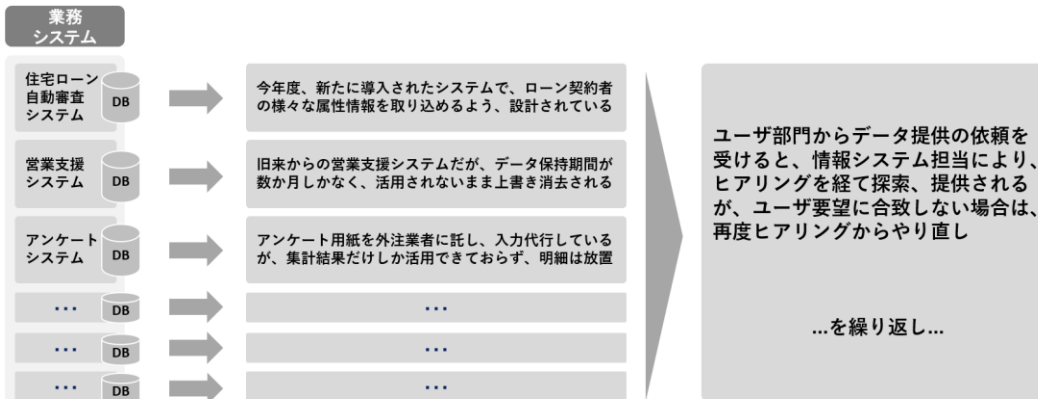


POINT

- ① システム連携によるデータ集約(DataSpider)とデータ探索を簡単に始められるDataCatalog
- ② オンプレはもとより、将来のクラウド導入でも使えるツール
- ③ セゾン情報内で構築されたDDP事例を活用

Before

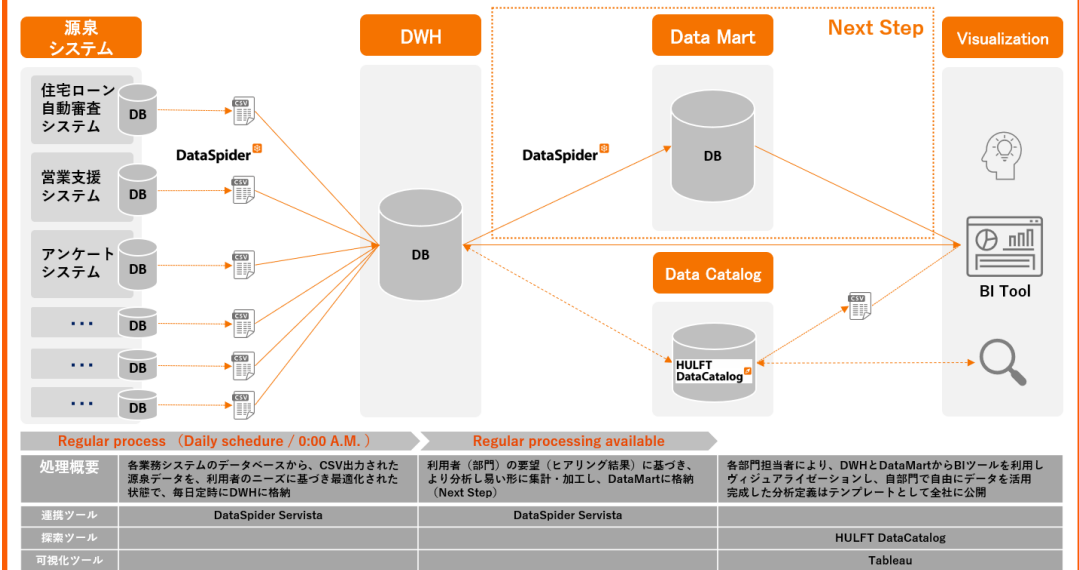
データ活用が情シス依存



鮮度の高いデータ提供は困難で、データ活用の活性化も期待できない。

After

行員によるデータ活用



API作成をせずにクラウドストレージへの接続を実現 HULFTでの運用を変えずにデータの集約先をAmazon S3に変更

お客様の問題

- ① 海外拠点とHULFTで連携していたが、日本側のデータ受先をAmazon S3に変更したい
- ② 現状のHULFTでの運用は変えたくない
- ③ クラウドストレージへのAPI作成スキルがない

期待される効果

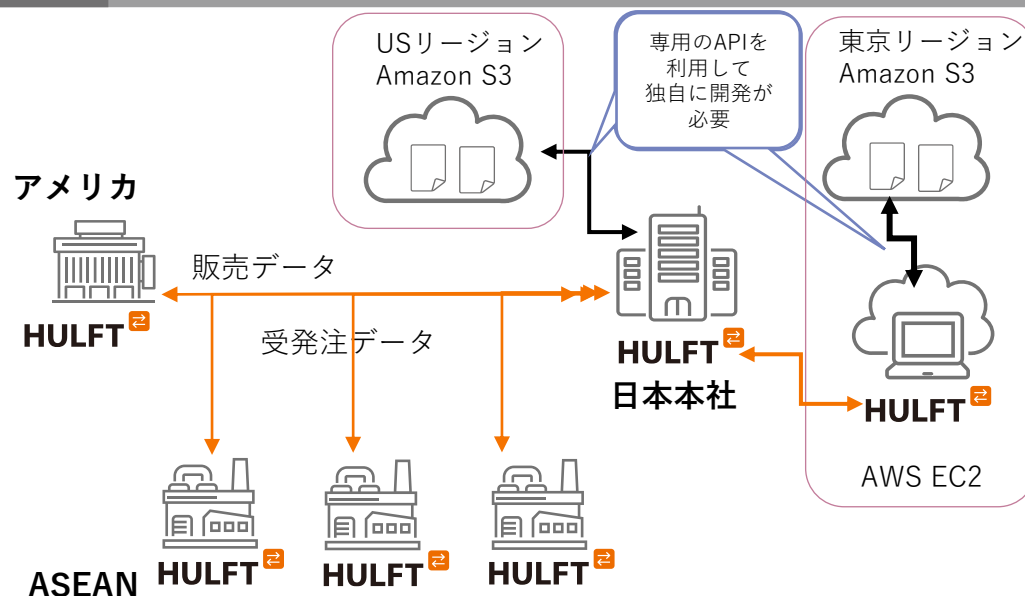
- ① HULFT Cloud Storage Optionを利用してAmazon S3にデータを集約
- ② HULFTの運用に変更の必要はない
- ③ オプションの導入と必要情報の設定のみで実現



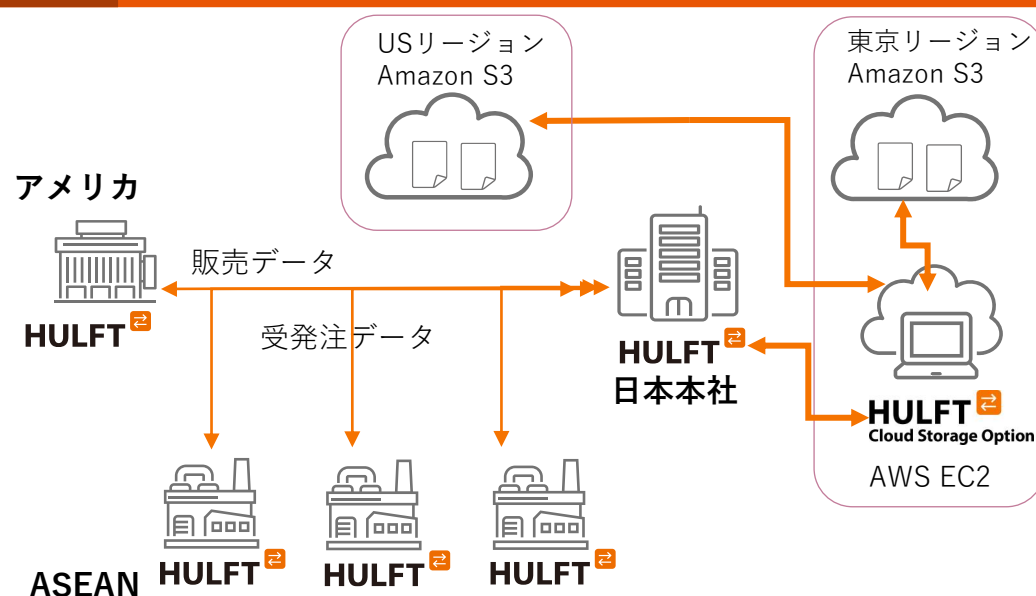
POINT

- ① APIでのスクラッチ開発に比べ構築費用の大幅削減
- ② 転送履歴の出力やエラー対処など、HULFTの機能をそのまま利用できる
- ③ 海外の拠点先とのデータ連携が容易

Before HULFTクラウドストレージオプションを利用しない場合



After HULFTクラウドストレージオプションを利用した場合



子会社、孫会社を含む決算データの人手による作業からの脱却 決算業務の属人化を排除しミスや業務負荷を大幅に低減

お客様の問題

- ① グループ会社内で統合・買収などにより、異なる会計システムの連携の必要性が高まる
- ② 人海戦術でCSVデータをベースとした作業の非効率化が問題に
- ③ 特に決算時期の業務集中化は残業が増大

期待される効果

- ① 複雑で定型的な業務をDataSpiderを活用して自動化
- ② ミスの撲滅、改竄防止や属人化の排除
- ③ 省力化による経理部門のワークライフバランスの向上



POINT

- ① 自動化により経理部門の人材不足を補完
- ② 正確化と共に経理業務のセキュリティの向上
- ③ 仕様書の自動生成により、業務の見える化を実現し、属人化しされた業務も排除

Before

人海戦術による業務の遂行

決算データ

A社基幹システム



B社基幹システム



勘定科目により
データを振り分け

孫会社データを
子会社データに
合算

目検で
チェック
し手修正

別担当者が手
作業で加工

データを
マージ

Diva
連結会計
システム



After

DataSpiderによる業務の自動化

決算データ

A社基幹システム

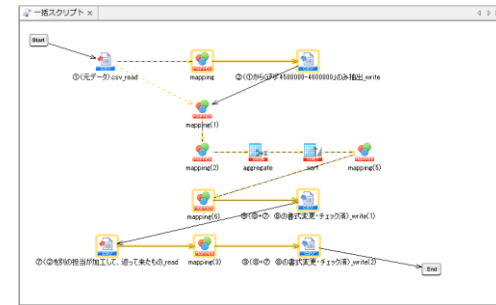


B社基幹システム

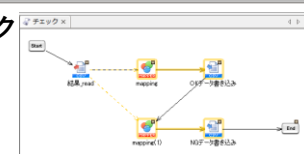


DataSpider Servista[®]

メインスクリプト



最終データチェック スクリプト



Diva
連結会計
システム

導入製品・サービス

HULFT[®]DataSpider[®]

属人化したデータの受渡しから外字変換までを自動化 勤怠システムから給与・会計システムまでの業務間の自動化を実現

お客様の問題

- ① 基幹システム(AS400)とのデータ連携を手作業で実施
- ② 人名ために登録した外字はそのまま利用したい
- ③ Excelのマクロによる属人化を避けたい

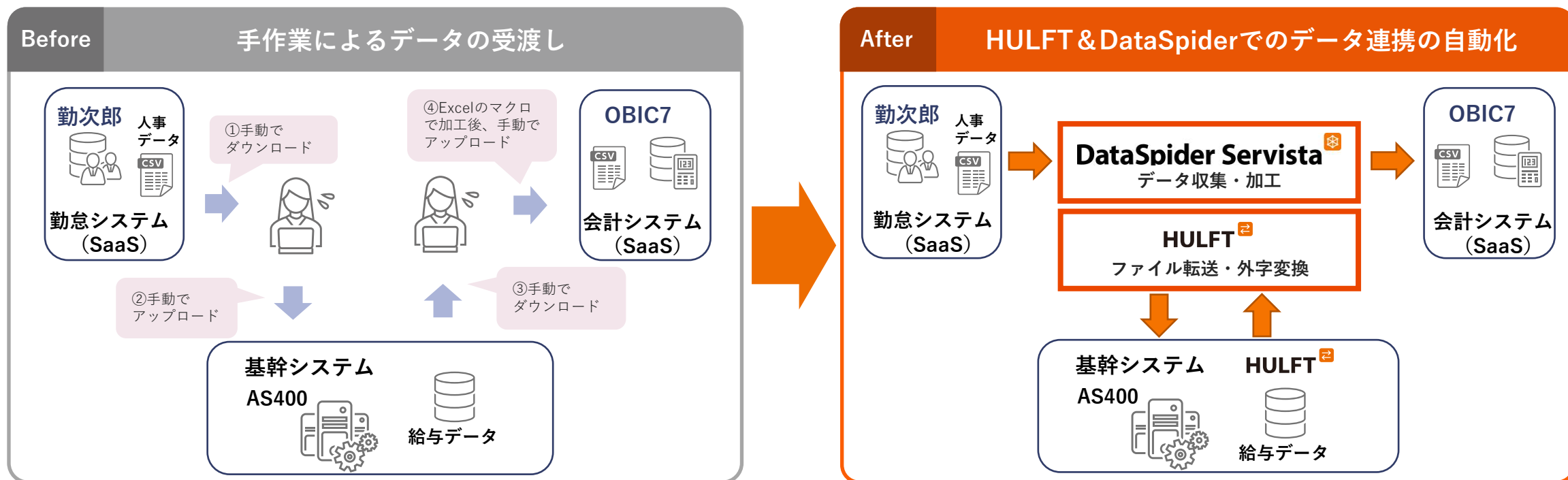
期待される効果

- ① 一連の定型的な手作業を自動化し、業務効率の向上
- ② 外字変換などの特別な処理も自動化し、今までの運用を変えなくて良い
- ③ 属人化の排除とミスの削減



POINT

- ① HULFTはオフコンなどのレガシーを含むマルチプラットフォームに対応
- ② コード変換だけでなく、外字変換にも対応
- ③ DataSpiderで簡単に業務間の連携を行い、仕様書も自動生成され業務の見えるかも実現



導入製品・サービス

DataSpider[®]

病院の診療状況の報告書作成を自動化し見える化を実現 データの集計や報告書作成に2時間要していたのを3分に短縮

※本業業務の合間で作成していたため

お客様の問題

- ① 報告書の作成業務は属人化した手作業が多く、本業業務の合間に行うために時間がかかる
- ② データ集計は属人化したプログラムで範囲が限定的なため、明細利用時にはデータの手入力が必要
- ③ 紙での出力で内容の成否も確認がない場合もあった

導入効果

- ① 報告書作成が本業業務対応しながら、2時間かかっていた作業が自動化で3分で完了
- ② 明細データも自動的に出力できるようになった
- ③ 分析用データも正確にかつ自動的に用意され、分析也多岐に渡り経営判断もスピードアップ



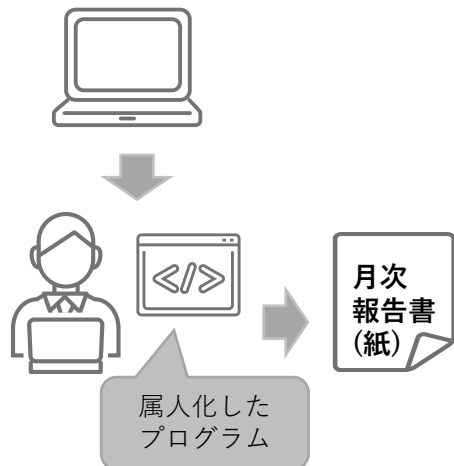
POINT

- ① 簡単に開発が行え、仕様書出力により処理内容がオープンになる
- ② DataSpiderの豊富なアダプタにより、ExcelやCSVなど様々なリソースと簡単に連携
- ③ 多くのシステムとの連携とデータの正確さは、病院内でのデータ活用を促進しDXの普及に貢献

Before

委託

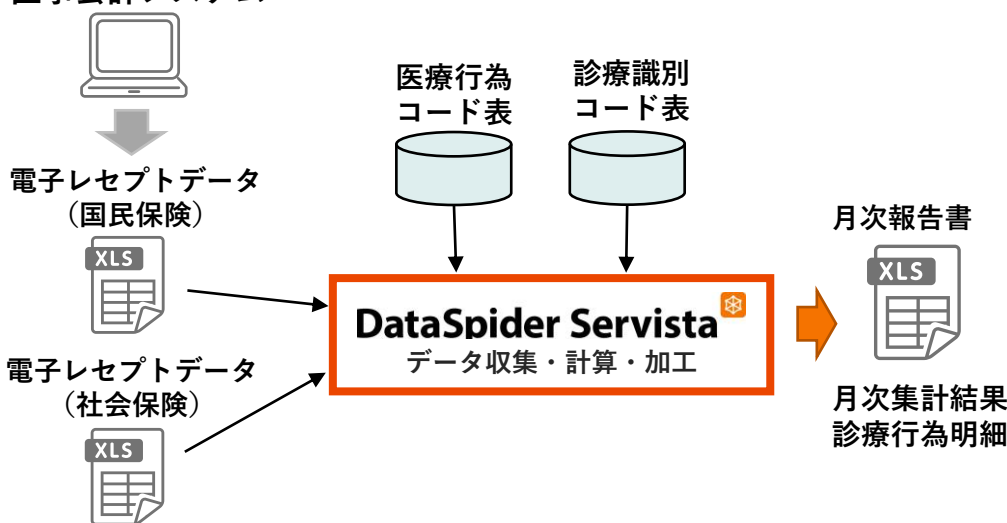
医事会計システム



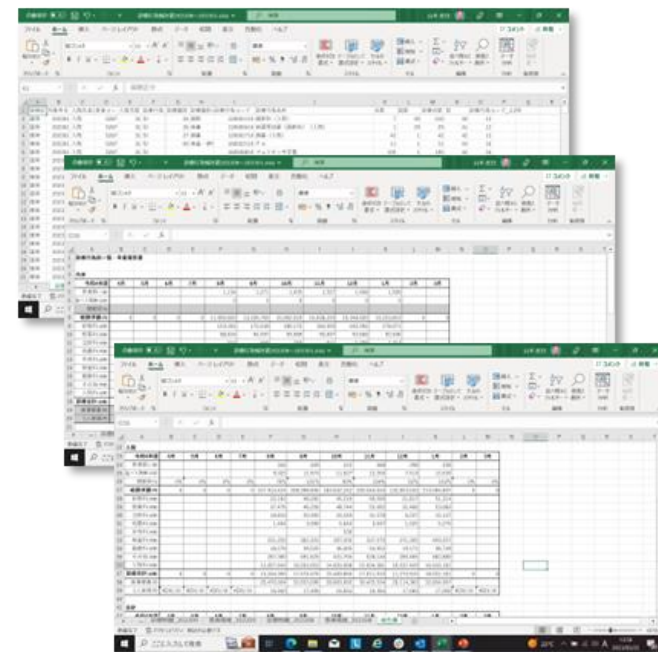
After

DataSpiderによるデータ収集・計算・加工の自動化

医事会計システム



月次報告書イメージ



導入製品・サービス

HULFT SQUARE

HULFT IoT

生産ラインの設備保全のDX支援

安全面を配慮した自動化により設備データの分析領域を拡大

お客様の問題

- ① 工場の設備データを分析などに有効活用できていない
- ② 設備データは機密情報だが、USBやHDDなどの物理メディアで輸送
- ③ 品質改善のための分析は人手で表計算ソフトを使用

期待される効果

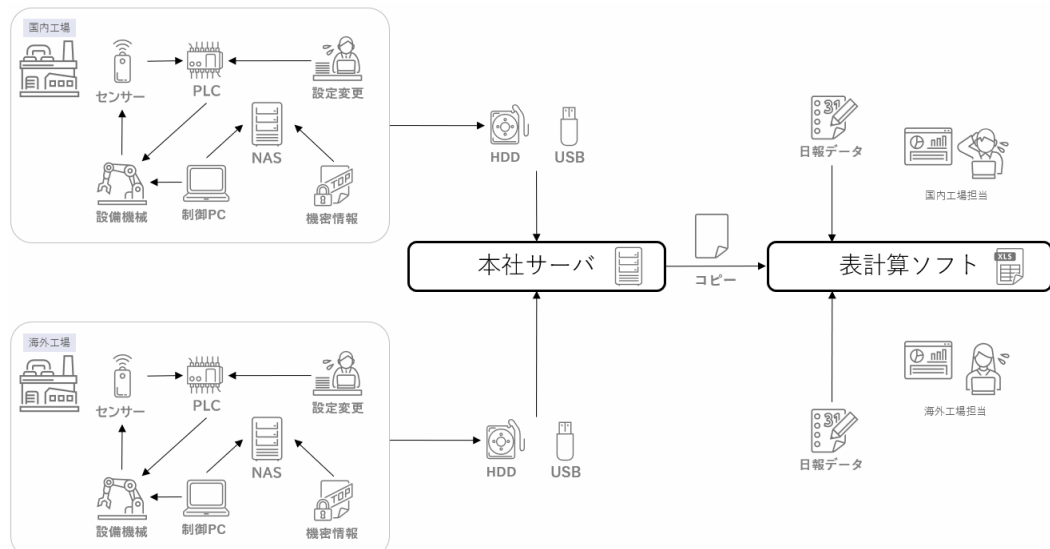
- ① データ取得・分析・フィードバックまでを自動化することによってデータの有効利用を実現
- ② メディアの破損・紛失やデータ漏洩の危険性を最小化
- ③ データ収集の自動化と分析ツールの導入により時間・工数が短縮され、分析範囲が拡大



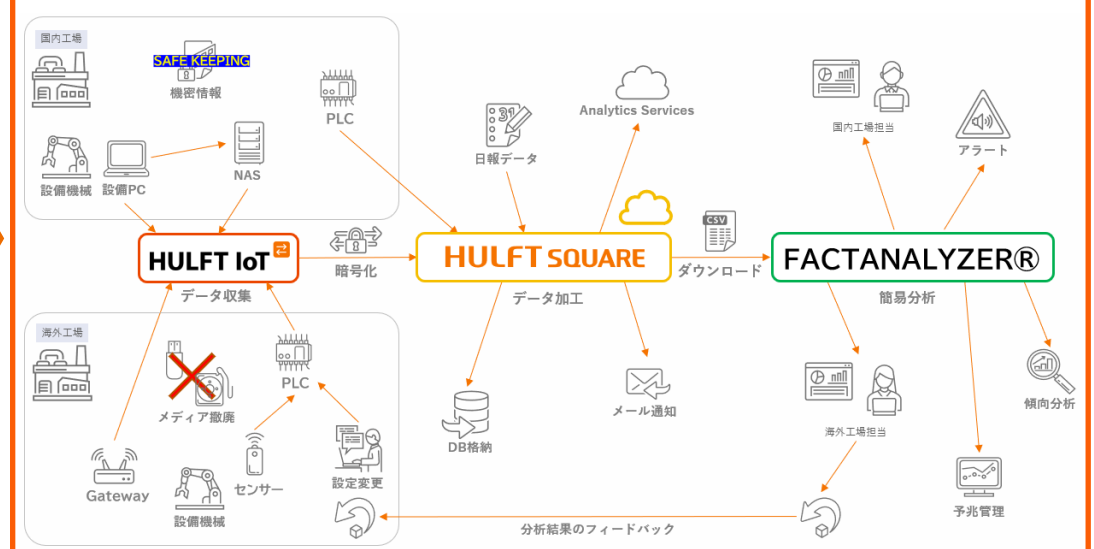
POINT

- ① 各システムとのデータ連携（HULFT Square）
- ② 設備データのセキュアな転送と自動化（HULFT IoT）
- ③ 分析特化のソフトウェア（FACTANALYZER）

Before セキュリティ面を考慮せず人手によるデータ収集と分析



After 自動化と分析ツールの導入で広がるデータ活用



※FACTANALYZER（ファクタナライザー）：株式会社ユニコ様の登録商標です。
QC検定所有者が考えたWEB型データ可視化ツールです

人を介した営業からの問合せ業務を自動化

新規取引の稟議要否を4ステップ(20～90分)から2ステップ(1分)に短縮

お客様の問題

- ① 営業が新規企業と取引をする際に、稟議承認の要否を担当者に都度電話で確認
- ② 担当者は基幹システムで確認後の回答となるため時間がかかり、双方の業務負荷となっている

期待される効果

- ① メッセージアプリで基幹システムに稟議承認の要否と結果を確認できるようになる
- ② 人を介さず確認可能なため、正確性が向上し、営業や担当部門の時短及び業務負荷を軽減

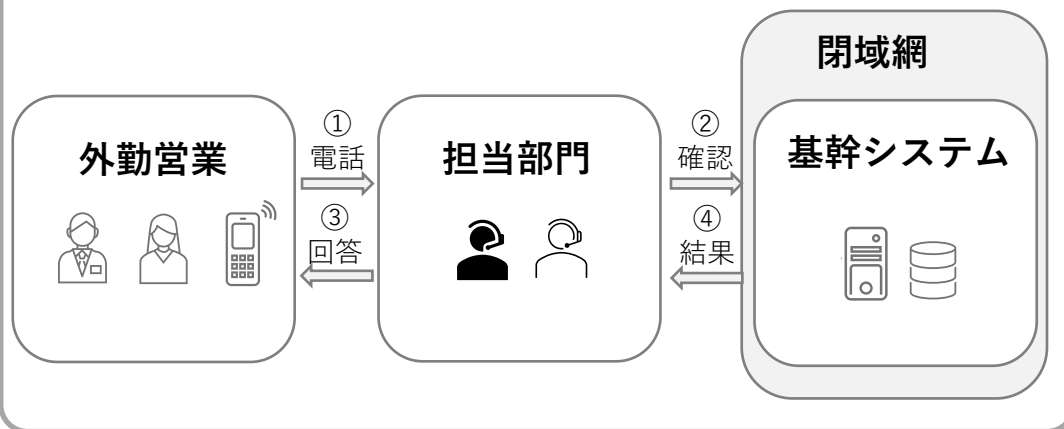


POINT

- ① HULFT SQUAREとの連携で、基幹システムとメッセージアプリ間の追加開発とコストを削減
- ② 稟議結果が「否」となった場合も、ネクストアクションの指示も追加できるようにし効率化

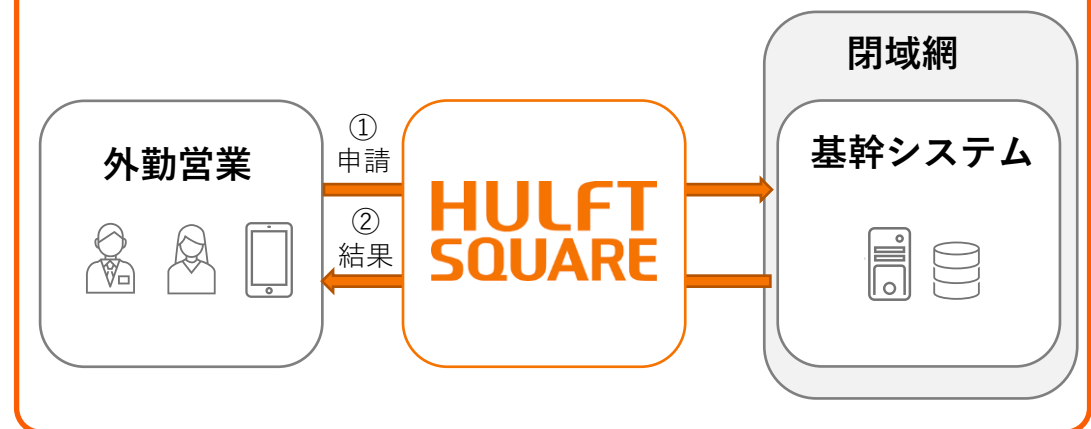
Before 営業が社内の担当者に情報の確認を個別に行う

人を介するため時間がかかる
確認作業：4ステップ 所要時間：20～90分



After 営業がメッセージアプリで基幹システムに確認

人を介さず基幹システムに直接アクセス
確認作業：2ステップ 所要時間：1分



さまざまなシステム間連携ツールの不具合でリカバリー作業が発生 連携ツールを一本化しデータの精度向上と作業の短縮化を実現

お客様の問題

- ① 人事情報の変更をActive Directoryに反映させるツールの使い勝手が悪く手作業で2日かかる
- ② 会計や契約情報をRPAでDWHに格納していたが、精度が低く、エラー対応のために工数発生
- ③ 社内に連携ツールが複数あるため、保守・運用管理の負荷がかかっている

導入効果

- ① DataSpiderにより人事情報のActive Directoryへの際のフォーマット統一等で即時反映が可能
- ② DataSpiderにより総合業務システムからDWHの正確かつ迅速な反映でデータの鮮度が上がった
- ③ 連携ツールを1本に集約し、運用負荷を軽減

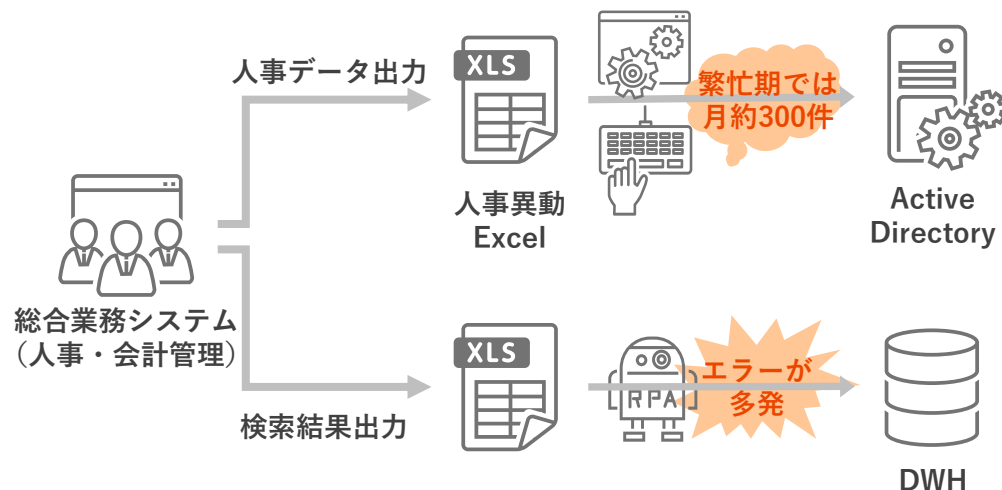


POINT

- ① ミス削減、経費削減、属人化解消、本来の業務へ注力可能、引き継ぎ業務の省略
- ② 経営判断の迅速化に貢献

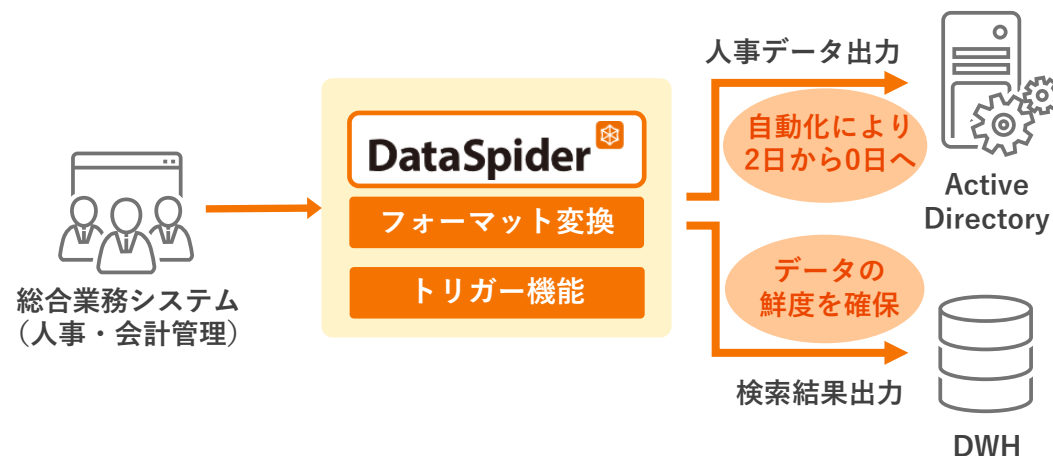
Before

さまざまな連携ツールで問題が発生



After

連携ツールを一本化し管理業務の負担を軽減



特権ID管理の申請・発行・チェックを自動化

ID管理と関連システムとを連携しID発行から本番アクセスまでを迅速化

お客様の問題

- ① 特権ID発行の関連システムに、一部人手を介するなどリアルタイム性に問題がある
- ② ID発行などの事後検証は、紙とモニターとを目検突合で効率やセキュリティ面で懸念がある

導入効果

- ① 導入するID管理システムと特権IDの申請から承認までを、連携し迅速に対応
- ② 事後検証のデータ突合も自動化し、正確性とセキュリティ面での懸念も排除

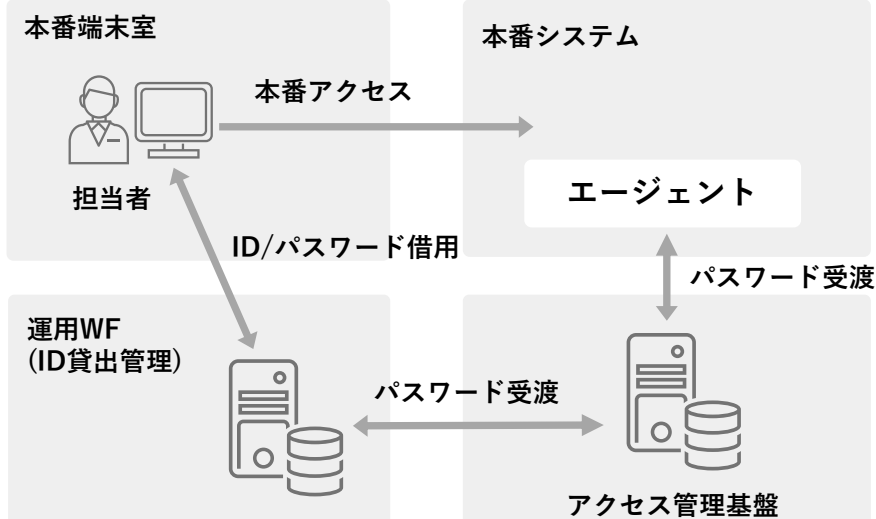


POINT

- ① 特権ID管理の関連システムとの連携の際のデータのフォーマットの差異をDataSpiderが吸収
- ② DataSpiderで作成したscriptは、他のシステムとの連携でも転用が可能なため生産性が向上

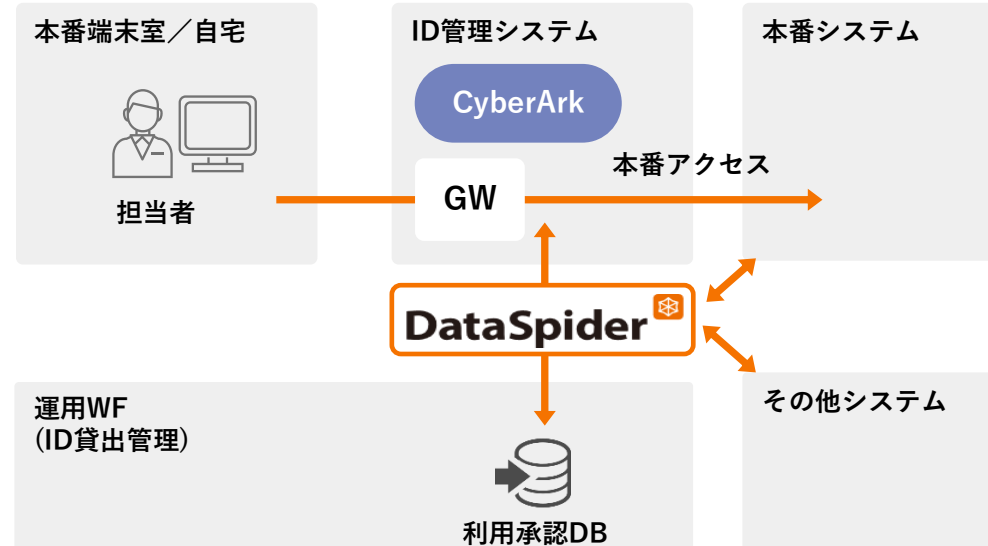
Before

人手による特権IDの発行



After

特権IDの発行を関連システムと連携して自動化



Amazon ConnectとSalesforceを連携し在宅コールセンターを実現

コールセンター業務に必要な情報をDataSpiderと連携して使えるデータに

当社の問題

- ① コロナ禍でもお客様対応のために出社が必要
- ② 受付・対応内容をSalesforceに手動で行う必要がある

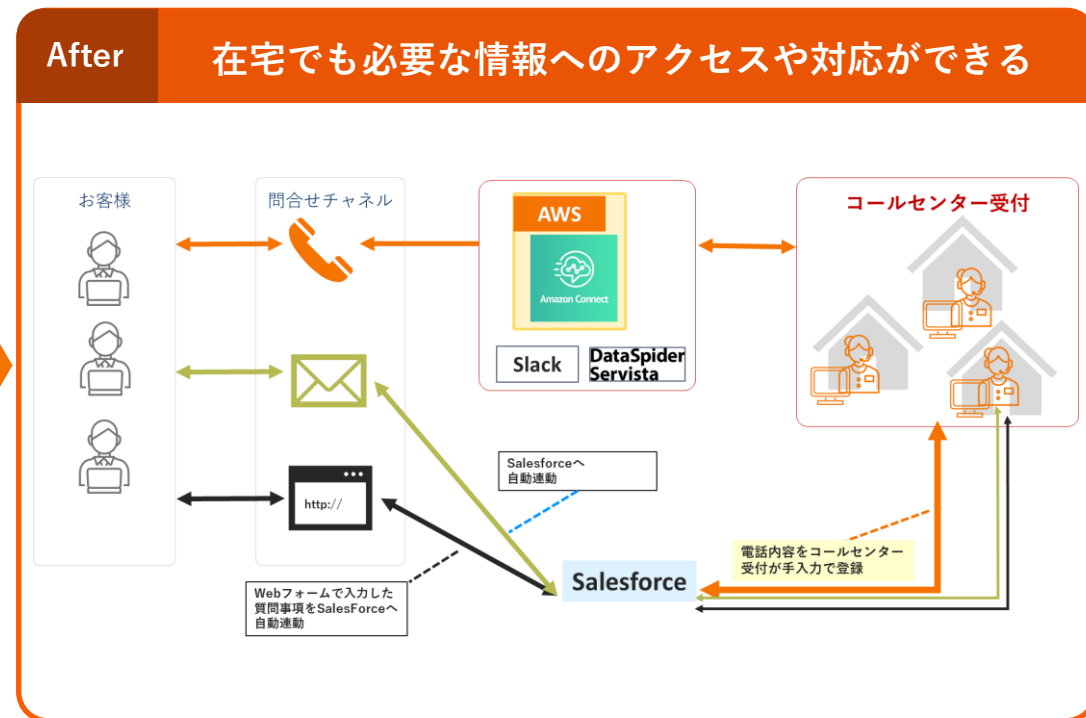
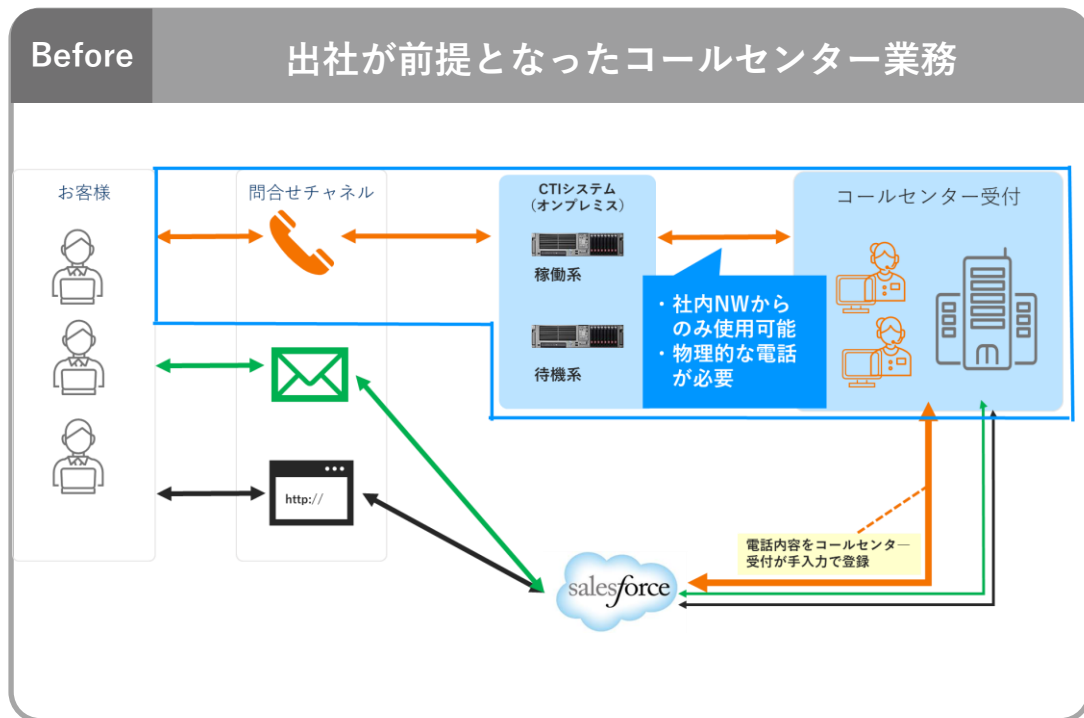
導入効果

- ① Amazon Connectを使用することで在宅でも電話を受けることが可能
- ② メールやWebで対応した内容は、Salesforceと自動的に連携され記録として保存



POINT

- ① Amazon Connectを使用することで在宅コールセンターを実現
- ② Amazon ConnectとSalesforceの連携により、散在しがちなお客様データを連動



大容量のドライブレコーダの映像データをBOX連携で授受 映像データの保存だけでなく保険代理店への振り分け業務まで自動化

お客様の問題

- ① 保険業務で使用するドライブレコーダーの映像データの容量が大きくデータ授受に支障
- ② 授受したデータを手動で全国の代理店ごとに振り分けし、共有やアクセス権限の付与等を行う

導入効果

- ① メールからBOX連携に運用を変え、容量やネットワーク負荷の問題を回避
- ② データ受領後の代理店への振り分けの自動化



POINT

- ① BOX内のファイルに対して、権限管理や削除・権限管理などの一括処理が可能になる
- ② DataSpiderでデータ保存だけでなく、振り分けなどの関連業務まで連携が可能
- ③ DataSpiderのBOXアダプタにより簡単に連携

Before

メールと人手による運用

大容量のドライブレコーダーのデータ受渡しに限界

メールでの運用は業務も煩雑になり、工数やセキュリティリスクも増大

代理店



受け取ったデータを
代理店ごとに振り分け

After

保存から振り分け、代理店への連絡を自動化

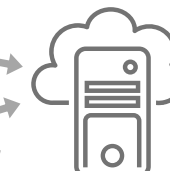
BOXアダプタ導入により、自動で社内の所定フォルダーへ移動

映像データの移動ではなく、担当者にメールで保存場所を通知

代理店



DataSpider



BOX



データがアップロードされたことを
契機に自動で社内システムに連携
担当者にメールで通知

グループ各社に点在する個別システムの集約化

将来のシステム環境の変化にも対応できるシステム間連携とI/F標準化

お客様の問題

- ① システム集約化の際に、個別システム間の連携を行うがデータフォーマットに差異がある
- ② 日次で発生する売上データの連携などの大容量データの処理に耐えられる必要がある
- ③ 連携データのI/Fを集約・標準化して、各社からのデータ連携を容易にしたい

期待される効果

- ① DataSpiderはシステム間の差異の吸収し、グループと個社システム間をスムーズに連携
- ② 大容量データの読込、変換、書き込みを平行に処理しパフォーマンスを維持できます
- ③ 「DataSpiderと開発/運用ガイド」でI/F開発を標準化し、将来の変化に対応が可能



POINT

- ① DataSpiderは基幹連携の手段として豊富な実績
- ② 会計業務以外のシステム連携も可能にする、拡張性と高可用性
- ③ 開発/運用ガイド(コンセプトデザイン)は、連携システムの内製化を標準化した手法で行えます

Before

グループ内で個社ごとにシステムを管理

グループで個社個別のシステムをそれぞれ管理
コスト、工数の圧迫

After

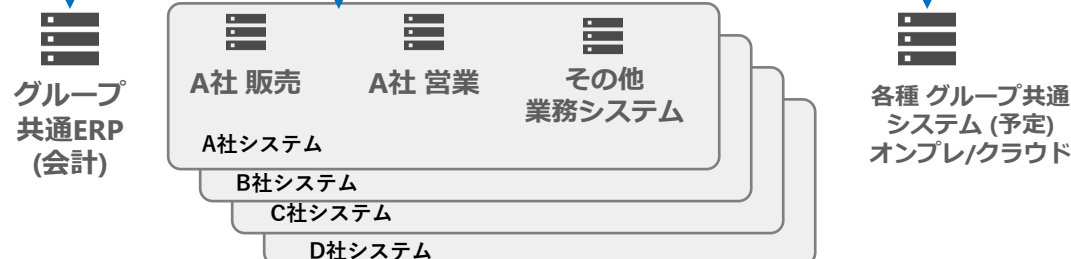
データ連携基盤によりシステム間の差異を吸収

システムをグループ統合する事によりコスト/工数削減、ナレッジの共有

データ・システム間の差異吸収を行い、システム変化/刷新へ柔軟に対応

DataSpider

マスタコード変換/フォーマット変換/レイアウト変換 など



導入製品・サービス

HULFT
DataSpider

ISDN回線廃止に伴い代替回線と社内のデータ連携手段を統一化 取引先との外接標準化でコスト削減。データ分析基盤との連携手段を確立

お客様の問題

- ① ISDN回線(2024年1月)の廃止により、代替回線を確保しなくてはならない
- ② 数多くの通信手段の監視などのコストが高い
- ③ データ分析基盤への連携手段が未確立のため、データを活かしきれていない

導入効果

- ① 安全で汎用的な通信手段で取引先とのやり取りを統一
- ② さまざまな外部サービスへの依存を脱却し、監視コストを削減
- ③ 分析基盤への連携を容易にして、データ活用を全社に広げる

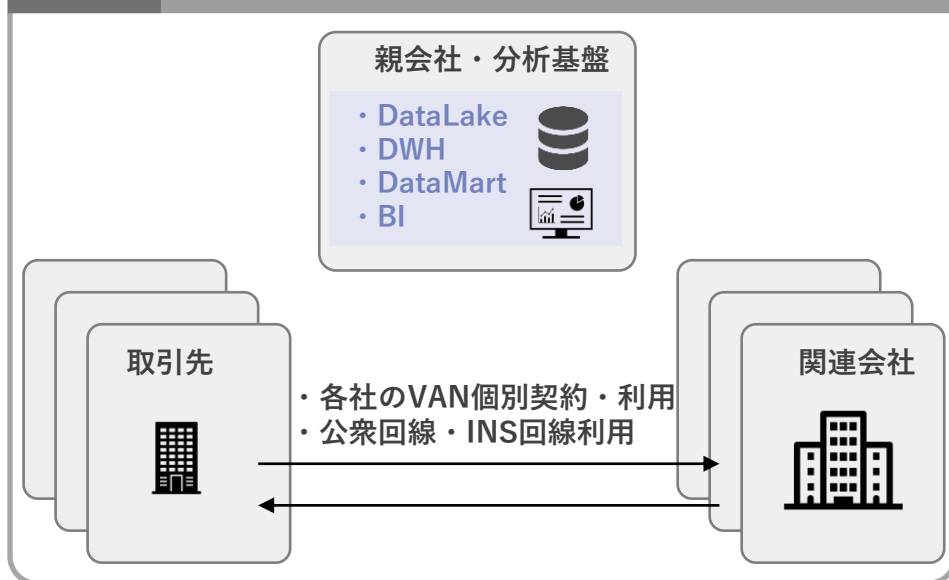


POINT

- ① 関連会社含めた通信手段の統一・標準化と維持
- ② 管理コストを含めた全体コストの最適化
- ③ 受発注データだけでなく、他の業務データとの連携をも確保した拡張性

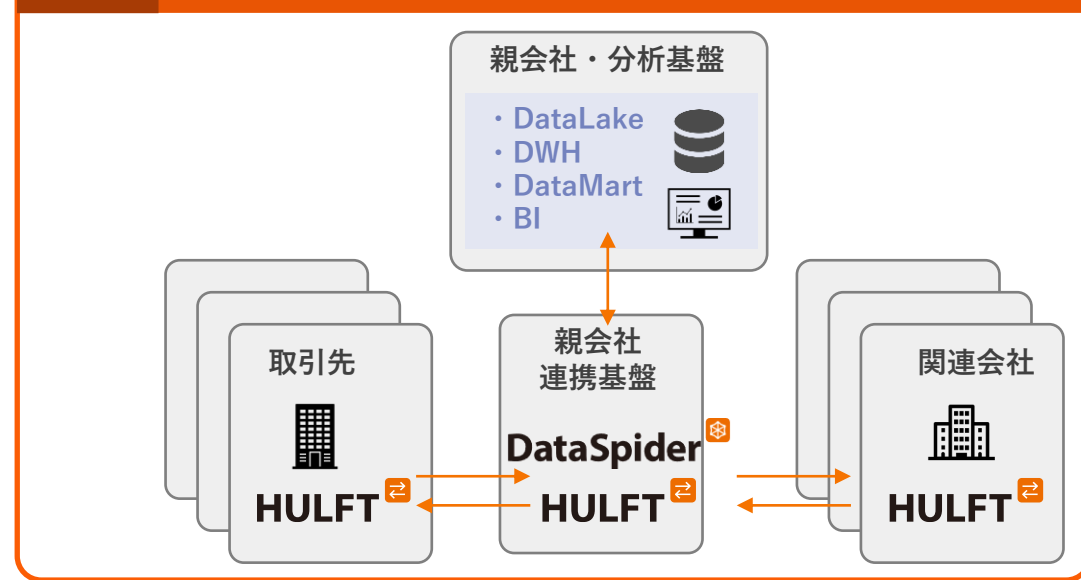
Before

さまざまな通信手段と連携手段が未確立



After

混在した通信・連携手段をDataSpider/HULFTで統一



導入製品・サービス

HULFT[®]DataSpider[®]

社内に散在する顧客データを統合しマーケティング施策に活用

顧客データ統合に必要な作業を自動化。更にマーケティングツールと連携

お客様の問題

- 顧客データを活用しマーケティング施策に活かしたいが、各システムにデータが散在
- 散在するデータの統合には、データ抽出、名寄せ、クレンジングが必要で多大な工数が発生
- 統合したデータをマーケティングツール等と連携して営業活動を活性化させたい

期待される効果

- 散在した顧客データを統合するDBで、顧客情報を一元化
- データ統合に必要な名寄せなどの作業を自動化
- 統合した顧客データとCDMやMAツールをDataSpiderと連携させて活用



POINT

- データの整備やシステム連携などは、GUIにより簡単にを行い、工数を大幅に削減
- DataSpiderのアダプタの豊富な実績
- レガシーからのデータ抽出は、セキュリティ担保の為にHULFTを提案

Before データは存在するものの、そのままでは使えない



分析・可視化の前段階におけるデータの問題

- データが散在し、更にデータの差異等により、そのままでは分析/施策の実施が出来ない

	会員	会社	アドレス
Data_A	せぞん たろう	株式会社ABC	Saison@mail.com
Data_B	せぞん たろう	株) ABC	Saison2@mail.com
Data_C	セゾン タロウ	株) エービーシー	Saison@mail.com



顧客データを使える状態にする再のステップの問題

- 収集から整理まで多大な工数。更に他システムの連携が問題に...

Step1: 収集・統合

データ収集

クレンジング・名寄せ

統合・加工・保管

Step2: 分析・可視化

データ分析/
レポート

ビッグデータ解析

Step3: 施策

マーケティング

カスタマー
コミュニケーション

After 統合DBによる収集・統合+連携ツールでデータ活用



データに基づいたマーケティング施策

- 必要なデータを自動的に収集し、分析ツール等と連携してマーケティング施策に必要な情報を提供

源泉データ

収集・統合

分析・可視化

施策立案

Data_A Data_B Data_C

HULFT[®]
DataSpider[®]
統合DB

- 顧客データ
- 来店データ
- 購買データ
- サイトアクセスデータ
- ポイントデータ...etc

データ連携により
データを使える状態に

- データ収集
- クレンジング
- 名寄せ
- 統合DBへ蓄積

SFA
MAツール
CDP・BI
...etcデータに基づく
マーケティング施策

導入製品・サービス

HULFT

DataSpider

Dynamics365導入に伴う大規模データ連携基盤の刷新

連携基盤によるI/F標準化でお客様の内製化の推進と運用管理工数を削減

お客様の問題

- ① 既存の基幹と関連会社のシステム連携は個別のカスタマイズが発生しシステムが肥大化
- ② 従来のRRPの導入方式では、バージョンアップ等が、システム全体の足かせとなる
- ③ Dynamics365で置換えを検討するが、膨大なアドオン開発が発生してしまう

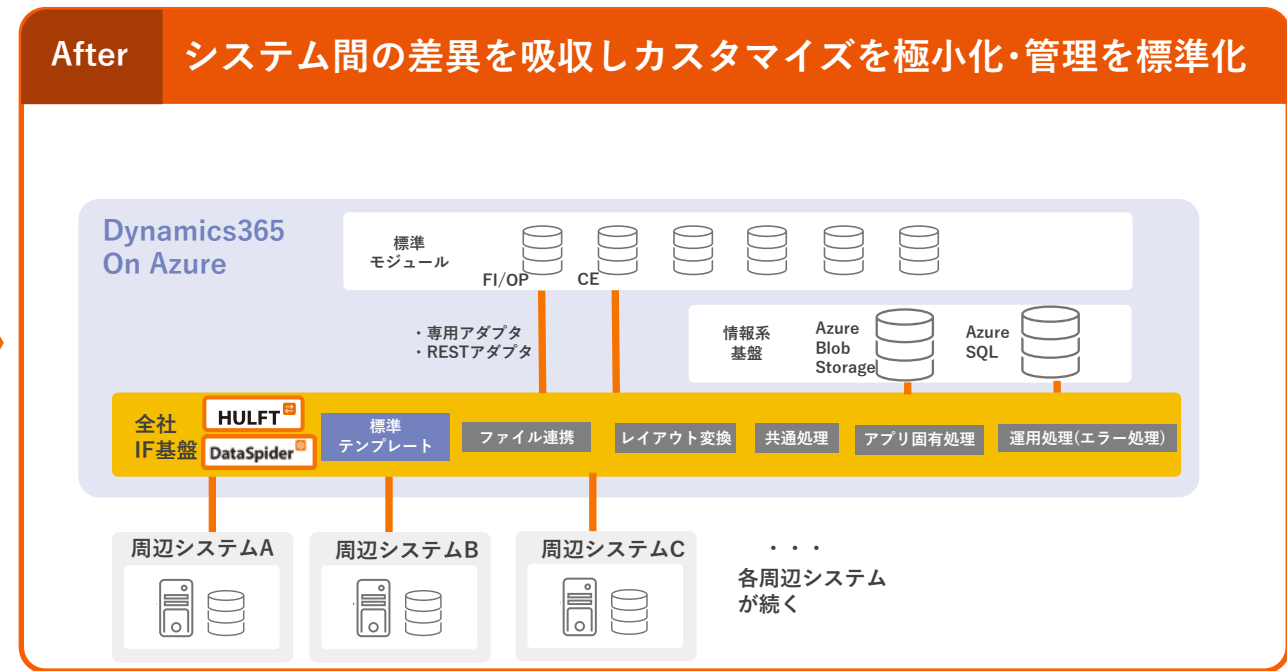
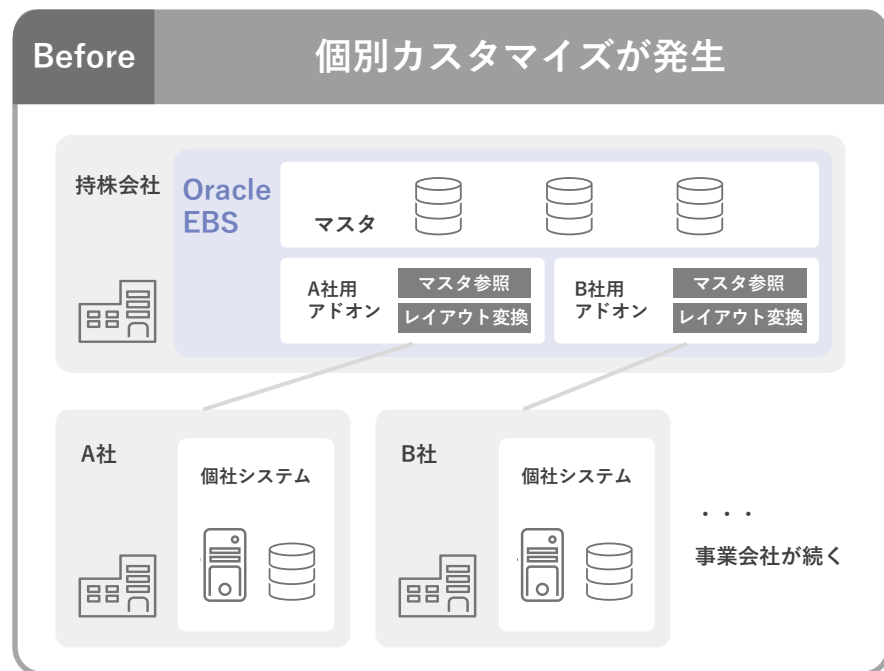
導入効果

- ① データ連携基盤を活用し、システム間の差異吸収。Dynamics365のアドオン開発を極小化
- ② アプリケーション依存からの脱却と連携容易性の確保(クラウド・SaaS活用)
- ③ 開発運用ルールの標準化。カバナンスと開発運用効率の最大化



POINT

- ① DataSpiderの国内アプリケーションとの連携や細かい業務ロジックを考慮できる点を評価
- ② 体制面では内製化支援メニュー(大規模講習、フォローアップ教材)などの点を評価
- ③ インターフェースの普遍化・共通化と開発生産性と維持メンテ性の向上を実現できた



ITヘルプ管理システムと顧客管理システムとのリアルタイム連携 サポート業務のデータを連携し、情報の最新化と業務の自動化を実現

お客様の問題

- ① お客様の契約情報や障害時の情報が、関連システムとリアルタイムに連携できていない
- ② 新規契約の情報が顧客管理(CRM基盤)に連携できていず、営業の機会損失が発生
- ③ 障害時のインシデント起票や担当営業へのメールは、手動でカバーしていた

導入効果

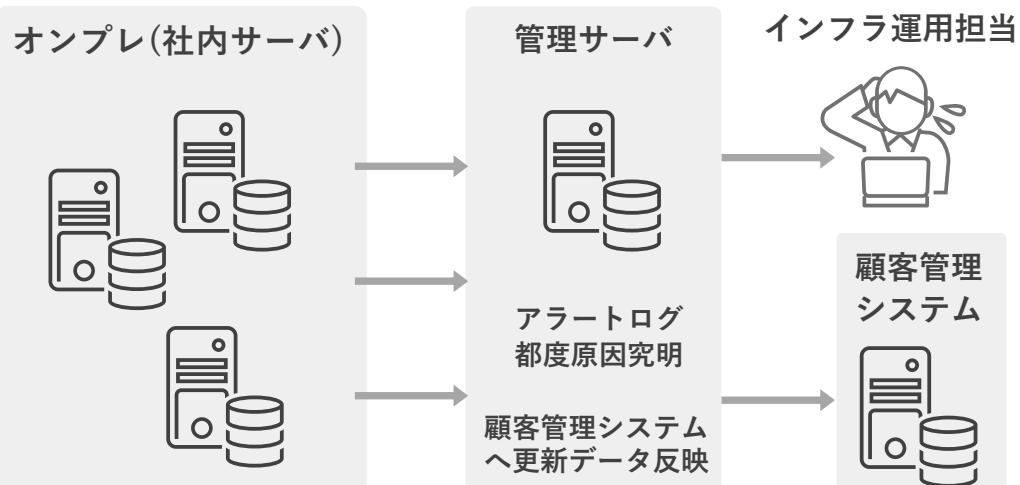
- ① ITヘルプ管理コンポーネント(Remedyforce)の導入に伴い、顧客管理との連携を強化
- ② Remedyと顧客管理を連携し、新規の契約情報をリアルタイムに反映
- ③ インシデント起票などの、サポートの対応内容を自動的に担当営業にメール



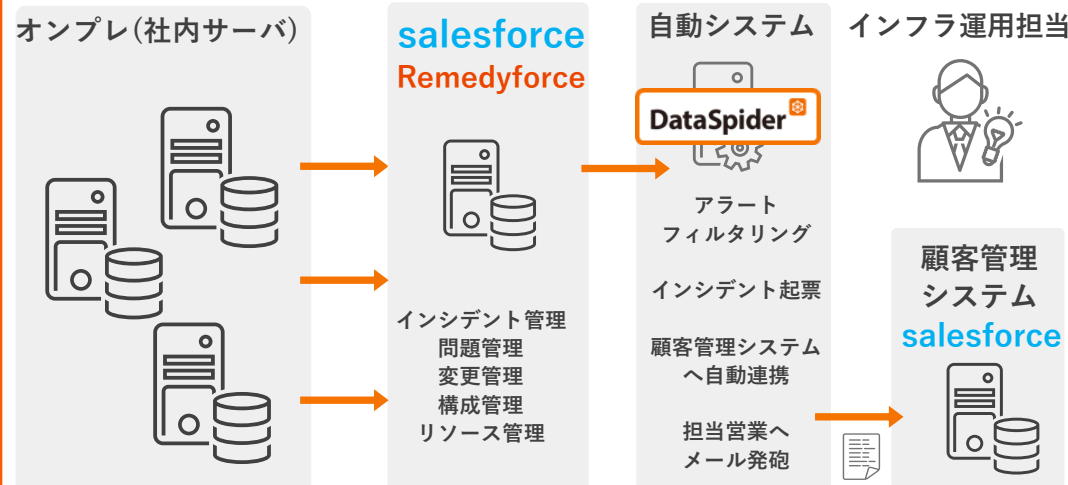
POINT

- ① 新規導入のRemedyforceが、DataSpiderのSFDC専用アダプタを使用して連携が可能
- ② 営業が参照する顧客管理システムのデータの自動更新が可能で、常に最新の情報を取得が可能
- ③ サポートに関するインシデント起票やメール通知などの定型的な業務を自動化

Before 新規の契約情報の反映に時間がかかり手動での運用



After 新規の情報を即座に反映し、定型業務を自動化



SAPのアドオン開発から脱却して関連企業と連携 SAPの標準モジュールと連携基盤でコスト削減と運用標準化を実現

お客様の問題

- ① 国内の関連企業13社に対するSAPの新規導入を検討
- ② スクラッチ開発の手法では、SAPのアドオン開発が膨大になりコスト・工数の肥大化
- ③ 従来の手法では、バージョンアップやマイグレーションの足かせとなる

導入効果

- ① DataSpiderを中心に13社に対して、SAPの外部I/Fを実装し連携を強化
- ② SAPの標準モジュールを使用し、アドオン開発やバージョンアップなどからの影響を極小化
- ③ 基盤の標準化により、開発/運用ルールのカバレッジの強化を実現

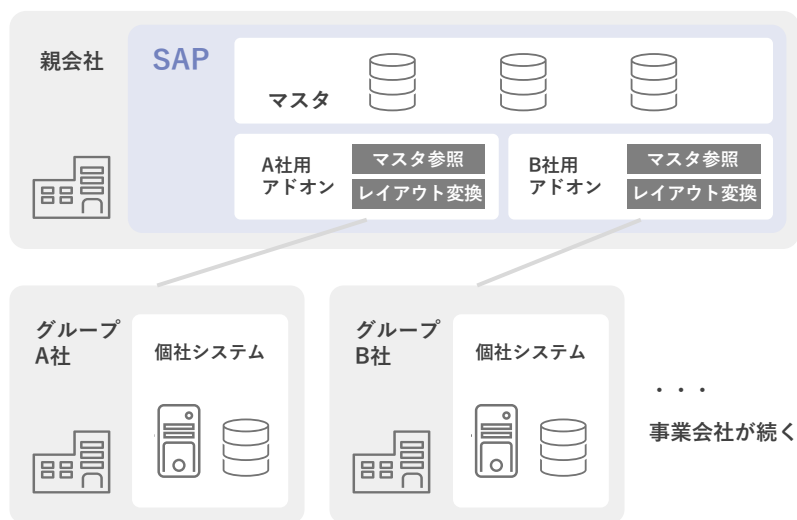


POINT

- ① 日本特有の業務ロジックによる複雑なI/F処理が考慮されたDataSpiderを採用
- ② 日本はDataSpiderで海外はリージョン事情により他社の連携基盤となったが共存が可能
- ③ DXを見据えたデータガバナンスとグローバル経営を支える経営基盤を構築

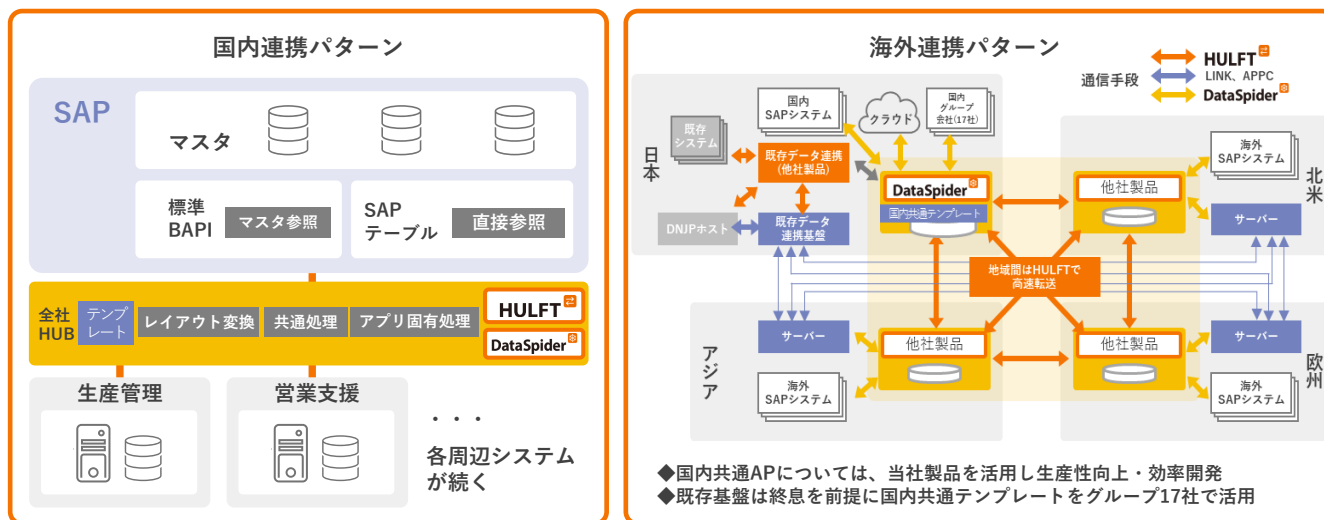
Before

連携はスクラッチ開発



After

連携基盤によりシステム間の差異を吸収し高い柔軟性・拡張性を実現



運用コストの削減を目的としたホスト上のシステムのSaaS化を推進 既設HULFTと連携しスムーズなSaaS移行と運用コストの削減を実現

お客様の問題

- ① コスト削減のためホストの負荷軽減を検討
- ② SaaS連携でデータ転送・保管のコスト増
- ③ データ成形とSaaSへの取込作業が煩雑

期待される効果

- ① 既設HULFT利用でオンプレ連携の改修不要
- ② データの転送・保管・成形が一括対応
- ③ 運用面でのコスト削減も同時に実現



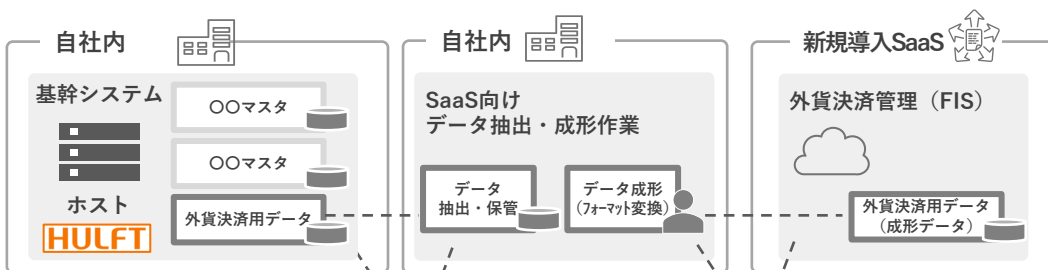
POINT

- ① SaaSの速やかな導入が可能
- ② データ一元化による二重管理回避、ミスが低減
- ③ 自動化によるタイムリーな連携を実現
- ④ 各種コネクタの提供による他業務への拡張可能

Before

手作業による移行作業などが発生

オンプレミスからSaaSへの移行を行うには新たなシステムの構築や手作業が発生



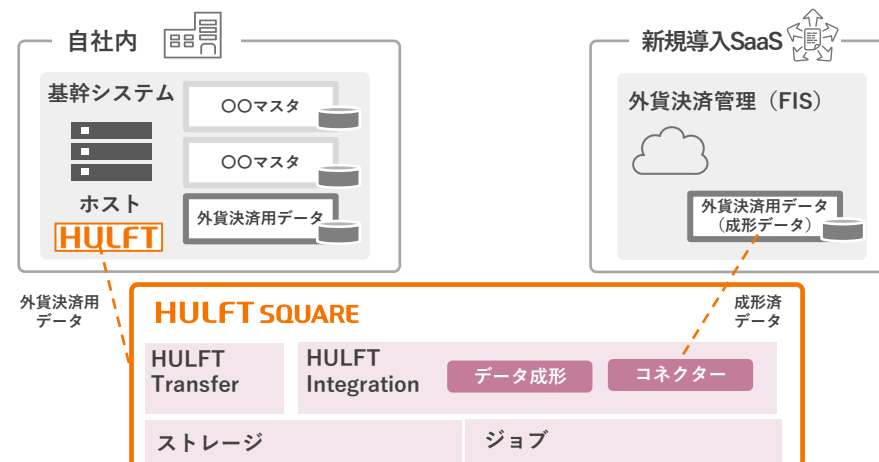
新たにデータ転送、保管の仕組みを構築
開発・運用コスト増

SaaS向けデータ成形や取込作業が発生
対応工数とヒューマンエラーも課題

After

移行作業を自動化

オンプレミスシステムとSaaSのデータ連携が可能、
最適化によるシステムコスト・運用コストが削減



導入製品・サービス

DataSpider
HULFT DataCatalog

地域課題を解決に導くデータ利活用プラットフォームを整備 県/市町村にまたがった防災データを自動収集・変換し利活用を推進

お客様の問題

- ① 各システムからのデータが関連付けされていなく活用できない
- ② データベースへのアクセス権限がなく、目的のデータを集められない
- ③ 収集したデータの信憑性が不明

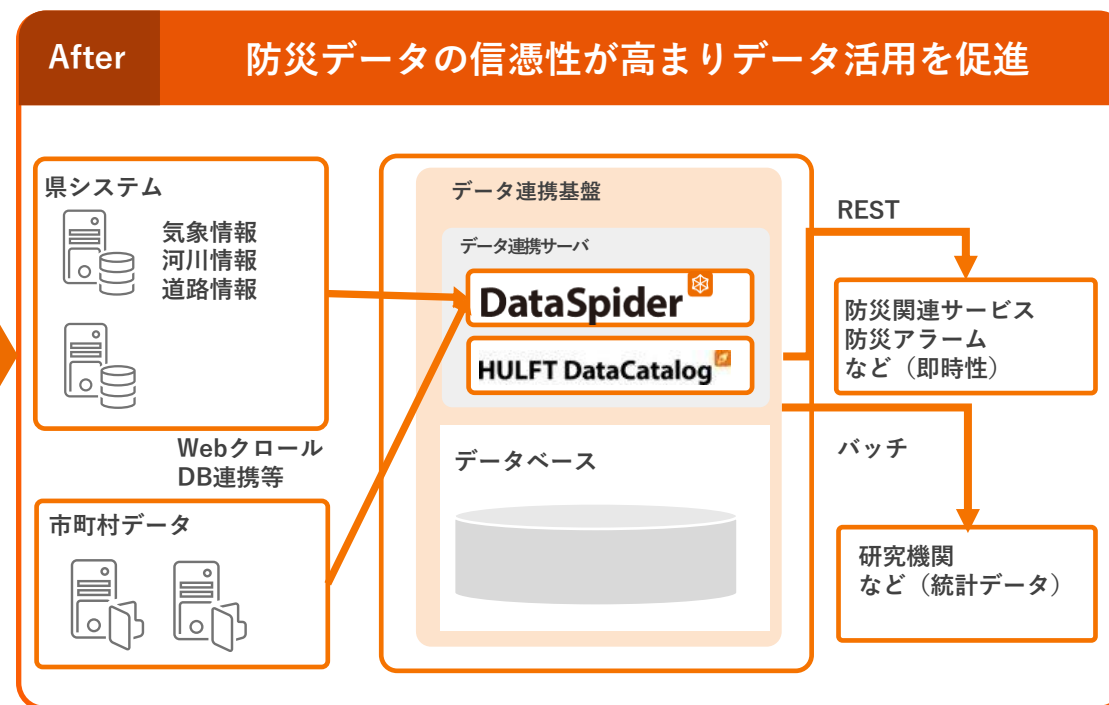
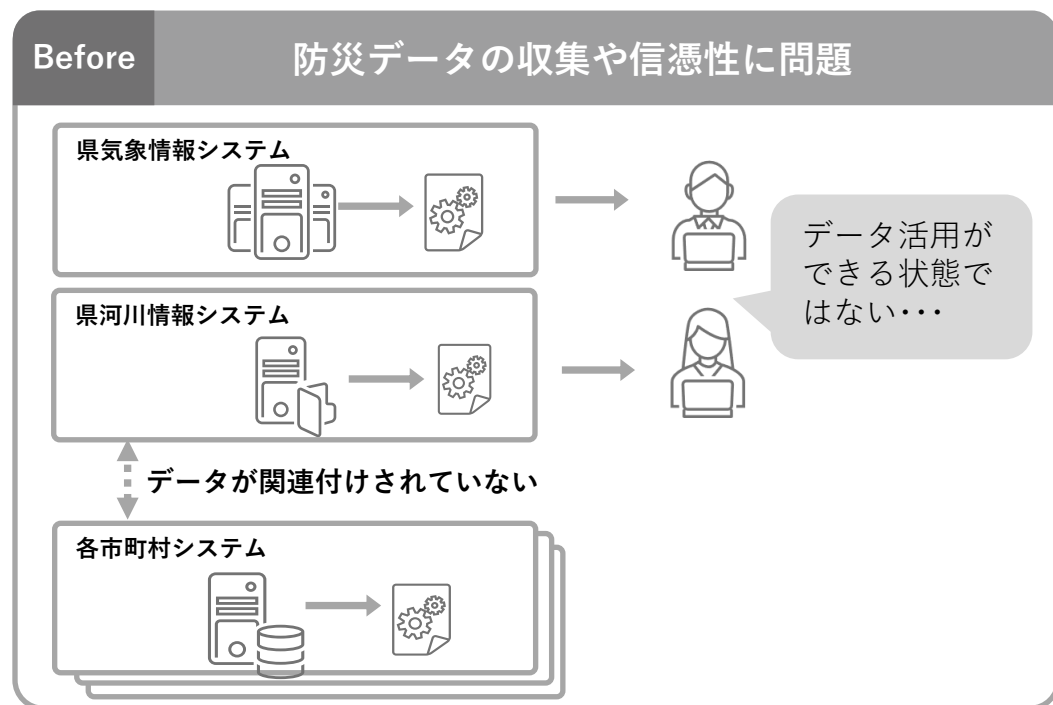
導入効果

- ① 散在していたデータを関連付け(連携)して地域の防災に役立てられる形にする
- ② DBではなくWebから情報を得ることで、権限がなくともデータの収集を可能にする
- ③ リネージュ機能により、元データの所在地の確認が可能になりデータの信憑性が高まる



POINT

- ① 異なるシステムからデータを自動収集
- ② 活用可能な形に変換した上でデータ蓄積し、外部へ自動連携
- ③ マルチベンダー環境においても手間なくデータの抽出が可能。データ連携の内製化も可能



海外製RPAで検討されたシステムをDataSpiderで置換え 既存システムを変更せずに日次報告書の作成自動化を内製化

お客様の問題

- ① 工場の各工程の日次報告書を、全社方針により海外製のRPAで作成しなくてはならない
- ② 海外製RPAでのデータ抽出は作成工数が増大し、問合せは英語で回答も時間がかかる
- ③ 現場のITリテラシーが低く、RPAの乱立など、IT担当者への業務の負荷増大が懸念された

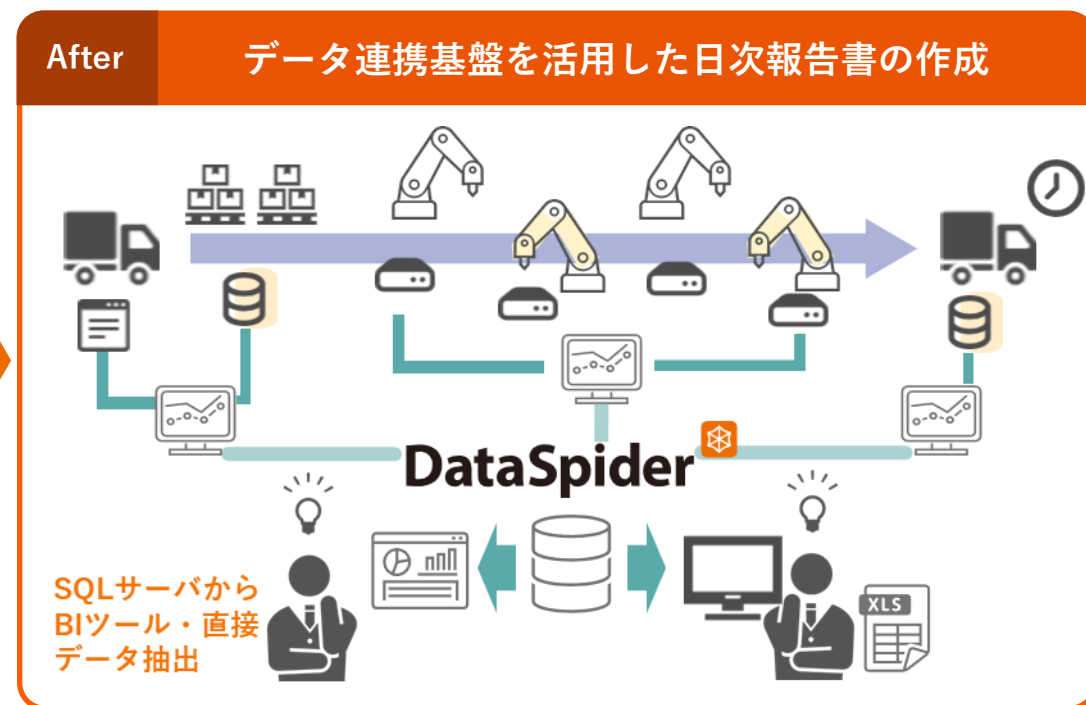
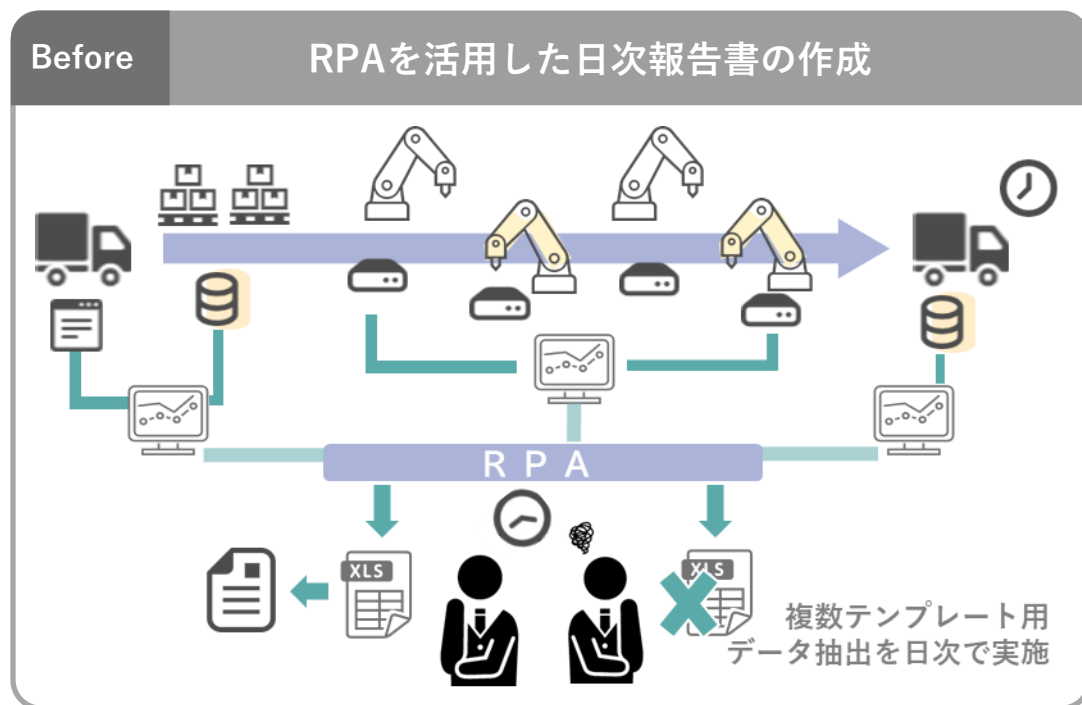
導入効果

- ① 既存システムは変更せずRPAをDataSpiderに置換えて、日次報告書の作成の自動化を実施
- ② IT担当者にてDataSpiderによる内製化を実現。運用管理もシンプルで負荷を軽減
- ③ 将来のデータ活用を見据え、SQLサーバにデータを整理、格納するまでも自動化



POINT

- ① 実施したい作業の80%はDataSpiderで対応。ブラウザ操作を含む20%はREST APIで吸収可能
- ② 当初想定していた以外の作業も発生して来ており、DataSpider 適応範囲が広がりつつある



工場の生産設備のデータの利活用を推進

稼働データを分析システムに安全に転送しリスクの予兆監視に活用

お客様の問題

- ① 生産設備の稼働データを活用し、リスクの予兆監視をしたいが工場-本社間のセキュリティに不安
- ② 将来の利活用を想定したログデータが増加し、保管コストがかさんで来た

導入効果

- ① 設備の稼働データを本社に安全に転送し、リスクの予兆監視に活用して稼働率の向上に貢献
- ② 稼働・監視データの蓄積・転送からリスク発見までを早期に実現できる
- ③ ログデータの有効活用により、使用したデータを削除しNASの容量の適性化が可能



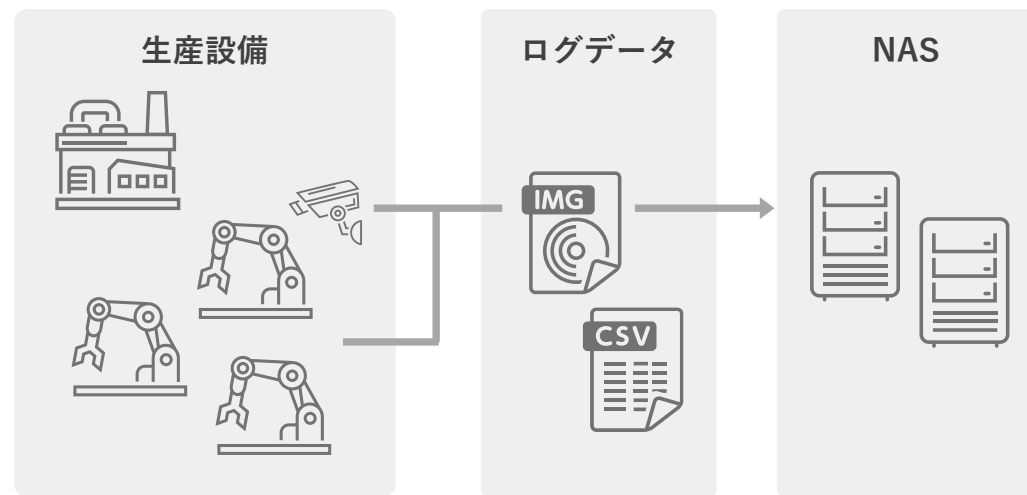
POINT

- ① HULFT IoTにより、データ転送で発生するセキュリティやデータ欠損の問題を解決
- ② 社内のネットワークセキュリティを変更せずに、更にデータトラフィックの制御など管理面も向上
- ③ 既存設備の単純な入れ替えではなく、データを元に適性なタイミングで設備投資を実施

Before

安全なログデータの転送ができず保存量だけが増加

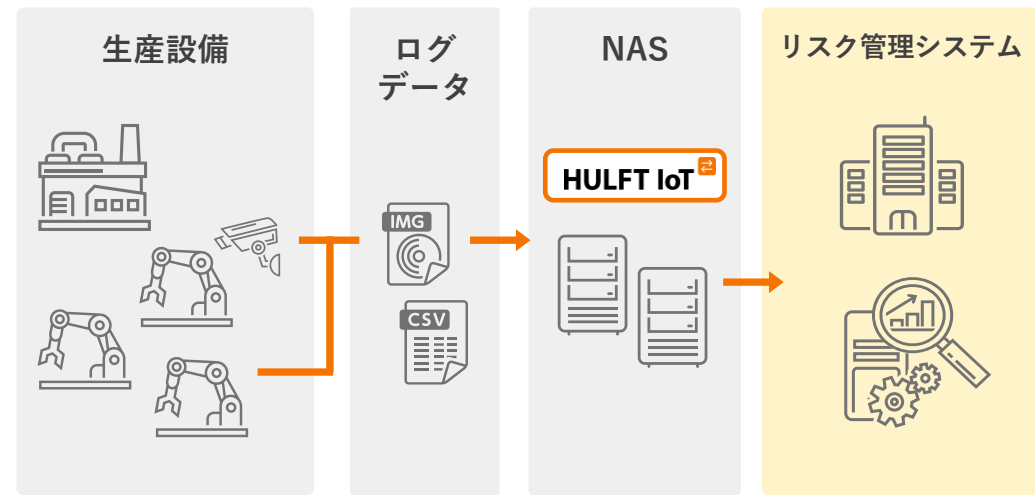
NASにログデータを溜めるだけで特に活用されず



After

安全なログデータの転送方法が確立され利活用が進む

リスク管理システムへ自動連携→予兆監視を実現



堅牢なプライベートクラウドとAWSをハイブリッド活用

150の信用金庫に対して安全で柔軟なデータ分析を可能にするサービスを提供

お客様の問題

- ① 信用金庫が個別にデータ活用基盤を構築することは困難（コスト面・運用面等）
- ② 情報セキュリティの観点から独自にクラウド活用を推進することも難しい

導入効果

- ① 150の信用金庫のデータ活用基盤を構築し、各行が利用することにより、コストや運用面の負担を軽減
- ② プライベートクラウドを利用することで情報セキュリティ対策を実現



POINT

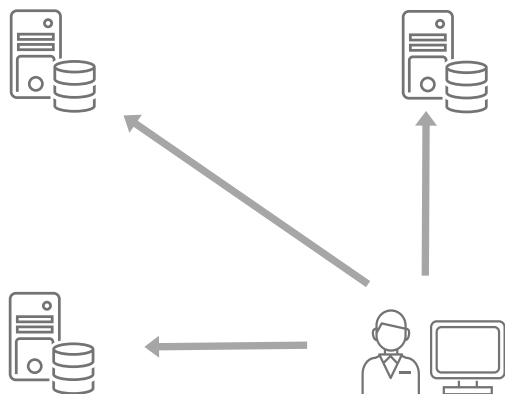
- ① DataSpiderを活用しローコードでSnowflakeへ自動連携しデータ活用基盤を実現
- ② DataSpiderはGUIの操作性を評価される
- ③ FISCの定めるセキュリティ基準を満たしつつ、Snowflakeを利用した柔軟なDWH・DMの構築を実現

Before

個別の信用金庫でのデータ活用基盤の運用

各信用金庫での活用や運用は負担が大きい

各システムに情報が分散されており、分析等活用が困難

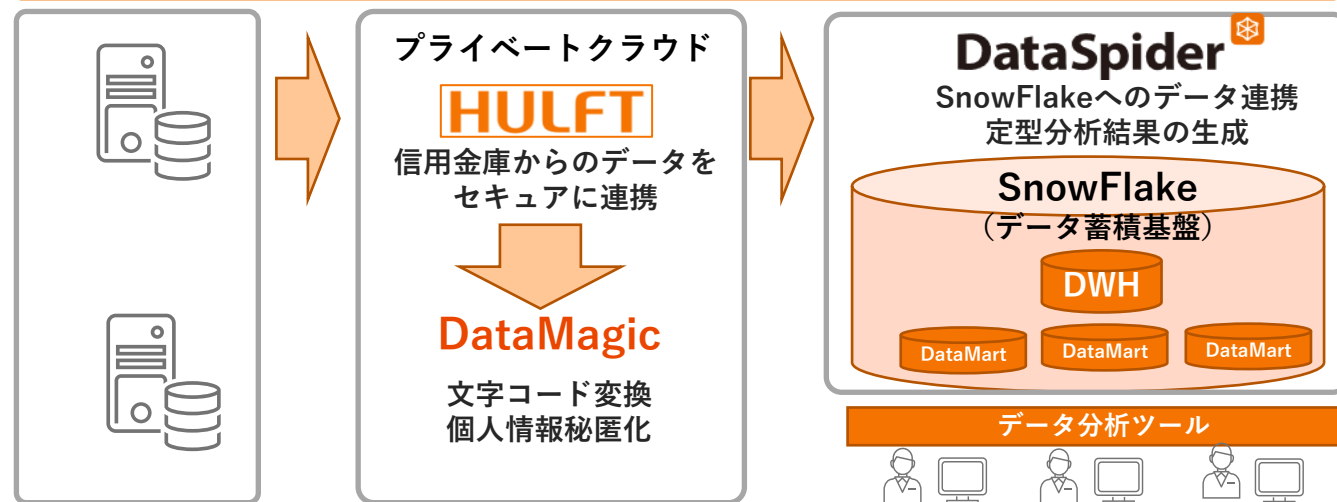


After

各信用金庫が共通でデータ活用基盤を活用（センターでの集中運用）

各信用金庫が共通基盤を使用することでコストを削減

各クラウドの優位性を活かし、情報セキュリティ対策と柔軟なデータ活用を両立



RPAでの処理をDataSpiderで代替し運用コストと処理時間を削減 RPAではできない変換・加工も自動化し作業の大幅な自動化を実現

お客様の課題

- ① 定型業務が多くRPAを導入したが、データ量が多く処理時間がかかっていた
- ② 画面I/Fに変更があった場合、RPAの設定も変更しないといけないため運用コストが増大

導入効果

- ① RPAだと1時間かかる業務を1分に短縮
- ② 画面I/Fに変更があってもそのまま活用が可能になる
- ③ DataSpiderはデータの変換・加工機能を有しており、更なる事務作業の効率化が可能



POINT

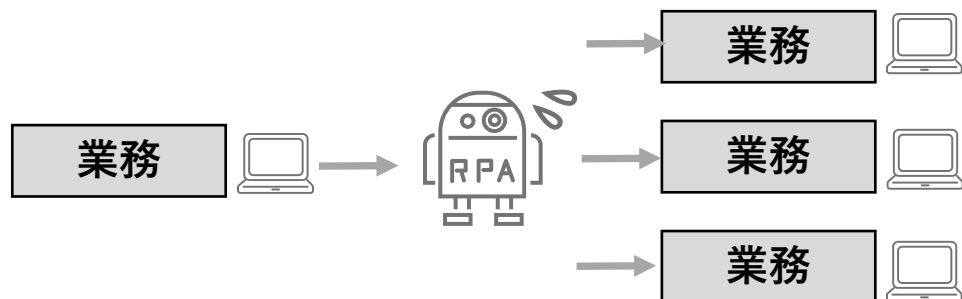
- ① DataSpiderは直接DBからデータを取り込むため、画面周りの動作がなくなり処理速度が高速化
- ② DataSpiderはRPAとの連携も可能で、画面操作が必要な業務でも共存が可能
- ③ DataSpiderはシステム連携をした際の仕様書の作成機能があり、作業のブラックボックス化を回避

Before

RPAによる運用

業務データが多く、RPAの処理時間が多くかかっている

画面I/Fが変わる毎にRPAの設定を変更しないといけないため、運用が大変



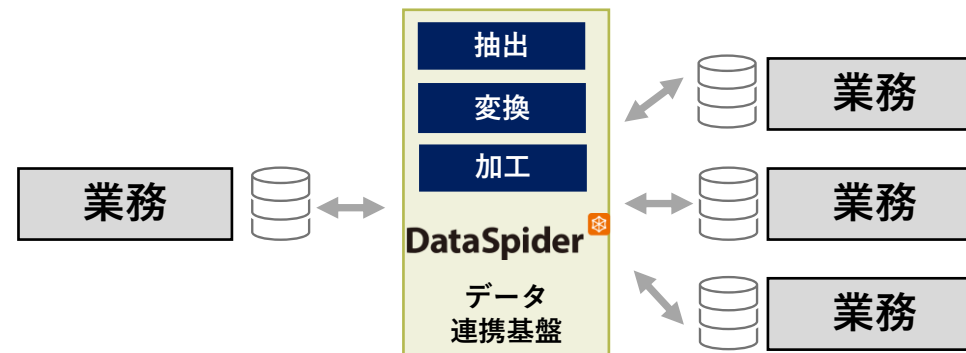
After

DataSpiderによるRPAの代替

RPAと比較して処理時間が1時間から1分に短縮

直接データを取り込むため画面I/Fに変更にも影響が受けにくい

更に、データの抽出・変換・加工の一連の作業も自動化が可能



導入製品・サービス

DataSpider 

申請書類の振分けや住民IDとマイナンバーの紐づけを自動化

既存システムに影響をさせずにノンプログラミングでデータ連携を実現

お客様の問題

- ① 申請データを管理ツールを通して、各業務システムに振分けのを手作業で行っていた
- ② マイナンバーと市町村の業務内で用いる個人認識番号(住民ID)と紐づけが必要

導入効果

- ① 手作業による申請データの振分けを自動化し工数を削減
- ② マイナンバーと個人認識番号との紐づけを自動化してミス削減
- ③ 申請データの一元管理化までを自動化



POINT

- ① ノンプログラミングで振分けや紐づけなどの定型業務の自動化を実現
- ② DNZ、申請管理ツールと各業務システムとの連携はDataSpiderを中心に連携

Before 手作業によるマイナンバーと各システムとの紐づけ

DMZ
(連携サーバ)

申請データ



マイナンバー系

手作業
or
連携するには
スクラッチ開発

申請管理
ツール



After データ連携基盤によるマイナンバーと各システムと紐づけ

DMZ
(連携サーバ)

申請データ



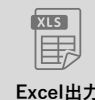
マイナンバー系

DataSpider 

住民IDとの紐づけ

各システム連携

申請管理
ツール



導入製品・サービス

HULFT[®]

HULFT-HUB[®]

異なるネットワーク間で一気通貫のデータ連携 データ移動を手動からHULFT製品を活用したセキュアな通信で代替

お客様の問題

- ① セキュリティの関係で、ネットワークがマイナンバーとLGWAN系と分離されている
- ② データの移動は手動で行われ、毎回管理者の承認が必要

導入効果

- ① 異なるネットワーク間のデータ移動を、セキュリティを担保しつつ行える
- ② HULFTにより、ネットワークのセキュリティが担保されデータ移動の承認が不要になる
- ③ データ移動も人を介することがなくなる



POINT

- ① マイナンバー系・LGWAN系間にセキュリティゾーンを構築(DMZ)し、HULFT-HUBで管理
- ② HULFT-HUBでファイルの転送管理・転送ログが記録されているため不正の防止につながる

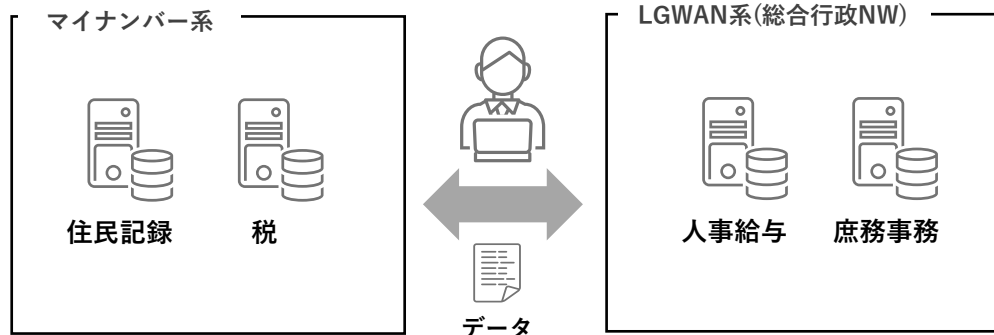
Before

データ移動は手動で承認が必要

職員が手動で受け渡し処理実施（直接連携ができない）

マイナンバー系からLGWAN系へのデータ移動は管理者の承認が必要

ネットワークを分離

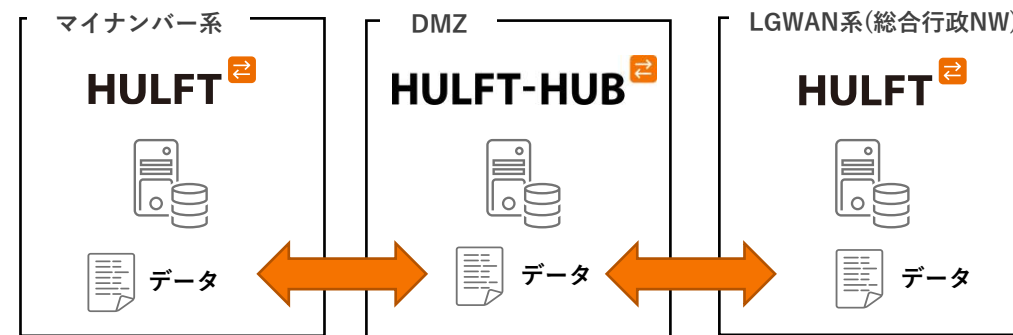


After

セキュアな環境下でのデータ移動

HULFTによりデータの受け渡しが自動化

ネットワークのセキュリティが担保されたため承認が不要



システム規模に応じて柔軟に機能拡張と価格対応が可能 社内システムのクラウド化を支援するクラウド型データ連携基盤

お客様の問題

- ① 基幹と営業系の業務系システムのクラウド化に伴い、データ連携基盤の再構築を検討
- ② データ連携もクラウド化するため、スモールスタートで試したいが連携先が増大
- ③ 社員向けポータルへのアクセス管理のための社員情報連携が属人化

導入効果

- ① 既存のクラウドサービスとも簡単に連携が可能
- ② 現状だけでなく、今後の要件拡大も踏まえた拡張性と価格設定がある
- ③ ID管理システムと連携し、ポータルへのアクセス管理を安全に自動化できる

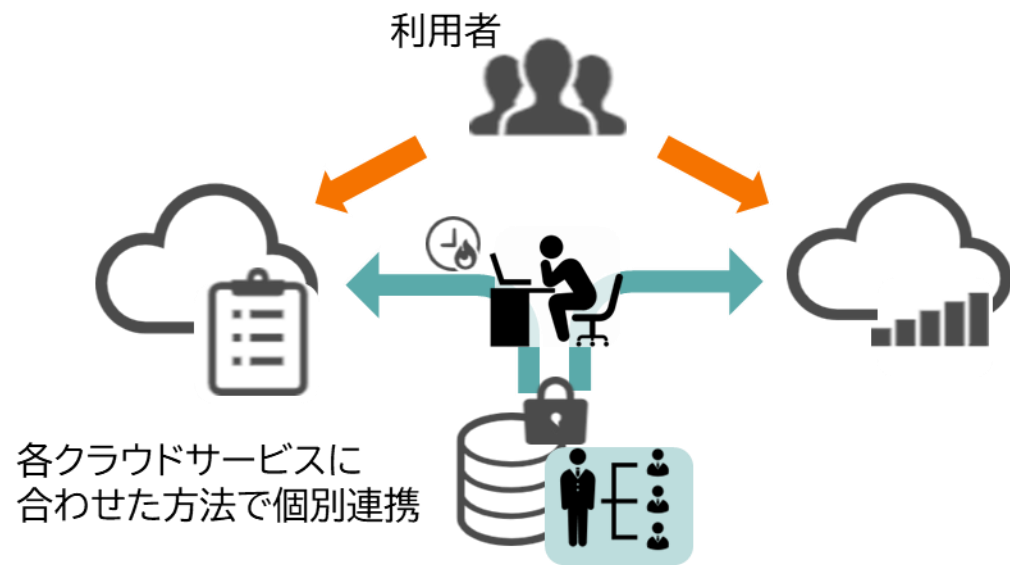


POINT

- ① Kintoneなど日本特有のクラウドサービスにもコネクタを有している
- ② 国産のサービスため、今後の機能拡張への要望に対しても、声が届きやすいと期待している
- ③ 機能だけでなく、価格設定を含めた柔軟性

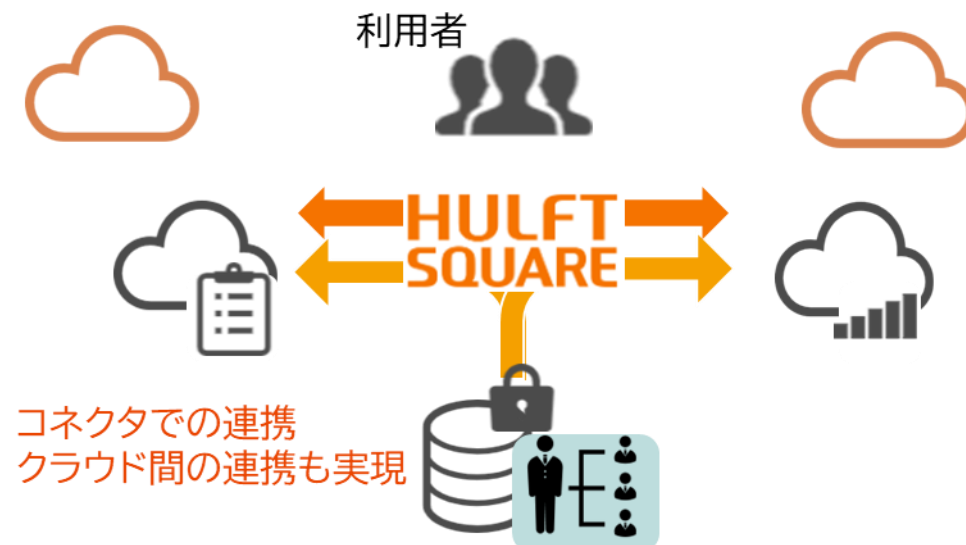
Before

個別のシステム連携のためクラウド化に支障



After

クラウド型連携基盤でシステムの規模により柔軟に拡張



中小企業で実現したデータ分析環境

非IT部門の社員がデータ分析環境を構築し経営レポートの作成工数を軽減

お客様の問題

- ① 情報システム部門は少数で基幹系のサポートのため、現場からの要望に対応する余裕がない
- ② 現場での日次・月次データの収集からレポート作成までの負担が大きい
- ③ 経営層へのレポートは表形式が多い

導入効果

- ① 情報システム部門に依存せず、非IT部門の社員でもデータ分析できる環境作り
- ② データ収集から必要なデータの抽出までの定型業務を自動化し現場の負担を軽減
- ③ BIツールを使いデータの見える化を実現し、経営層のデータの理解度を高める



POINT

- ① SMB(中小企業)かつ非IT部門でもデータ分析の環境が作れる
- ② さまざまな業務・システム連携・データ加工をDataSpiderに集約
- ③ 社員の負担・費用の軽減と共に、データリテラシーの向上につながる

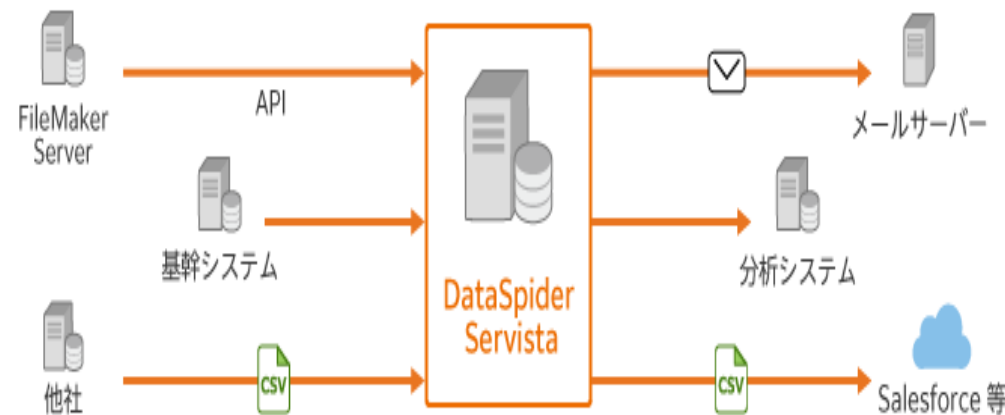
Before

各種レポートの作成の属人化と負担増



After

IT部門に依存せずにデータ分析を自動化



将来の拡張性を視野に入れたシステム連携基盤

会計システムやEDIなどと連携。更に分析に必要なデータ収集の連携基盤として活用

お客様の問題

- ① 既存の会計システムに必要最低限のシステムと連携し個別最適を実現
- ② EDIシステム等とのシステム連携のニーズはあるがスクラッチでの開発が必要

期待される効果

- ① EDIなど将来出てくるサービスやシステムとの連携などの拡張性を有している
- ② 各システムのデータを活用し製品開発に活かすなどのデータ連携基盤としても活用できる



POINT

- ① DataSpiderはシステム間連携で、スクラッチ開発を不要にする豊富なアダプタを有している
- ② 業務システムとの連携だけでなく、分析を可能にするためのデータ収集の基盤としても活用

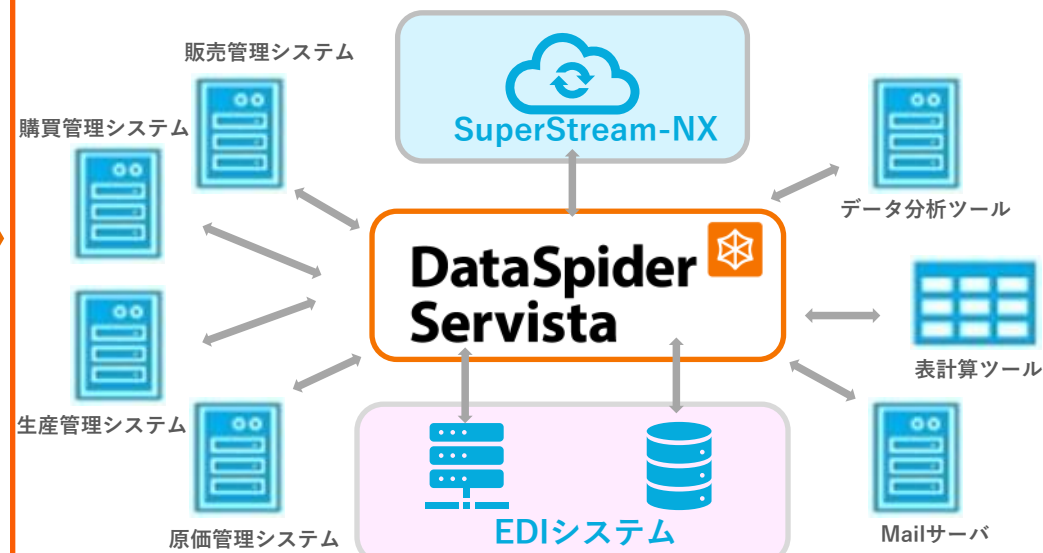
Before

会計システム(SuperStream)周辺のみの連携



After

EDIや将来導入するシステムとの連携も可能な環境



改訂履歴

更新日	更新内容	変更箇所	変更内容
2022/4/20	初版		
2023/8/5	追加	P59~P88	ユースケースを30追加
2024/4/1	修正	全	社名変更

The image features decorative elements in the corners consisting of overlapping circles in shades of orange and yellow, creating a pattern reminiscent of autumn leaves or petals. These elements are located in the top-right and bottom-left corners.

HULFT

Move knowledge. Move markets.